

松山市埋蔵文化財調査年報 31

平成 30 年度

2019

松 山 市 教 育 委 員 会
公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団
埋 蔵 文 化 財 セ ン タ ー

序　　言

松山市内には周知の埋蔵文化財包蔵地が約400か所存在し、松山市教育委員会と公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団は試掘調査や発掘調査をはじめとした調査研究事業、また考古館での普及啓発事業によって、埋蔵文化財の保護と活用に努めています。本書は平成30年度の事業概要報告です。

平成30年度には市内で8件の発掘調査を実施しました。特筆すべき成果として、持田本村遺跡2次調査があります。この調査では、同1次調査や持田町三丁目遺跡で確認されていた弥生時代から古墳時代の集落や墓域に連なる遺構が確認され、道後地区南部の遺跡の広がりが明らかになりました。

普及啓発事業では、東京国立博物館との考古資料相互貸借事業により、2会期にわたり特別展「松山の至宝」を開催しました。前期展「東京国立博物館所蔵品　里帰り展」では道後今市遺跡出土銅剣などを、後期展「祈りの器2」では大阪府陶邑窯跡群出土須恵器（重要文化財）など市内外の貴重な考古資料を展示し、観覧者から御好評をいただきました。また8月のまつやま子ども週間にあわせて「古代体験まつり」を開催し、900人を超える方々に火おこしや土器作り、石勾玉作りなどを体験していただきました。

埋蔵文化財の保護、発掘調査及び普及啓発について、皆様からいただいております御理解と御協力に厚くお礼申し上げますとともに、本書を埋蔵文化財の保護と調査研究にお役立ていただければ幸いです。

令和元年12月

松山市教育委員会
教育長　藤田　仁

例　　言

1. 本書は、松山市教育委員会と公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団埋蔵文化財センターが、平成30年4月1日から平成31年3月31日までに実施した発掘調査の概要と、松山市考古館が行った普及啓発事業の成果などをまとめた年次報告書である。

2. 確認調査については、第Ⅱ章の表にその概要をまとめた。

3. 各調査の報告は、発掘調査担当者が執筆し、編集は高尾和長が行った。

4. 本書に掲載した写真は、担当調査員が撮影した。

5. 位置図は、国土地理院発行の2万5千分の1図を使用した。

6. 遺構は、以下の略号で記した。

S B : 塗穴建物跡　　掘立 : 掘立柱建物跡　　S R : 自然流路　　S D : 溝　　S G : 池
S E : 井戸　　S K : 土坑　　S A : 構、柱列　　S P : 柱穴　　S X : 性格不明遺構　T : ドレンチ

7. 刊行組織は、以下のとおりである。(平成31年4月1日現在)

松山市教育委員会	教育長	藤田仁
事務局	局長	白石浩人
	次長	高田稔
	次長	重松一楨
文化財課	課長	渡部浩典
	副主幹	補寛輝
公益財団法人 松山市文化・スポーツ振興財団	理事長	本田元広
事務局	局長	片山雅央
	次長	大野昌孝
施設管理部	部長	片上俊哉
埋蔵文化財センター	所長兼館長	梅木謙一
	主任	吉岡和哉
	主任	山本健一
		高尾和長
		宮内慎一
		相原浩二
		小笠原善治
		鶴井清
		河野史知
		水本完児
		加島次郎
		橋本雄一
		小玉亞紀子
専門嘱託職員	作田一耕	

8.ご指導・ご協力を賜った方々は、次のとおりである。(五十音順・敬称略)

飯田茂雄（東京国立博物館）／池峯龍彦（堺市文化財調査事務所）／宇多川滋正（文化庁）／馬越紀久江（奈良原神社）／江崎次夫（愛媛大学）／大北冬彦／大西朋子／大島敦臣（愛知県教育委員会）／大西遼（愛知県陶磁美術館）／岡田敏彦（公益財団法人愛媛県埋蔵文化財センター）／荻堂正博（東京国立博物館）／川西啓喜（浜松市文化財課）／河野一隆（東京国立博物館）／河野正訓（東京国立博物館）／久野正博（浜松市文化財課）／小林範之（愛媛大学）／白井克也（東京国立博物館）／白石聰（今治市教育委員会）／品川欣也（東京国立博物館）／下條信行／菱田哲郎（京都府立大学）／鈴木一有（浜松市文化財課）／高橋洋毅（新居浜市教育委員会）／高瀬哲郎（石垣技術研究機構）／田崎博之（愛媛大学）／橋泉（堺市教育委員会）／續伸一郎（堺市教育委員会）／富田尚夫（愛媛県歴史文化博物館）／土岐幸司（新居浜市教育委員会）／名本二六雄（愛媛考古学協会）／中野良一（愛媛県埋蔵文化財センター）／原田昌幸（文化庁）／藤本史子（武庫川女子大学）／古谷毅（京都国立博物館）／星野暢廣（伊豫神社）／前園實知雄（公益財団法人愛媛県埋蔵文化財センター）／松下孝幸・松下真実（特定非営利活動法人人類学研究機構）／三浦正幸（広島大学）／村上恭通（愛媛大学）／山本亮（東京国立博物館）／吉澤悟（奈良国立博物館）／芳野洋心（松山市北条ふるさと館）／吉田広（愛媛大学）

9.ご指導・ご協力を賜った機関は、次のとおりである。(五十音順・敬称略)

愛知県教育委員会／愛知県陶磁美術館／株式会社葵文化／株式会社イビソク／公益財団法人愛媛県埋蔵文化財センター／愛媛県歴史文化博物館／公益財団法人元興寺文化財研究所／京都国立博物館／株式会社古環境研究所／特定非営利活動法人人類学研究機構／堺市教育委員会／堺市博物館／堺市文化調査事務所（堺市文化観光局文化部文化財課分室）／株式会社DNPアートコミュニケーションズ／東京国立博物館／株式会社トリアド工房／奈良国立博物館／奈良原神社／新居浜市教育委員会／浜松市地域遺産センター／浜松市市民部文化財課／松山市北条ふるさと館／パリノ・サーヴェイ株式会社／株式会社パレオ・ラボ／松山市中島総合文化センター／株式会社文化財ユニオン／文化庁／明治大学博物館／和歌山県立紀伊風土記の丘

10.本書の仕様は、以下のとおりである。

製版 モノクロ写真・写真図版 - 175 線

印刷 オフセット印刷

用紙 本文：三菱製紙ニューVマット

製本 無線綴じ

本 文 目 次

I 平成 30 年度 松山市埋蔵文化財調査概要	
平成 30 年度 松山市埋蔵文化財調査概要	3
別府遺跡 4 次調査	4
松山城三之丸跡 21 次調査	8
持田本村遺跡 2 次調査	14
経石山古墳 4 次調査	20
筋違 S 遺跡	22
北久米遺跡 10 次調査	26
久米高畠遺跡 75 次調査	28
平井遺跡 11 次調査	30
II 平成 30 年度 松山市埋蔵文化財調査関係資料	
平成 30 年度 松山市埋蔵文化財調査関係資料	36
III 平成 30 年度 出土物整理・保存処理事業	
1. 出土物整理	46
2. 出土物整理・寄贈品遺物	49
3. 出土物整理・分銅形土製品	55
4. 出土物整理・桑原西稻葉遺跡 2 次調査出土石器	58
5. 保存処理	61
6. 余戸中ノ孝遺跡出土の中世人骨	63
7. 東垣生八反地遺跡出土の中世人骨	82
IV 平成 30 年度 普及啓発事業	
1. 展示活動	90
2. 教育普及活動	91
3. 収集・保管・育成活動	93
4. 出版活動	93
5. 資料の貸出・調査	93
6. 考古館月別入館者数調	93
V 関係法規	
1. 松山市立埋蔵文化財センター条例	112
2. 松山市立埋蔵文化財センター条例施行規則	114

挿図・写真目次

I 平成30年度 松山市埋蔵文化財調査概要	
別府遺跡 4次調査	4
図1 調査位置図(縮尺1:25,000)	写真1 木橋と開削溝の土層断面(東より)
図2 遺構配置図	写真2 木橋の完掘状況(上空より)
	写真3 石垣の完掘状況(南西上空より)
	写真4 石垣の一部(南より)
松山城三之丸跡 21次調査	8
図1 調査位置図(縮尺1:25,000)	写真1 調査区全景(北東より)
図2 遺構配置図	写真2 石組1と明治の互層状造成面(北西より)
図3 出土遺物実測図	写真3 石組2東南正面(南東より)
図4 確認調査位置図	
図5 『松山城下図屏風』(部分)	
図6 『御三丸図』	
持田本村遺跡 2次調査	14
図1 調査位置図(縮尺1:25,000)	写真1 1区完掘状況(北より)
図2 調査区位置図	写真2 SD101 遺物出土状況(北より)
図3 1区遺構配置図	
図4 2区遺構配置図	
図5 SK104測量図	
図6 SD101測量図・遺物出土状況図	
図7 SK104・SD101出土遺物実測図	
経石山古墳 4次調査	20
図1 調査位置図(縮尺1:25,000)	写真1 完掘状況(南より)
図2 調査区位置図	写真2 周溝埋土検出状況(西より)
図3 遺構配置図	
筋違S遺跡	22
図1 調査位置図(縮尺1:25,000)	写真1 挖立1完掘状況(南より)
図2 遺構配置図	写真2 挖立2完掘状況(南より)
図3 挖立1測量図・出土遺物実測図	
図4 挖立2測量図・出土遺物実測図	

北久米遺跡 10 次調査	26
図1 調査地位置図（縮尺1：25,000）	
図2 造構配置図	写真1 SD1 検出状況（南より）
図3 出土遺物実測図	写真2 調査区全景（北東より）
久米高畠遺跡 75 次調査	28
図1 調査地位置図（縮尺1：25,000）	写真1 蓋（掘立柱建物跡出土）
	写真2 石製模造品？（土坑出土）
	写真3 石礫（柱穴出土）
	写真4 西側調査区全景（北より）
	写真5 南側調査区全景（東より）
平井遺跡 11 次調査	30
図1 調査地位置図（縮尺1：25,000）	写真1 1区完掘状況（西より）
図2 調査地測量図	写真2 2区完掘状況（西より）
図3 土層模式図	写真3 掘立2検出状況（北より）
図4 1区造構配置図（第VI層下面）	写真4 SR1 検出状況（西より）
図5 2区造構配置図（第VI層上面）	写真5 SR2 検出状況（東より）
	写真6 SK3 検出状況（南より）
II 平成30年度 松山市埋蔵文化財調査関係資料	
図1 平成30年度 松山市埋蔵文化財本格調査位置図（縮尺1：80,000）	44
III 平成30年度 出土物整理・保存処理事業	
2. 出土物整理・寄贈品遺物	
図1 寄贈品① 德利山古墳出土須恵器・土師器・鉄製品実測図	50
図2 寄贈品② 北山小出土須恵器実測図	52
図3 寄贈品③ 出土地点不明須恵器実測図	52
図4 寄贈品④ 出土地点不明弥生土器実測図	53
写真1 寄贈品① 德利山古墳出土須恵器・土師器・鉄製品	54
写真2 寄贈品② 北山小出土須恵器	54
写真3 寄贈品④ 出土地点不明弥生土器	54
3. 出土物整理・分銅形土製品	
図1 分銅形土製品実測図（1）	56
図2 分銅形土製品実測図（2）	57

4. 出土物整理・桑原西稲葉遺跡 2 次調査出土石器	
図 1 調査地位置図及びグリッド図	58
図 2 桑原西稲葉遺跡 2 次調査出土石器実測図	59
写真 1 桑原西稲葉遺跡 2 次調査出土石器	60
6. 余戸中ノ孝遺跡出土の中世人骨	
図 1 余戸中ノ孝遺跡の位置図（縮尺 1 : 25,000）	64
図 2 人骨の残存図（アミかけ部分）	77
写真 1 1号墓全景	63
写真 2 1号墓人骨出土状況	65
写真 3 余戸中ノ孝遺跡 1号墓出土人骨（1）頭蓋骨（男性・熟年）	78
写真 4 余戸中ノ孝遺跡 1号墓出土人骨（2）下頬骨（男性・熟年）	79
写真 5 余戸中ノ孝遺跡 1号墓出土人骨（3）上肢骨・下肢骨（男性・熟年）	80
写真 6 余戸中ノ孝遺跡 SD1 出土人骨 大腿骨（年齢・性別不明）	81
7. 東垣生八反地遺跡出土の中世人骨	
図 1 東垣生八反地遺跡の位置図（縮尺 1 : 25,000）	83
図 2 SK3 出土人骨実測図	86
図 3 人骨の残存図（アミかけ部分）	87
写真 1 調査区全景	82
写真 2 SK3 出土人骨出土状況	84
写真 3 東垣生八反地遺跡 SK3 出土人骨 頭蓋骨・下肢骨（男性・年齢不明）	88
IV 平成 30 年度 普及啓発事業	
写真 1 発掘へんろ展「四国の彩り」	108
写真 2 発掘へんろ展 演講会	108
写真 3 展示会「掘ったぞな松山 2018」	108
写真 4 展示会「いにしへのえひめ」	108
写真 5 歴史バスツアー（親子考古学講座）	108
写真 6 特別展「里帰り展」	108
写真 7 特別展「里帰り展」講演会	108
写真 8 古代体験イベント	108
写真 9 特別展「松山の至宝～祈りの器 2」	109
写真 10 特別展「松山の至宝～祈りの器 2」講演会	109
写真 11 古代体験イベント	109
写真 12 発掘情報展「持田本村遺跡 2 次調査」	109
写真 13 わかりやすい考古学講座	109
写真 14 はじめての考古学教室	109

写真 15	古代体験教室「染物体験・藍」	109
写真 16	古代体験教室「ガラス勾玉を作ろう」(1)	109
写真 17	古代体験教室「ガラス勾玉を作ろう」(2)	110
写真 18	古代体験まつり「かんたん染物体験」	110
写真 19	古代体験まつり「ねんどで土器・ハニワづくり」	110
写真 20	ロビーコンサート「箏」	110
写真 21	歴史バスマッチ「岩谷遺跡」	110
写真 22	現地説明会	110
写真 23	古代米の育成	110
写真 24	大連古代蓮	110

表 目 次

II 平成 30 年度 松山市埋蔵文化財調査関係資料

表 1	平成 30 年度 松山市埋蔵文化財包蔵地変更一覧（松山地区）	37
表 2	平成 30 年度 松山市埋蔵文化財包蔵地変更一覧（北条地区）	37
表 3	平成 30 年度 松山市埋蔵文化財確認調査一覧（1）～（6）	37～42
表 4	平成 30 年度 松山市埋蔵文化財本格調査一覧	43

III 平成 30 年度 出土物整理・保存処理事業

1. 出土物整理

表 1	遺物接合・復元作業一覧（1）（2）	46・47
表 2	遺物実測・整理・収蔵・図面整理作業一覧	47
表 3	遺物写真・現像・整理作業一覧	48

2. 出土物整理・寄贈品遺物

表 1	注記内容一覧	49
表 2	寄贈品① 徳利山古墳出土遺物観察表（土製品）	51
表 3	寄贈品① 徳利山古墳出土遺物観察表（金属製品）	51
表 4	寄贈品② 北山小出土遺物観察表（土製品）	52
表 5	寄贈品③ 出土地点不明須恵器観察表（土製品）	53
表 6	寄贈品④ 出土地点不明弥生土器観察表（土製品）	53

3. 出土物整理・分銅形土製品

表 1	分銅形土製品一覧	55
-----	----------	----

4. 出土物整理・桑原西福葉遺跡 2 次調査出土石器

表 1	出土遺物観察表（石製品）	60
-----	--------------	----

5. 保存処理		
表 1	平成 30 年度 金属製品保存処理遺跡名一覧	61
表 2	平成 30 年度調査出土木製品・動植物遺体一覧	62
6. 余戸中ノ季遺跡出土の中世人骨		
表 1	資料数 (Table 1. Number of materials)	65
表 2	出土人骨一覧 (Table 2. List of skeletons)	65
表 3	年齢区分 (Table 3. Division of age)	65
表 4	上腕骨計測値比較表	71
表 5	大腿骨計測値比較表	71
表 6	脛骨計測値比較表	72
表 7	推定身長値比較表	72
表 8	下顎骨計測値	73
表 9	上腕骨計測値	73
表 10	桡骨計測値	74
表 11	尺骨計測値	74
表 12	大腿骨計測値	75
表 13	脛骨計測値	75
表 14	肺骨計測値	76
表 15	膝蓋骨計測値	76
表 16	推定身長値	76
7. 東堀生八反地遺跡出土の中世人骨		
表 1	資料数 (Table 1. Number of materials)	84
表 2	出土人骨一覧 (Table 2. List of skeletons)	84
表 3	年齢区分 (Table 3. Division of age)	84
IV 平成 30 年度 普及啓発事業		
1. 展示活動		
表 1	展示会一覧 (1) (2)	93・94
2. 教育普及活動		
表 2	教育普及活動一覧 (考古学講座・講演会等) (1) (2)	94・95
表 3	教育普及活動一覧 (古代体験教室) (1) ~ (4)	95~98
表 4	教育普及活動一覧 (遺跡見学会)	98
表 5	教育普及活動一覧 (体験学習・主催事業来館・団体来館) (1) ~ (4)・99~102	102
表 6	教育普及活動一覧 (発掘調査現地説明会)	102
表 7	教育普及活動一覧 (職場体験)	102

表 8	教育普及活動一覧（館外・出前考古学教室）（1）（2）	103・104
表 9	教育普及活動一覧（職員研修・会議）	105
4. 出版活動		
表 10	考古館印刷物一覧（ポスター・チラシ等）	105
表 11	出版物一覧	105
5. 資料の貸出・調査		
表 12	資料の貸出一覧	106
表 13	資料の調査一覧	106
6. 考古館月別入館者数調		
表 14	平成 30 年度 考古館月別入館者数調（平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月）	107

I 平成 30 年度
松山市埋蔵文化財調査概要

平成 30 年度 松山市埋蔵文化財調査概要

概 要 平成 30 年度の埋蔵文化財調査事業は、発掘調査 8 件、試掘調査 147 件、踏査 2 件、年報・報告書刊行 5 件、出土物整理・保存処理を実施した。

〔発掘調査〕 発掘調査は公共事業 1 件、民間事業 4 件、国庫補助事業 3 件である。なお、現地説明会を 3 か所で行い、延べ 425 人の参加者があった。(P43・表 4、P102・表 6)

公共事業（1 件）：河野別府に所在する正尺池では別府遺跡 4 次調査を実施し、中世の土坑、溝、柱穴などの集落関連遺構や水田址などの生産遺構を確認した。遺物は土師器、須恵器、瓦器、青磁、白磁、常滑焼などが出土し、周辺域の調査例などを含め中世河野氏との関連が考えられる。

民間事業（4 件）：市内一円で調査を実施した。持田本村遺跡 2 次調査では弥生時代・古墳時代・近世の集落関連遺構を検出した。弥生時代前期末の土墳墓 1 基を検出したほか、古墳時代後期の集落を区画する溝 1 条、土坑 4 基を確認した。出土遺物では縄文土器、サヌカイト、黒曜石がある。北久米遺跡 10 次調査では古墳時代後期と中世の土坑や溝、柱穴を確認した。久米高畠遺跡 75 次調査では、弥生時代から中世の堅穴建物、掘立柱建物、土坑、柱穴を検出した。出土遺物にはミニチュア土器がある。平井遺跡 11 次調査では、古墳時代の掘立柱建物、溝、自然流路を検出した。出土遺物には弥生土器、須恵器、土師器、陶磁器、石器がある。包含層中より綠釉陶器が出土した。

国庫補助事業（3 件）：松山城三之丸跡では史跡整備に伴う確認調査を継続的に実施しており、平成 30 年度は 21 次調査になる。石組み、土坑、柱穴、瓦溜まりを調査した。重要遺跡確認調査の経石山古墳 4 次調査では、周溝の一部と柱穴を確認した。個人住宅建設に伴う筋造 S 遺跡では、古墳時代後期の掘立柱建物、土坑、柱穴を検出した。

〔試掘調査〕 国庫補助事業として、市内一円における試掘調査によって、埋蔵文化財の内容確認を実施している。埋蔵文化財の確認申込受付件数は 280 件で前年度（237 件）に比べ 43 件増加した。このうち 147 件の試掘を行い、29 件について遺跡を確認している。(P37～42・表 3)

〔年報・報告書刊行〕 29 年度事業をまとめた「年報 30」と 4 冊の発掘調査報告書を作成した。調査報告書は過去の公共・民間開発に伴う発掘調査事業が 2 冊（15 遺跡）、国庫補助発掘調査事業が 2 冊（4 遺跡）である。

べつぶ 別府遺跡4次調査

所在地 松山市河野別府 115番・116番・126番

(包蔵地外)

期間 平成30年7月2日～平成30年11月30日

面積 960m²

原因 堤体改修

担当 作田一耕



図1 調査地位位置図

概要 調査は、正尺池の老朽化による改修工事に伴う発掘調査である。

調査地は、高繩山西麓の北条平野南部を西流する河野川と高山川に挟まれた低位砂礫台地及び扇状地頂部付近に立地し、標高は約14～16mである。北条平野周辺の山麓尾根上や独立丘陵上には、古墳時代前期から後期にかけての古墳が多く、とくに後期古墳は県内でも有数の密集地帯である。調査地近辺に目を転じると、北にはマス池遺跡、別府遺跡及び別府遺跡2次調査地、西には北条常保免遺跡、大相院遺跡などがあり、古代・中世を中心に繩文時代から古墳時代にかけての遺構や遺物も見つかっている。

遺構・遺物 今回の調査は正尺池の西側と北側の堤体裾に沿うように設定したことから、細い鉤形となった。調査区は工程の都合上、西側調査区の南約1/3を1区とし、残り約2/3と北側調査区を2区とした。このうち遺構が良好に残っているのは1区南端部と2区北側調査区で、それ以外の部分ではほとんど検出できなかった。

まとめ 今回の調査では弥生土器、須恵器、土師器等が出土しているが、遺構に伴うものはほとんどなかった。遺構は1区南端から木樋を、2区北側から石垣を検出したが、確実に伴う遺物は無かった。その中で、木樋を覆う土層中から出土した13世紀代後半の遺物から、木樋がそれ以降に構築されたものと類推するにとどまり、検出及び残存状況の悪さから、機能や構造について明らかにすることもできなかつた。石垣は2区北側調査区全体から検出し、東西とも調査区外に延びている。高さは約0.7～1mの野面積みで、鎌倉時代後半以降に築かれたものであるが、木樋以上に時期の決め手になるものが少なく、詳細は不明である。周辺からは弥生土器、須恵器なども出土しているが、石垣前面を覆う土層の比較的上層に近い砂礫層から広東碗が出土していることから、ほぼその頃に埋没したと推定できる。

石垣は、その北に東西に延びる低位砂礫台地の裾に沿って築かれており、高山川による浸食を防ぐ目的であったのか、そのほかの目的があったのかは今後の課題である。

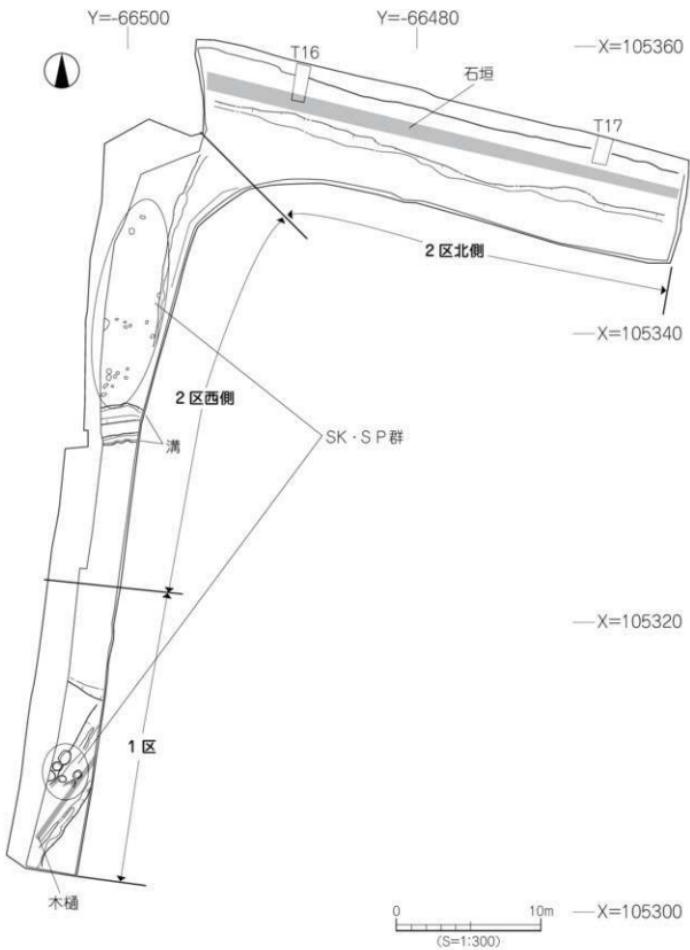


図2 遺構配置図



写真1 木樁と開削溝の土層断面(東より)



写真2 木樁の完掘状況(上空より)



写真3 石垣の完振状況(南西上空より)



写真4 石垣の一部(南より)

まつやまじょうさん のまるあと 松山城三之丸跡 21 次調査

所在地 松山市堀之内 10 番・12 番、無番地の各一部

(史跡松山城跡)

期間 平成 30 年 9 月 3 日～平成 30 年 11 月 30 日

面積 約 60m²

原因 史跡整備に伴う確認調査（国庫補助事業）

担当 橋本雄一・河野史知



図 1 調査位置図

概要 国史跡松山城跡は、道後平野北部の独立丘陵である勝山を中心に構築された近世城郭である。松山市では、「城山公園（堀之内地区）整備計画」を基に城山公園堀之内地区的整備を進めており、基礎資料の取得と遺構の保護を目的として、平成 13 年度から確認調査を実施している。

遺構・遺物 発掘調査の結果、江戸期の区画施設の一部と考えられる石組を 2 条確認した。このうち、調査区東北角で逆「く」の字形に屈曲する石組 1（写真 2）は、明治以降の陸軍の関連施設とみられる石組溝等によって、その角部が完全に破壊されていた。また、石組 2（写真 3）は、同じ陸軍の石組溝によって逆「コ」の字形に開けられた空間の内部においてのみ遺存しており、明治以降の工事の邪魔になる石材は徹底して抜き取られていることが判明した。石組 1 と石組 2 の新旧関係は判明しなかったが、ともに江戸期の遺構の一部であることは確実である。使用している石材の加工の仕方や、各石材の下端が江戸期の石組溝の底に敷かれていることが多い灰白色粘土によって化粧されていることから、江戸期の遺構と判断した。両石組とも石組溝の片側の石組が部分的に遺存したものと考えているが、反対側の石組は最終的に明治期の逆「コ」の字形に配置された石組溝（写真 1）によって破壊されているため、溝幅等の詳細は明らかにならなかった。

出土遺物 2 点（図 3-1・2）は、ともに石組 1 の裏込め土から出土した肥前系陶器の破片である。17 世紀後半を上限とする三之丸御殿造営段階の遺物と評価している。

まとめ このほか、江戸時代の遺構である可能性が高いものとして、調査区中央北寄りで検出された 2 基の柱穴がある（SP1 と SP2、東西 1 間、16 m 間隔）。調査区内において 2 基の柱穴と関連する遺構は確認されなかつたが、「御三丸図」に描かれた東西棟の門、あるいはこれに接続する築地塀に関連する柱穴である可能性が高い。調査区の東北から北壁沿いに近接して門や築地塀が位置する場合、それらの控柱である可能性が考えられる。

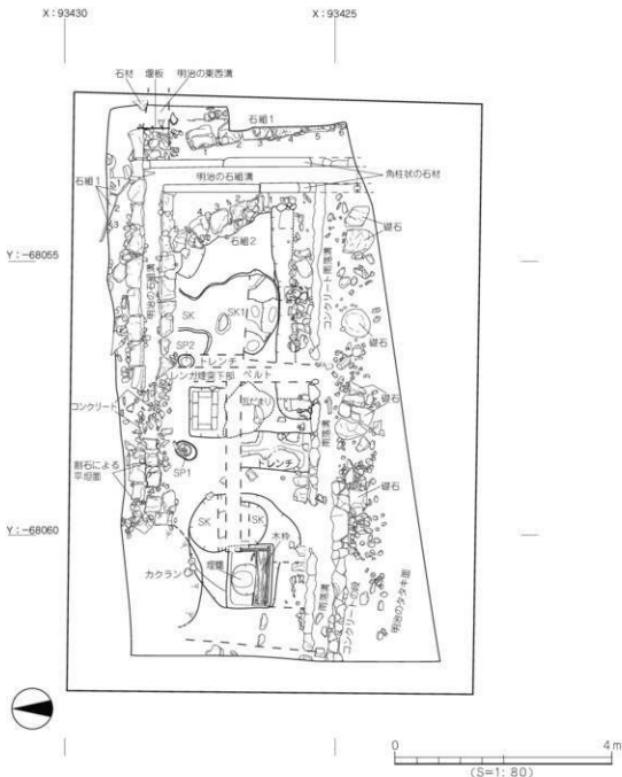


図2 遺構配置図



図3 出土遺物実測図

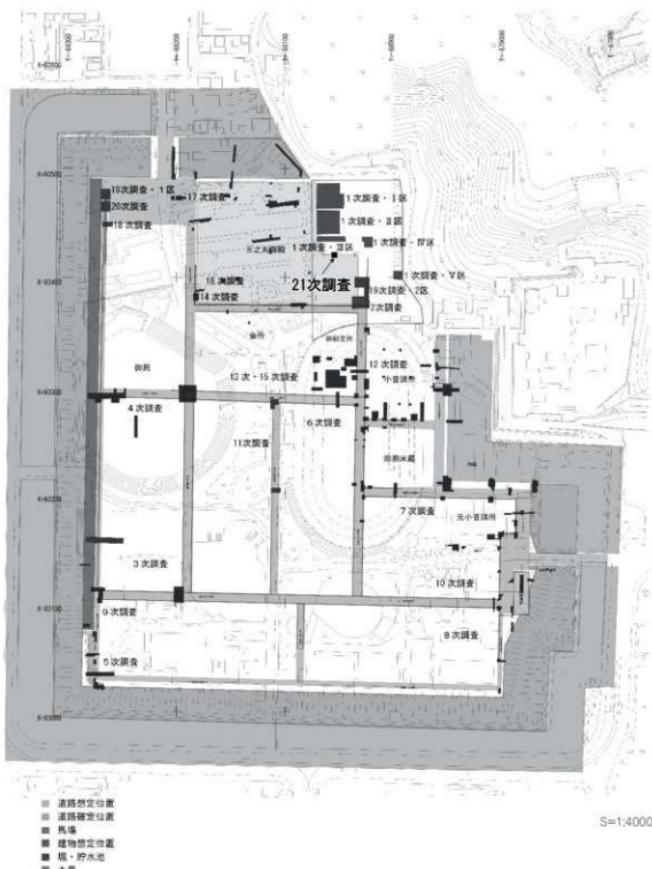


図4 確認調査位置図

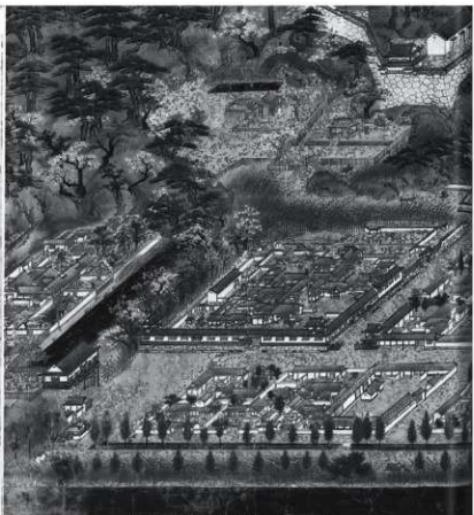


図 5 「松山城下図屏風」(部分)

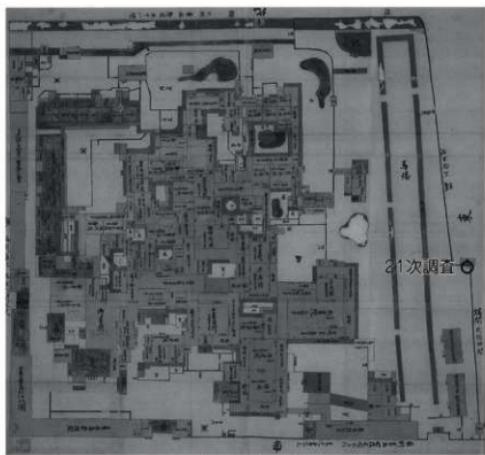


図 6 「御三丸図」

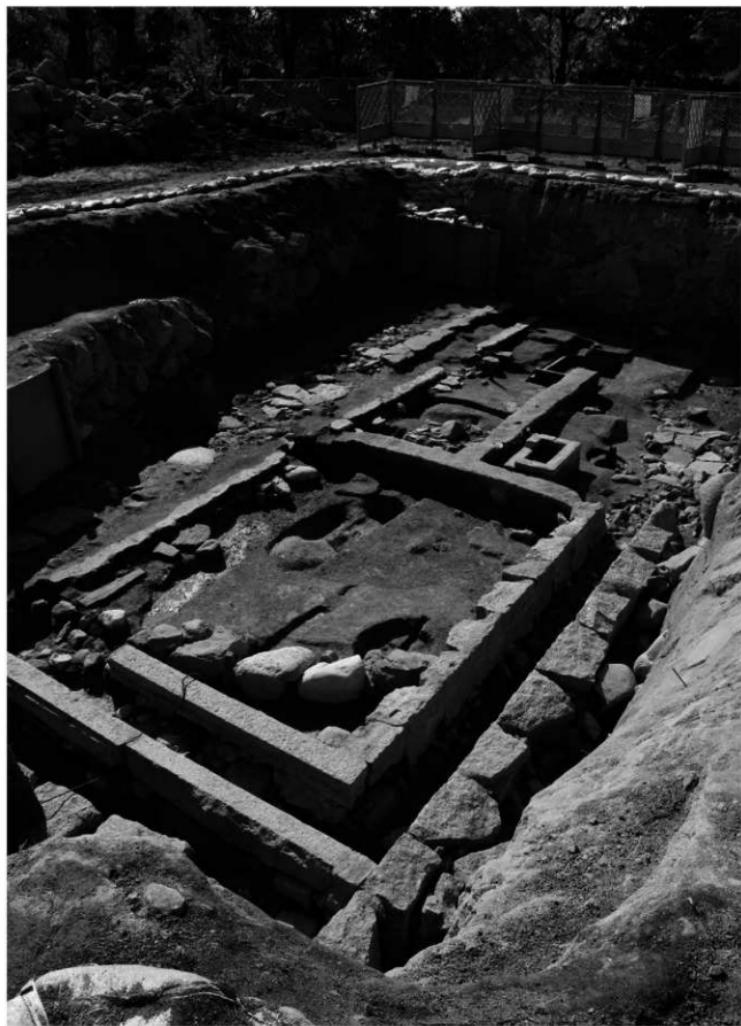


写真1 調査区全景（北東より）



写真2 石組1と明治の瓦層状造成面（北西より）



写真3 石組2東南正面（南東より）

もちだほんむら 持田本村遺跡 2次調査

所在地 松山市持田三丁目 256 番・256 番内の里道
(払下中地番 256 番の 2) の各一部
(松山地区 No.72)

期間 平成30年3月1日～平成30年5月11日

面積 約 441m²

原因 分譲マンション新築

担当 1区高尾和長、2区～4区小笠原善治



図1 調査位置図

概要 調査は、分譲マンションの新築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査である。

周辺の遺跡では、持田町三丁目遺跡・持田本村遺跡がある。持田町三丁目遺跡は、平成5年度に財團法人愛媛県埋蔵文化財調査センター（現 公益財團法人愛媛県埋蔵文化財センター）により発掘調査が行われ、純文時代晩期の土坑や弥生時代前期の土壙墓、土器棺墓をはじめ、古墳時代の堅穴建物などが数多く発見されている。平成27年度には公益財團法人松山市文化・スポーツ振興財團埋蔵文化財センター（以下、市埋文センター）が持田本村遺跡の調査を行い純文時代の土坑、弥生時代の土壙墓、土坑、溝、古墳時代の堅穴建物、土坑、溝、江戸時代の溝など各時代の遺構が数多く発見されている。また、東方には平成8・9年度に財團法人松山市生涯学習振興財團埋蔵文化財センター（現 市埋文センター）により岩崎遺跡として調査が行われ、弥生時代前期の大溝や貯蔵穴群をはじめ、古代の建物跡や溝のほか、水田跡や畠跡などが見つかっている。

調査は、1区～4区の4カ所の調査を同時並行で行なった。

遺構・遺物 検出した遺構は、土坑5基、溝1条、柱穴8基、性格不明遺構64基である。遺物は遺構内から出土している。遺物には、縄文土器（浅鉢）、弥生土器（壺）、土師器（甕、壺、皿）、須恵器（壺、壺、甕）、陶器（碗、皿）、石製品（石鎧、砥石、黒曜石、サヌカイト）、鐵滓、獸骨がある。その数量は、遺物収納箱(600×440×320mm) 26箱である。遺構の帰属時期は、出土遺物から弥生時代、古墳時代、近世に大別できる。調査区は宅地として利用されており、部分的に住居建築による掘削で遺構が破壊されている所がある。とくに調査区の北西～南東には排水管（塩ビ管）とマンホール（塩ビ製）2基が埋設されていた。

弥生時代の遺構は土坑1基（SK104）を検出した。SK104はD3区に位置し、上面をSX155に切

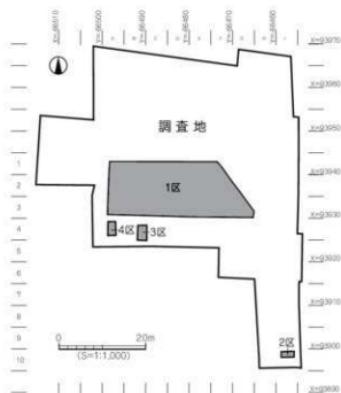


図2 調査区位置図

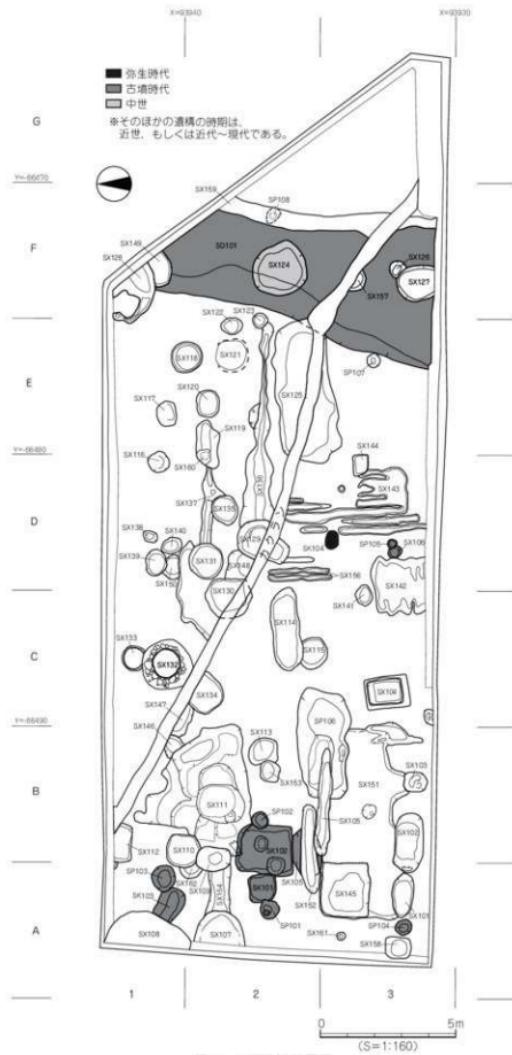


図3 1区遺構配置図

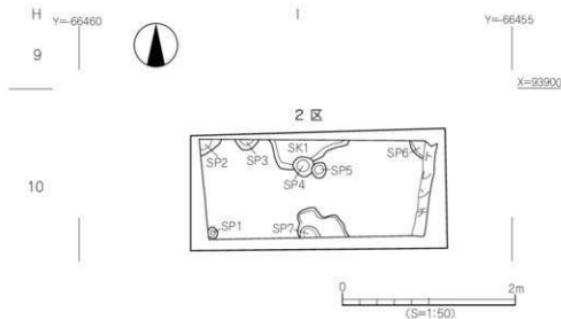


図4 2区遺構配置図

られる。平面形態は梢円形で、規模は東西0.68m、南北0.52m、深さ11cmを測る。断面形態は皿状である。埋土は黒褐色砂質土(10YR 3/1)である。出土遺物は弥生土器の壺形土器がある。出土状況は大きな破片が2点あり、復元すると頭部から底部までの残存であった。時期は弥生時代前中期とする。

古墳時代の遺構は土坑4基と溝1条(SD101)を検出した。SD101は調査区のE3～F1区に位置し、SX124・125・126・127・128・149・157・159、カクランに切られる。規模は検出長11.70m、幅(5.18)m、深さ36cmを測る。溝底はほぼ平坦で、わずかに北から南方向に傾斜し、高低差は3cmを測る。埋土は2層に分かれ、①層黒褐色土(7.5YR 3/1)、②層灰褐色土(7.5YR 3/2)である。出土遺物は須恵器、土師器、石鏸、砥石、サヌカイト、黒曜石、鉄製品がある。時期は古墳時代後期(6世紀前半)とする。

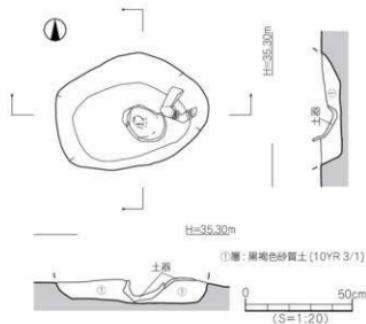


図5 SK104測量図

出土遺物（図7 1～4）

1は弥生時代前期の壺形土器。胴部と肩部にヘラ状工具による刺突文と沈線文を施す。2～4は須恵器である。2は壺蓋。天井部は歪んでいる。口縁部は垂直に接地し端部は内傾する面を持ち窪む。3は壺身。受部は短く水平に伸び、たちあがりは内傾し端部は内傾する面を持ち窪む。4は高壺。底部は扁平で、受部は外上方に伸び、たちあがりは直立し端面は内傾する面を持ち窪む。脚部に長方形透かしを3方向に施す。

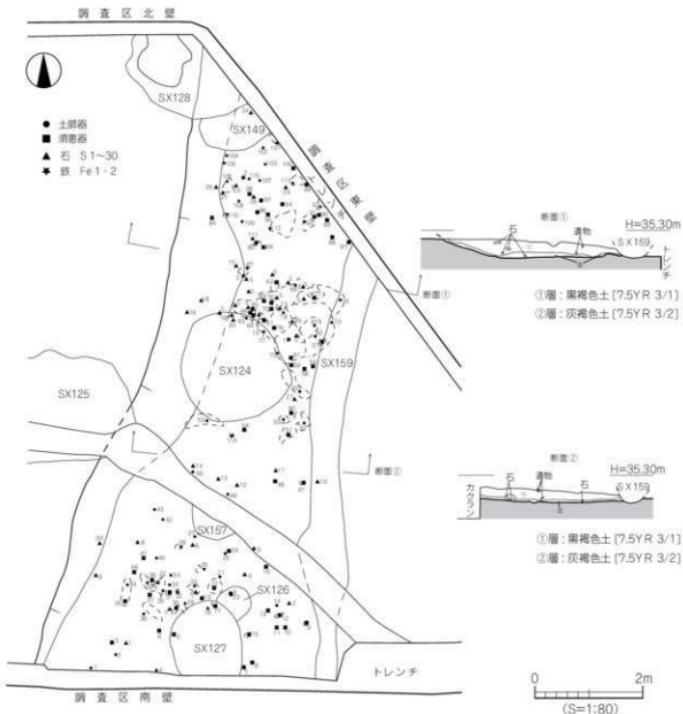


図6 SD101測量図・遺物出土状況図

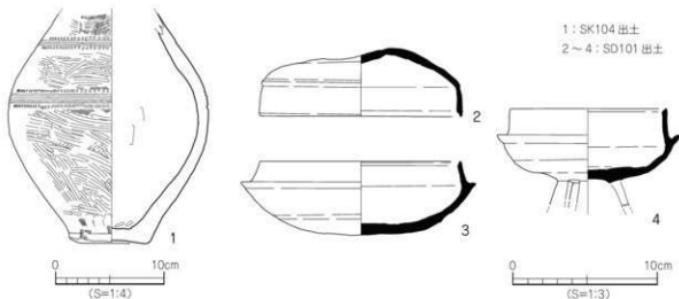


図7 SK104・SD101出土遺物実測図

まとめ 本調査では、弥生時代前期と古墳時代後期、中世、近世の遺構・遺物を確認した。検出した主な遺構には、弥生時代前期の土坑1基、古墳時代後期の土坑4基、溝1条、柱穴8基、近世の性格不明遺構30基がある。注目する遺構は弥生時代の土坑、古墳時代の土坑と溝、近世の性格不明遺構である。

弥生時代前期の土坑は1基を検出した。SK104の平面形態は楕円形で、出土遺物には完形品に近い壺形土器が1点出土した。土壤墓の可能性が考えられる。

古墳時代後期の土坑4基と溝1条を検出した。土坑の平面形は方形と楕円形がある。土坑内からは土師器、須恵器片が出土した。SD101の底面は平坦で埋土には砂が混じらない。遺物は土師器、須恵器、サスカイト、黒曜石が出土した。土師器は完形品が割れた状態のものが床面から出土し、北側上層では川原石が投棄された状態がみられた。

近世と思われる遺構は30基ある。建物周辺での土器や瓦を捨てるためのゴミ捨て場と考えられる。出土遺物には砥部や近畿地方、九州地方から運ばれた陶磁器が出土している。

今回の調査成果は、弥生時代前期（約2300年前）の土坑が見つかったことで、持田～岩崎一帯にある弥生時代前期の集落が調査地まで広がっていたことが確認できた。また、古墳時代後期（約1500年前）では、土坑や区画する溝が見つかったことで、持田本村遺跡・持田町三丁目遺跡の古墳時代集落の広がりについて、本調査地一帯が東端になることが推測される。近世では、陶磁器や瓦を多量に含むゴミ捨て場が見つかったことより、持田本村遺跡の調査と合わせて、調査地の北側周辺には、江戸時代に溝で囲われた屋敷が存在していたと考えられる。

今後は、周辺地での調査成果と今回の調査結果を比較・検討し、弥生時代や古墳時代の集落構造の把握作業を進めていくと共に、今後周辺地での発掘調査が進めば、城東地域の古代史が詳細に明らかになり、道後温泉や湯築城の歴史解明の資料になると思われる。



写真1 1区発掘状況（北より）



写真2 SD101 遺物出土状況（北より）

きょうせきざんこふん 経石山古墳 4 次調査

所在地 松山市桑原四丁目 408 番

(松山地区 №84)

期間 平成 30 年 11 月 26 日～平成 30 年 12 月 7 日

面積 約 10m²

原因 重要遺跡確認調査（国庫補助事業）

担当 相原浩二



図 1 調査地位置図

概要 本調査は、県指定史跡である経石山古墳（前方後円墳）の範囲確定に伴う重要遺跡確認調査（国庫補助事業）である。平成 28 年度に経石山古墳の実態解明の一歩として南側隣地にある市有公園（県史跡指定地外）を対象に 3 次調査が実施された。調査では後円部の南側に幅 5.0m、深さ 0.4m の周溝が巡ることが確認された。今回の調査は、3 次調査地の西方約 13m の公園施設の限られたスペースの間にトレンチ状の調査区を設け、周溝の有無と墳形及び築造時期についての追加資料を得るため 4 次調査として行った。

遺構・遺物 今回の調査では、周溝、柱穴 3 基のほか現代の基礎跡や擾乱坑などを検出した。遺物は周溝埋土からの出土は無く、上層から江戸時代以降の土師器壺 1 点、土師器皿 2 点、ままごと道具のすり鉢 1 点が出土したのみである。

周溝は現代の開発痕跡によって大きく削平され、一部の検出にとどまる。検出規模は幅 2.40m、長さ（東西）0.20m～0.30m、深さ 0.04m～0.14m を測る。周溝の北側、南側、西側も現代の開発によって失われている。柱穴 3 基については出土遺物もなく時期不明である。

まとめ 経石山古墳は、これまでの先史研究では、明確な時期を示す考古資料は提示されていないものの、近接する三島神社古墳との比較から、やや先行する 5 世紀末築造の前方後円墳とされてきた。しかし、平成 28 年度に実施された 3 次調査で確認された周溝からは、主に 6 世紀代の須恵器しか出土しないことから、その築造時期が 6 世紀代に下る可能性を指摘したものである。

今回の 4 次調査でも、近・現代の開発行為によって大きく改変されてはいるが、部分的に周溝の痕跡を確認することができた。しかし、周溝内からは須恵器をはじめ出土遺物が無く、古墳築造の時期決定に関係するような有効な資料は得られなかった。このことは、本来墳丘に葺石や埴輪が設置されていないことを示しており、3 次調査の成果とも一致する。また、3 次調査で確認された周溝が後円部南側まで巡ることから、本来は丘陵南側まで周溝を備えた構造で、墳丘自身も現状よりやや長大であった可能性が考えられる。

今後は、埋葬主体や墳丘構築方法の把握や、築造時期の解明を行うためにも、再度正確な測量図の作製や墳丘部の確認調査（トレンチ）、地下レーダー探査等が必要と思われる。また、松山平野では数少ない現存する前方後円墳であることから、地域のメルクマールとしていかに後世に残すことができるか、併せて考えておく必要があろう。



図2 調査区位置図

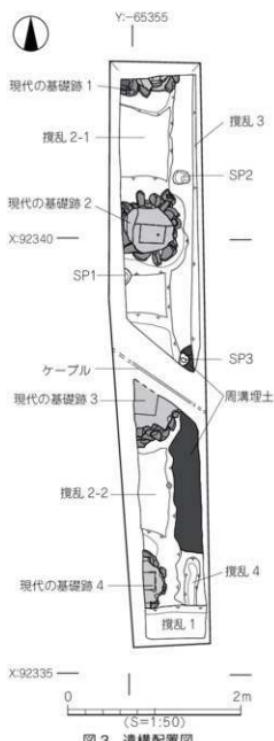


図3 造構配置図



写真1 完掘状況（南より）



写真2 周溝埋土検出状況（西より）

すじかい 筋違 S 遺跡

所在地 松山市福音寺町 424 番 5、424 番 2 の一部、
423 番 6 の一部、423 番 7 の一部
(松山地区 № 116)

期間 平成 30 年 7 月 2 日～平成 30 年 7 月 31 日

面積 151.17m²

原因 個人住宅の建設（国庫補助事業）

担当 山本健一



図 1 調査地位置図

概要 調査地は、松山平野の東部を流れる川附川の左岸、国道 11 号線福音寺町交差点から北東方面へ 240 m 程の標高 29.2 m に立地し、松山市埋蔵文化財包蔵地「№ 116 筋違・星岡遺跡群」内に所在する。周辺には、福音小学校構内遺跡、筋違遺跡、竹ノ下遺跡、乃万の裏遺跡、北久米常堰遺跡、北久米淨蓮寺遺跡など、弥生時代から中世にかけての集落遺跡が多数分布している。これらのことから、本申請地においても弥生時代から中世の集落関連遺構が確認されることが予想された。試掘調査では、遺構（溝・柱穴）と遺物（土師器・須恵器）が確認された。このことより、埋蔵文化財発掘調査を実施することになった。調査は、弥生時代から中世の集落範囲や構造の確認を主目的とし、建設工事により地下の遺構に影響を及ぼす部分のみを行った。調査の結果、掘立柱建物跡 2 棟、土坑 3 基、柱穴 42 基を検出した。以下、掘立柱建物跡について記述する。

遺構・遺物 掘立 1 は、北側の柱列が調査区外に続き全容は不明であるが、東西方向 3 間、南北方向 2 間以上を検出した。建物の規模は東西長 4.66 m、南北検出長 4.80 m を測る。建物を構成する柱穴からは弥生土器、土師器、須恵器の破片が出土した。出土した須恵器の特徴より、古墳時代中期末葉の時期と考えられる。掘立 2 は、3 間 × 1 間の東西棟で、建物の規模は東西長 5.60 m、南北長 2.31 m を測る。建物を構成する柱穴からは弥生土器、土師器、須恵器の破片が出土した。出土した須恵器の特徴より、古墳時代中期末葉の時期と考えられる。

まとめ 今回の調査では、主に古墳時代の集落関連遺構を確認することができた。古墳時代の掘立柱建物跡 2 棟には切り合い関係が確認できず、前後関係はわからないが、時間差で同じ場所に 1 間 × 3 間、3 間 × 2 間以上規模の性格の違った建物を建てたことになる。今後は、掘立柱建物跡などの集落関連遺構などを比較検討し、古墳時代の福音寺地区における集落の範囲、構造、変遷を明らかにする必要がある。

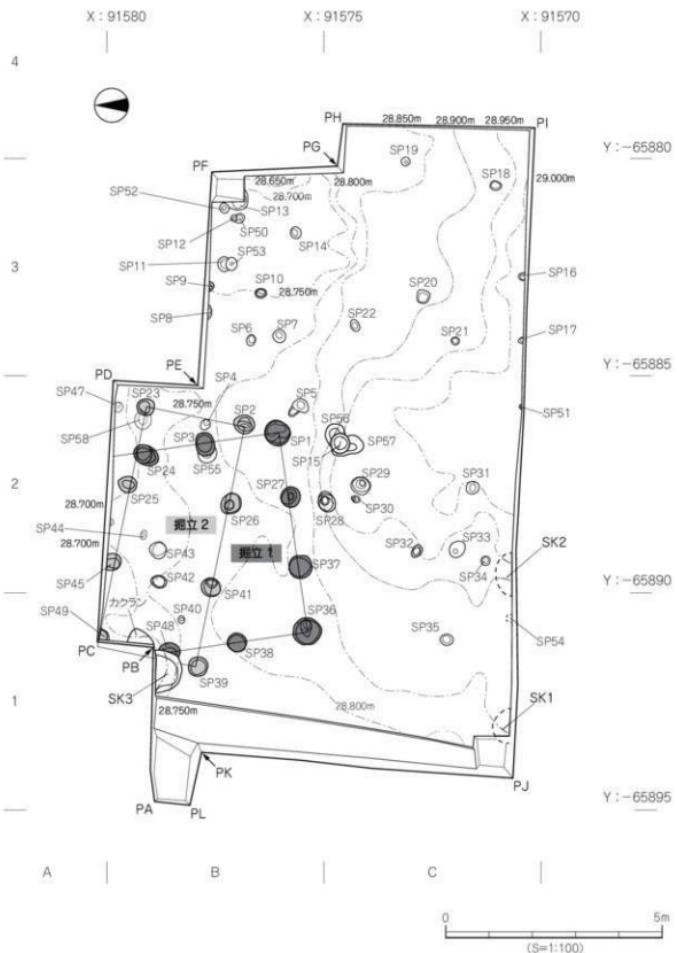


図2 遺構配置図

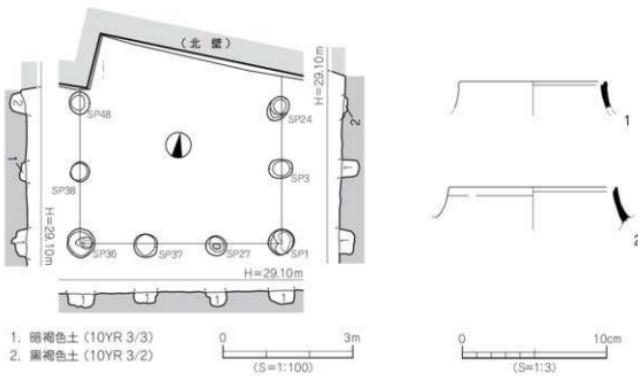


図3 掘立1 测量図・出土遺物実測図

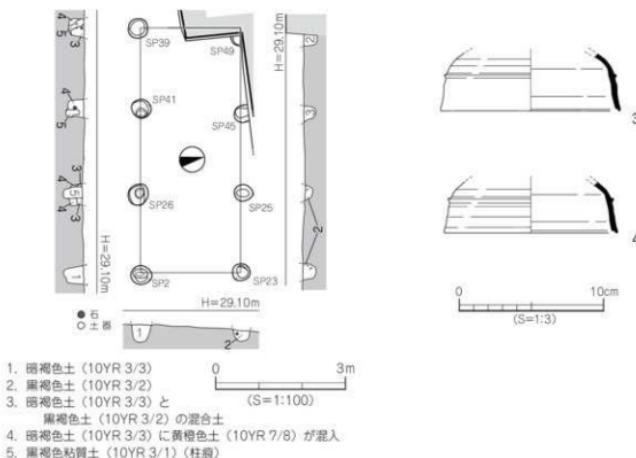


図4 掘立2 测量図・出土遺物実測図



写真1 挖立1 完掘状況（南より）



写真2 挖立2 完掘状況（南より）

北久米遺跡 10 次調査

所在地 松山市北久米町 469 番 1・469 番 3 の各一部
(松山地区 No.126-1)

期間 平成 30 年 4 月 16 日～平成 30 年 4 月 27 日

面積 約 125m²

原因 宅地造成

担当 相原浩二

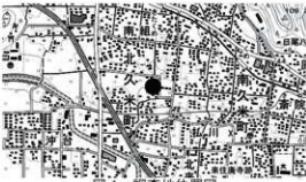


図 1 調査位置図

概要 調査地は、久米地区を西流する堀越川右岸の標高 34.40m に位置する。近隣の遺跡には北久米町屋敷遺跡 1・2 次調査、南久米町遺跡 6 次調査、久米才歩行遺跡 2・3 次調査が所在し弥生時代～中世にかけての集落関連の遺構・遺物が見つかっている。

遺構・遺物 今回の調査では、土坑 1 基、溝 1 条、柱穴 11 基のほか弥生土器、土師器、須恵器など古墳時代や中世の遺構と弥生時代～中世の遺物を確認した。

古墳時代の遺構には土坑 SK1 がある。全容が不明なため性格については解明できていない。時期については、器形が知れる遺物に 6 世紀前半の須恵器环身の小片が 1 点あり、これをもって遺構の時期判断をおこなった。中世では、溝 SD1 と柱穴 SP5・7 がある。SD1 は、調査区の西端で検出した幅 2m を超える南北方向の溝である。埋土には、砂層が見られないことから水の流れはなかったものと考えられる。遺物は、土師器土釜の口縁部が出土しており、室町時代の 14 世紀に時期比定している。柱穴 SP5・7 からは土釜の胴部片が出土しており、SD1 と同時期の 14 世紀に比定できる。他の柱穴の時期は出土遺物がないものの SP5・7 と埋土色が同じであることから同時期と考えられる。

まとめ 調査地の北側約 50m に所在する北久米町屋敷遺跡 1・2 次調査では中世から近世にかけての区画域が推定される L 字状に巡る溝や橋跡が検出されており、SD1 の性格については、町屋敷遺跡で見つかった溝と同じような区画溝とも考えられる。このことから、調査地には 14 世紀頃の小規模な掘立柱建物が建っていたことが想定される。

以上、今回の調査では久米地区における堀越川北岸の古墳時代・中世の遺跡状況を補充する資料が得られた。



写真 1 SD1 検出状況（南より）



写真 2 調査区全景（北東より）

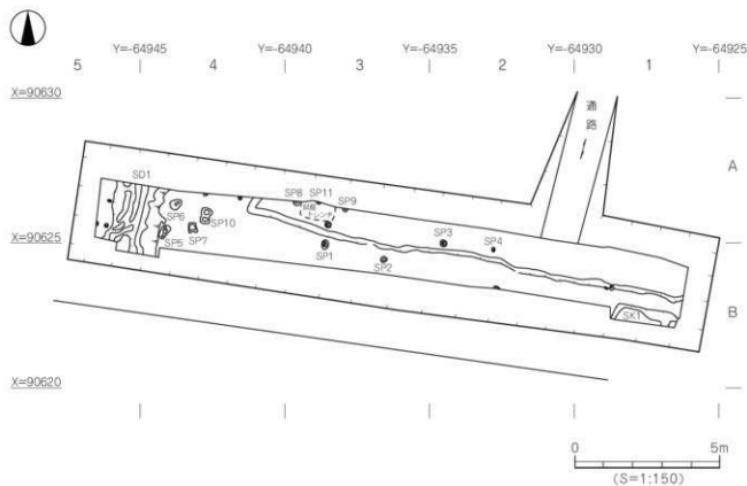


図2 造構配置図

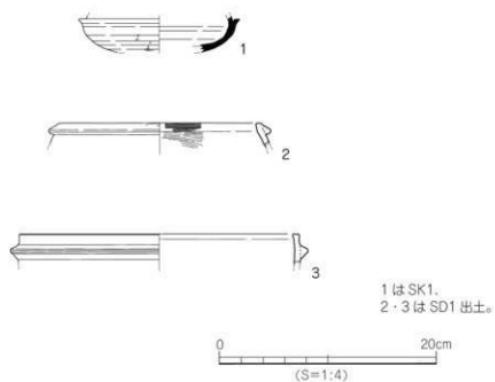


図3 出土遺物実測図

久米高畠遺跡 75次調査

所在地 松山市来住町 912番3・912番5の各一部

(松山地区 No.127)

期間 平成30年4月16日～平成30年5月31日

面積 約165m²

原因 宅地造成

担当 作田一耕



図1 調査位置図

概要 調査地は、高縄山地南西麓の洪積世段丘上に立地する。この段丘は高縄山地に端を発する小河川の運搬物によって形成されたものである。

本遺跡が立地する来住町を含め、小野地区から鷹ノ子・南久米付近の平地部を見ると、高縄山麓から悪社川までの間は、北東から南西または西方向に扇状地帯の地形が広がっている。その中でも水泥町から西の小野川以南は傾斜が緩やかである。

堀越川より北に目を転じると、別的小河川群によって形成された台地が広がっている。この付近は本遺跡群が展開する来住台地とは標高にして数mの差がある。

来住台地について見ると、小野川と堀越川の間にあって、東西方向に舌状に延びており、国道11号線久米交差点の西側において両河川が合流する地点で終わっている。

遺構・遺物 調査では土層断面から新旧2面の遺構面を観察することができた。新段階は概ね官衙関連遺構が構築される7世紀以降、旧段階はそれより古い時期の遺構の構築が確認できる面である。

遺構は掘立柱建物跡、堅穴建物址、土坑、柱穴・小穴等を多数検出し、切り合いも激しいものであった。その中で、堅穴建物址2棟、掘立柱建物跡3棟、土坑18基を検出した。

しかし、調査区が幅の狭い「L」字形であるため、全容のわかるものはほとんどなく、遺物もわずかな出土に留まっている。

まとめ 今回の調査では、残念ながら官衙関連遺構を明確にはできなかったが、弥生時代から古代、さらに一部では中世の遺構を検出したことから見ても、来住台地が段丘地形であるとともに、用水確保の利便性や周辺との交易性が良いなどの条件に恵まれていたことが窺える。

この周辺に官衙関連遺構が造営されたのも、そういうことの延長線上にあったものと推定できる。



写真1 蓋（掘立柱建物跡出土）



写真2 石製模造品？
(土坑出土)



写真3 石錫（柱穴出土）



写真4 西側調査区全景（北より）



写真5 南側調査区全景（東より）

ひらい 平井遺跡 11次調査

所在地 松山市平井町甲 2299番1・甲2300番・
甲2301番1の各一部(松山地区No.152)
期間 平成31年1月7日～平成31年2月28日
面積 346.43m²
原因 宅地造成
担当 宮内慎一・作田一耕

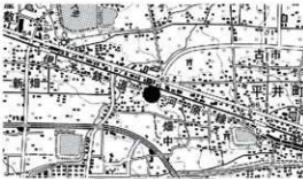


図1 調査地位置図

概要 調査地は松山平野東部、標高57.6m前後に立地し、調査以前は耕作地であった。これまでに、調査地周辺では平井遺跡として10度の発掘調査が実施され、弥生時代の溝や土坑のほか古墳時代の竪穴建物や掘立柱建物、中世の溝や土坑などが発見されている。とりわけ、調査地東側の平井遺跡8次調査では、弥生時代中期後半の土坑や古墳時代後期の建物址、中世の溝が検出されている。

本調査では調査対象地が東西方向に長く、そのため西側を1区、東側を2区として調査を実施した(図2)。基本層位は、9層(Ⅰ～Ⅸ層)に分層される(図3)。地表面から約50cm掘り下げた地点にて褐灰色土(Ⅴ層)の堆積が認められ、本層中からは土師器や須恵器の破片が少量出土した。さらに掘り下げを進め、黄色土(Ⅵ層)上面にて遺構を検出した。なお、黄色土は調査地全面に存在するわけではなく、本層下には河川の氾濫に起因する灰色の砂礫層(Ⅶ層)があり、1区の東半部から2区西半部は砂礫層が露出する状況であった。

遺構・遺物 検出した遺構は掘立柱建物2棟、溝3条、自然流路2条、土坑3基、柱穴29基である。ここでは、地区別に概要を説明する。

(1) 1区の調査

1区では掘立柱建物1棟、溝3条、自然流路1条、土坑1基、柱穴18基を検出した。建物を構成する柱穴のうち、掘立Iでは2基の柱穴を検出した。両柱穴の平面形態は長方形をなし、柱穴掘り方埋土は黒褐色土である。柱穴内からは、古墳時代終末期の須恵器壊蓋や高环の破片が少量出土した。全容は不明であるが、柱穴の形態や方向、出土遺物などから建物柱穴と判断した。このほか、1区では東西方向の溝1条(SDI)

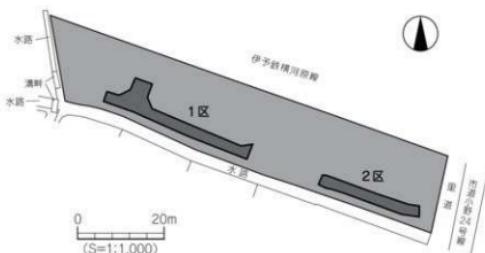


図2 調査地測量図

を検出した。検出幅90cm、深さ10cmの溝で、溝からは鎌倉時代の土釜(脚部)や須恵器高坏の破片が出土している。また、土坑SK1は直径1m、深さ15cmの楕円形土坑で、土坑からは近現代の瓦や河原石が出土した。これらの遺構は黄色土上面での検出であるが、前述のとおり、黄色土下には河川の氾濫に起因する堆積物が広く分布しており、1区中央部では自然流路(SR2)を検出した。検出幅約3m、深さ1m前後の中流路で、北東—南西方向に流れている。流路上面は、黄色土で一部覆われている。時期特定しうる遺物の出土はないが、黄色土が覆うことから概ね古墳時代まで存在した流路と考えられる。

[2] 2区の調査

2区では掘立柱建物1棟、自然流路1条、土坑2基、柱穴11基を検出した。掘立2は、建物を構成する柱穴のうち4基の柱穴を検出した。柱穴掘り方の平面形態は円形または楕円形をなし、規模は直径80~100cm、深さ20~60cmである。柱穴掘り方埋土は掘立1と同様、黒褐色土である。柱穴の配置から、南北2間以上、東西2間以上の建物跡と考えられ、柱穴内からは古墳時代終末期の土師器や須恵器の破片が出土した。掘立1と掘立2は建物方向が酷似しており、出土遺物などから同時期に併存した建物といえる。このほか、2区からは自然流路(SR1)を検出した。2区西半部で検出した流路で、深さは1m前後である。SR1は南東—北西方向の流路で、流路内には黒色土のほかに砂や小礫が互層堆積をなしている。検出層位や埋土、方向等よりSR1とSR2は同一流路の可能性が高いと考えられる。なお、SR1埋没後には土坑SK3が掘削されている。SK3からは古墳時代後期の須恵器甕(胴部片)が出土しており、SR1は少なくとも古墳時代後期には埋没したものといえる。また、SK2は直径1m、深さ30cmの楕円形土坑で、土坑からは近現代の瓦片が出土した。

まとめ 今回の調査で検出した最古の遺構は、自然流路である。2条の流路(SR1・SR2)は埋土が若干異なるが、検出状況から同一流路と考えられ、東から西へ向かって蛇行しながら流れている。流路の存続期間は概ね古墳時代後期と推測され、流路埋没後、黄色土が地表面を形成し、7世紀前半には2棟の掘立柱建物が構築されることになる。さらに、中世では鎌倉時代の溝が掘削される。これらのことから、調査地が所在する平井地区では、地区全域ではないものの、古墳時代後期頃までは河川や自然流路が流れる状況であり、古墳時代終末期頃には居住域として土地利用されたものと考えられる。今回の調査結果は、平井地区における古墳時代以降の旧地形や集落様相を解明するうえで、貴重な成果といえよう。

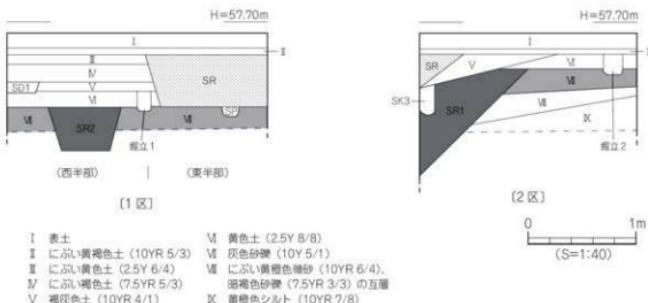


図3 土層模式図

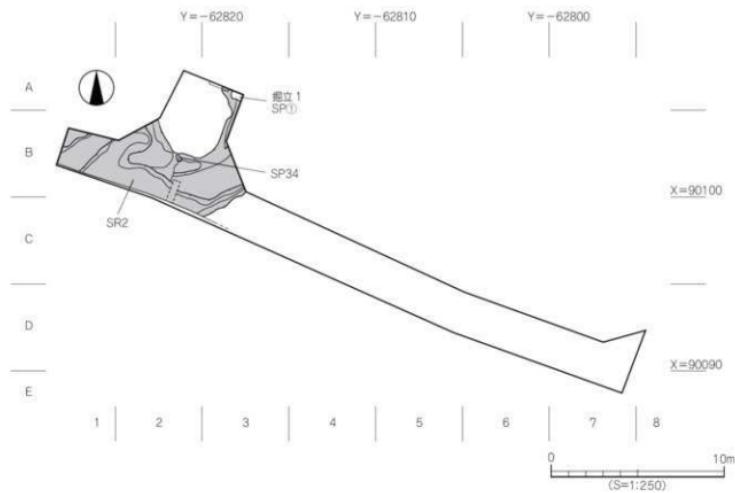


図4 1区造構配置図（第VI層下面）

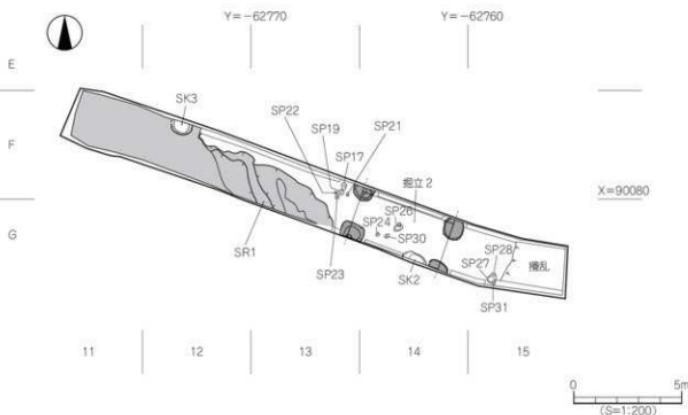


図5 2区造構配置図（第VI層上面）



写真 1
1区完掘状況（西より）



写真 2
2区完掘状況（西より）



写真 3
掘立 2 検出状況（北より）



写真 4
S R 1 棟出状況（西より）



写真 5
S R 2 棟出状況（東より）



写真 6
S K 3 棟出状況（南より）

II 平成 30 年度
松山市埋蔵文化財調査関係資料

平成 30 年度 松山市埋蔵文化財調査関係資料

●例 言

1. 本編は、松山市教育委員会事務局文化財課と公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団埋蔵文化財センターが実施した埋蔵文化財確認調査及び本発掘調査資料である。
2. 埋蔵文化財確認調査は、平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日受付迄（申請番号 1 ～ 280 号）の資料を取り扱う。なお、平成 29 年度以前の資料については、「松山市埋蔵文化財調査年報 I ～ X （昭和 60 ～平成 9 年度）、同年報 11 ～ 30 （平成 10 ～ 29 年度）」を参照されたい。
3. 資料作成（一覧表・付録図）は、小笠原善治が行った。
4. 表中の番号は、埋蔵文化財確認申込書の番号に準ずるものである。また、本発掘調査については、平成 30 年度内に発掘調査を完了した遺跡を取り扱う。
5. 付録図は、国土地理院発行の 2 万 5 千分の 1 地形図（伊予北条・三津浜・松山北部・郡中・松山南部）を使用し、8 万分の 1 の縮尺で記載した。
6. 一覧の略記について
 - ① 標 高：地表面での測定値。
 - ② 申 込 者：公＝地方公共団体等、民＝民間事業者。
 - ③ 調査方法：試掘、踏査及び既往・周辺の調査履歴。
 - ④ 緊 急：記録保存を目的とした調査。国補：国庫補助事業調査。

●埋蔵文化財の保護について

文化財は、わが国の歴史・文化等を正しく理解するために欠くことのできないものであり、かつ将来的な文化の向上、発展の基礎をなすものです。それら文化財の保存・活用による国民の文化的向上を目的として昭和 25 年に制定された文化財保護法には、国民の心構えとして、「政府及び地方公共団体がこの法律の目的を達成するために行う措置に誠実に協力しなければならない」こと、「文化財が貴重な国民的財産であることを自覚し、これを公共のために大切に保存するとともに（中略）その文化的活用に努めなければならない」ことが記されています。また同時に政府及び地方公共団体は、関係者の所有権その他の財産権を尊重しなければならないこととなっています。

●周知の埋蔵文化財包蔵地内における土木工事等届出および確認調査について

周知の埋蔵文化財包蔵地とは、貝づか、古墳その他埋蔵文化財を包蔵する土地として周知されている土地のことです。

埋蔵文化財は、建造物等の他の文化財と違って主に地下に存在するため、土木工事等による破壊を免れない場合があります。そのため、地図^④に示された「周知の埋蔵文化財包蔵地」内で土木工事等を行う場合は、60 日前までに愛媛県教育委員会への届出が義務付けられています。また、その届出に伴い埋蔵文化財の有無を確認するための調査（踏査、試掘等）を行いますので、土木工事等の計画がある場合は事前に松山市教育委員会文化財課へご相談ください。

註) 地図（松山市埋蔵文化財包蔵地図）は、文化財課にて配布しているほか、松山市ホームページでも閲覧が可能です。

松山市埋蔵文化財調査関係資料

●周知の埋蔵文化財包蔵地の変更について

平成 30 年度は愛媛県教育委員会により以下の埋蔵文化財包蔵地に関する見直しが決定されました。

表 1 平成 30 年度 松山市埋蔵文化財包蔵地変更一覧 (松山地区)

包蔵地番号	包蔵地名称	種類	時代	見直し結果
108	小坂・中村遺跡群	集落跡	弥生・古墳・古代・中世	平成 30 年 8 月 15 日修正
110	釜ノ口遺跡	集落跡	縄文・弥生・古墳・古代・中世	
112	天山古屋敷遺跡	集落跡	弥生・古墳	
117	天山古墳群	古墳	弥生・古墳	
227	吉藤橋ノ口遺跡	散布地	古代	平成 30 年 8 月 15 日新規

*松山 161 中村二丁目遺物包蔵地は松山 110 との統合による欠番(平成 30 年 8 月 15 日既定)

表 2 平成 30 年度 松山市埋蔵文化財包蔵地変更一覧 (北条地区)

包蔵地番号	包蔵地名称	種類	時代	見直し結果
67	善応寺遺跡	社寺跡	古代	平成 30 年 8 月 15 日修正

*北条 69 河野郡跡は北条 67 の桝枠による欠番(平成 30 年 8 月 15 日既定)

表 3 平成 30 年度 松山市埋蔵文化財確認調査一覧

(1)

No.	所在地	面積 (m ²)	標高 (m)	包蔵地番号	申込者	工事の目的	調査方法	遺跡有・無	包含層○ 遺構名	出土遺物	備考
1	煙寺二丁目	314.57	51.00	No.87	民	住宅	試掘	無			
2	北斎院町	89.48	7.90	No.27	民	農業開発	試掘	無			
3	小坂五丁目	891.81	23.20	No.111	民	住宅	試掘	無	○	弥生土器	
4	居相三丁目	1,332.37	19.30	No.119	民	その他の建物	現状の調査履歴 (H28-218)	(無)			
5	樽味二丁目	142.74	42.80	No.81	民	住宅	現状の調査履歴 (H18-180)	(有)			
6	北久米町	376.00	33.80	No.126-1	民	住宅	試掘	無			
7	北久米町	1,038.00	31.50	No.126-1	民	その他の建物	試掘	有	○	弥生土器 董家春耕器	
8	北井門三丁目	118.28	- 22.60	No.121	民	住宅	現状の調査履歴 (H28-249)	(有)			
9	北斎院町	1,752.27	- 8.20	No.29	民	宅地造成	試掘	無			
10	衣山二丁目	138.87	20.50	No.20	民	住宅	試掘	無			
11	小坂四丁目	1056.68	24.90	No.110	民	その他の建物	現状の調査履歴 (H29-67)	(無)			
12	北土居五丁目	101.60	24.30	No.120	民	住宅	試掘	無	○	弥生土器	
13	福音寺町	330.58	29.00	No.116	民	住宅	現状の調査履歴 (H29-65)	(有)			■実測調査
14	南久米町	388.00	36.60	No.127	民	住宅	試掘	無			
15	小坂四丁目	96.68	25.20	No.110	民	住宅	試掘	無			
16	鷹子町	921.51	43.40	No.128	民	宅地造成	試掘	無			
17	南町一丁目	99.10	35.50	No.213	公	水道	現状の調査履歴 (H15-50) 試査履歴	(有)			
18	谷町	664.07	14.20	No.41	民	宅地造成	試掘	無			
19	南土居町	200.00	37.60	No.132	公	水道	現状の調査履歴 (H17-48)	(無)			
20	久万ノ台	264.46	- 40.30	No.167	民	住宅	試掘	無			
21	岩崎町一丁目	264.33	23.40	No.153	民	住宅	試掘	無	○	弥生土器・環形器	
22	南土居町	395.81	40.10	No.132	民	住宅	現状の調査履歴 (H29-186)	(有)			
23	鷹子町	942.21	43.40	No.128	民	宅地造成	試掘	有	○	弥生土器柄碎片 環形器	柱穴
24	山越三丁目	735.822	20.60	No.168	民	その他の建物	現状の調査履歴 (H26-1)	(無)			
25	山越一丁目	207.99	18.70	No.160	民	住宅	現状の調査履歴 (H29-222)	(有)			
26	南久米町	125.565	32.80	No.127	民	住宅	試掘	無			
27	高岡町	4.34	7.80	No.27	公	水道	現状の調査履歴 (H29-187)	(無)			
28	小坂五丁目	1,812.78	- 22.20	No.111	民	宅地造成	現状の調査履歴 (H29-171)	(有)			
29	衣山三丁目	255.50	20.80	No.20	民	住宅	試掘	有	○	弥生土器・環形器 土器	
30	鷹子町	5.56	43.40	No.128	公	水道	現状の調査履歴 (H5-94)	(無)			
31	朝美二丁目	123.76	16.30	No.34	民	住宅	現状の調査履歴 (H27-211)	(無)			
32	谷町	442.18	23.20	No.41	民	住宅	試掘	有	○	弥生土器・環形器	
33	北久米町	425.86	35.60	No.126-1	民	住宅	試掘	無			
34	高岡町	1.92	7.00	No.26	公	水道	現状の調査履歴 (H29-192)	(無)			
35	松林五丁目	138.83	27.80	No.113	民	住宅	試掘	無			

松山市埋蔵文化財調査関係資料

平成30年度 松山市埋蔵文化財確認調査一覧

(2)

No.	所在地	面積 (m ²)	標高 (m)	包蔵地 番号	申込者	工事の目的	調査方法	遺跡 有・無	包含蓄(○) 道構名	出土遺物	備考
36	三垂町八丁目	534.95	15.90	公	国土区画整理	試掘	無				
37	桑原四丁目	1,038.00	37.40	No.82	民	宅地造成	試掘	無			
38	衣山三丁目	9.28	20.80	No.20	民	水道	周辺の調査履歴 (H20-29)	(有)			
39	南久米町	413.10	47.10	No.91	民	住宅	試掘	無			
40	福音寺町	812.00	29.30	No.116	民	その他建物	試掘	無	○	陶生土器	
41	高岡町	326.98	5.90	No.25	民	住宅	試掘	無			
42	鈴鹿町	201.98	26.70	No.67	民	その他建物	周辺の調査履歴 (H29-48)	(無)			
43	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	廃案
44	朝美二丁目	2.17	16.30	No.34	公	水道	周辺の調査履歴 (H27-21)	(無)			
45	平井町	104.62	58.00	No.152	民	その他建物	周辺の調査履歴 (H28-26)	(有)			
46	平井町	130.98	58.00	No.152	民	その他建物	周辺の調査履歴 (H28-26)	(有)			
47	南久米町	154.01	34.90	No.126-1	民	住宅	周辺の調査履歴 (H30-91)	(有)			
48	南久米町	1,255.38	35.50	No.126-1	民	宅地造成	試掘	無	○	陶生土器	
49	福音寺町	222.41	23.40	No.112	民	住宅	試掘	無			
50	衣山三丁目	200.05	24.80	No.20	民	住宅	試掘	有	土坑・溝 柱穴	陶生土器 環形器・土物器 瓦器・陶器	
51	東野一丁目	88.89	47.80	No.81	民	住宅	周辺の調査履歴 (H20-89)	(有)			
52	衣山三丁目	200.05	24.80	No.20	民	住宅	試掘	有	土坑・溝 柱穴	陶生土器 陶器	
53	東石井六丁目	55.08	24.40	No.119	民	その他建物	試掘	無			
54	南久米町	139.30	40.20	No.127	公	水道	周辺の調査履歴 (H20-255) (H29-90)	(無)			
55	北久米町	309.31	34.30	No.126-1	民	宅地造成	周辺の調査履歴 (H29-209)	(有)			➡発掘調査
56	山越一丁目	158.30	18.00	No.160	民	その他建物	試掘	無			
57	道後北代	223.86	31.50	No.219	民	住宅	試掘	無	○	環形器・土物器	
58	東野五丁目	132.29	23.30	No.79	民	住宅	試掘	無			
59	船ヶ谷町	152.84	16.90	No.17	民	住宅	試掘	有	○	陶生土器片 土坑・柱穴 土物器片底部内 香炉・陶生土器	
60	南久米町	902.97	35.30	No.126-1	民	宅地造成	試掘	有	○	土坑 柱穴	土物器片底部内 香炉・陶生土器
61	北塙本町	230.56	77.60	No.107	民	住宅	試掘	無			
62	鷹子町	140.84	43.40	No.128	民	住宅	周辺の調査履歴 (H30-23)	(有)			
63	小坂五丁目	780.00	22.80	No.111	民	宅地造成	試掘	無	○	陶生土器	
64	西石井五丁目	363.83	20.40	No.119	民	住宅	試掘	有	上层 壁穴建物	陶生土器	
65	小坂二丁目	3.02	29.60	No.110	公	水道	周辺の調査履歴 (H28-26)	(無)			
66	西石井五丁目	6.48	20.40	No.119	公	水道	周辺の調査履歴 (H30-64)	(有)			
67	南久米町	2.38	32.91	No.126-1	公	水道	周辺の調査履歴 (H28-43) (H29-9)	(有)			
68	小坂四丁目	3.68	24.90	No.110	公	水道	周辺の調査履歴 (H29-67)	(無)			
69	小坂四丁目	5.46	24.90	No.110	公	水道	周辺の調査履歴 (H29-67)	(無)			
70	西石井五丁目	1.40	20.30	No.119	公	水道	周辺の調査履歴 (H29-22)	(無)			
71	平井町	220.74	83.90	No.90	民	住宅	試掘	無	○	環形器	
72	小坂五丁目	392.25	24.10	No.111	民	住宅	試掘	無			
73	道後今市	1,238.24	33.20	No.68	民	宅地造成	周辺の調査履歴 (H29-120)	(有)			
74	南土居町	223.35	38.30	No.132	民	住宅	試掘	無			
75	小坂五丁目	102.73	24.40	No.111	民	住宅	試掘	無			
76	天山一丁目	206.75	21.30	No.112	民	住宅	試掘	無			
77	山越一丁目	1.76	18.70	No.160	公	水道	周辺の調査履歴 (H29-222)	(有)			
78	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	廃案
79	樽味四丁目	190.53	41.00	No.81	民	住宅	周辺の調査履歴 (H27-139)	(有)			
80	道後緑台	288.51	36.80	No.57	民	住宅	周辺の調査履歴 (H29-136)	(無)			
81	来住町	4.85	37.70	No.127	公	水道	周辺の調査履歴 (H28-251)	(有)			
82	森松町	298.47	34.40	No.134	民	宅地造成	試掘	無	○	陶生土器	
83	樽味二丁目	141.31	42.80	No.81	民	その他建物	周辺の調査履歴 (H30-180)	(有)			
84	南江戸五丁目	273.94	13.00	No.35	民	その他建物	試掘	無	○	土器片	
85	北斎院町	167.96	11.30	No.156	民	住宅	試掘	無	○	陶生土器	
86	一番町三丁目	2.16	35.50	No.74	民	その他建物	周辺の調査履歴 (H29-135)	(有)			
87	来住町	355.20	40.00	No.127	民	住宅	周辺の調査履歴 (H29-133)	(無)			
88	久万ノ台	262.69	15.70	No.167	民	住宅	周辺の調査履歴 (H30-20)	(無)			

松山市埋蔵文化財調査関係資料

平成30年度 松山市埋蔵文化財確認調査一覧

(3)

No.	所在地	面積 (m ²)	標高 (m)	包蔵地 番号	申込者	工事の目的	調査方法	遺跡 有・無	包含層○ 道構名	出土遺物	備考
89	安城寺町	246.70	7.20	No.155	民	住宅	現在の調査履歴 (H28.23)	(無)			
90	朝美二丁目	165.28	15.60	No.34	民	住宅	試掘	無	○	民生土器 鐵器	
91	桑原四丁目	201.52	38.40	No.85	民	住宅	試掘	有	柱穴		
92	博味四丁目	364.00	39.00	No.81	民	その他建物	(解説(西)反地盤(東)築堤(南)水路(北)1-G区)	(有)			
93	船ヶ谷町	194.53	21.20	No.17	民	住宅	試掘	無			
94	鷹子町	1,032.96	44.10	No.128	民	その他建物	試掘	無	○	須志部側部分	
95	東野一丁目	2.00	47.80	No.81	公	水道	周辺の調査履歴 (H28.89) (H30.51)	(有)			
96	北斎院町	176.49	8.50	No.29	民	その他建物	試掘	有	○	民生土器-鐵器 土器類-瓦器	
97	久万ノ台	288.97	22.80	No.20	民	住宅	試掘	無			
98	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	廃案
99	東虹生町	124.22	4.80	虹生町5	公	道路	周辺の調査履歴 (解説(西)反地盤(東)築堤(北)水路(南)柱穴)	(有)			
100	南久米町	38.95	34.15	No.127	公	水道	周辺の調査履歴 (H31.50)	(有)			
101	北斎院町	124.99	9.50	No.156	民	住宅	試掘	無			
102	道後町二丁目	146.09	35.60	No.68	民	住宅	試掘	無			
103	道後北代	254.98	33.70	No.219	民	その他建物	現在の調査履歴 (H13.349)	(無)			
104	西石井五丁目	369.68	20.60	No.119	民	住宅	試掘	無	○	近世の滑津跡	
105	下伊台町	560.03	~146.00	No.169	民	その他建物	試掘	無			
106	今在家二丁目	178.48	31.50	No.125	民	住宅	試掘	無	○	鐵器	
107	小坂四丁目	617.00	25.90	No.110	民	宅地造成	試掘	無			
108	南久米町	251	36.60	No.127	公	水道	周辺の調査履歴 (H13.296) (H30.14)	(無)			
109	鷹子町	137.57	43.40	No.128	民	住宅	現在の調査履歴 (H30.23)	(有)			
110	森松町	56.53	33.90	No.134	公	その他建物	試掘	無	○	民生土器	
111	道後今市	264.77	33.80	No.68	民	宅地造成	試掘	無			
112	西石井六丁目	150.41	21.00	No.119	公	水道	周辺の調査履歴 (H10.476) (H25.189) (H21.26)	(無)			
113	梅味二丁目	81.80	~44.30	No.81	公	水道	周辺の調査履歴 (H29.123)	(有)			
114	上居田町	989.90	12.20	虹山町5	公	公園造成	試掘	無			
115	北拖本町	567.43	106.30	虹山町5	公	公園造成	試掘	無			
116	南吉田町	688.29	3.10	虹山町5	公	公園造成	試掘	無			
117	古川南三丁目	804.75	17.80	虹山町5	公	公園造成	試掘	無	○	上居田跡部分	
118	来住町	619.70	36.10	No.127	民	その他建物	現在の調査履歴 (H16.207)	(有)			
119	久北米町	185.00	33.70	No.124	民	住宅	試掘	有	柱穴		
120	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	廃案
121	道後喜多町	230.55	33.90	No.219	民	住宅	現在の調査履歴 (H29.158)	(有)			
122	鷹子町	244.39	43.40	No.128	民	住宅	現在の調査履歴 (H30.23)	(有)			
123	持田町一丁目	664.62	35.80	No.224	民	宅地造成	試掘	無	○	民生土器面 环状器部分	
124	持田町一丁目	259.38	35.80	No.224	民	宅地造成	試掘	無			
125	今在家二丁目	121.00	31.20	No.125	民	その他建物	試掘	無	○	民生土器-鐵器 土器類-火器	
126	小坂四丁目	506.81	24.50	No.110	民	その他建物	試掘	無	○	民生土器鋼部分	
127	北土居二丁目	116.39	30.20	No.158	民	住宅	試掘	無			
128	枝松三丁目	251.00	32.60	No.83	民	その他建物	試掘	無			
129	来住町	104.80	41.30	No.127	民	水道	周辺の調査履歴 (H10.93) (H14.245)	(無)			
130	平井町	1,569.00	~58.30	No.152	民	宅地造成	試掘	有	○	柱穴-漆 塗器	
131	平井町	614.00	59.00	No.152	民	宅地造成	試掘	有	○	柱穴-土壤 民生土器	
132	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	廃案
133	朝日ヶ丘一丁目	50.00	~62.60	No.33	公	災害復旧	踏査	無			
134	鷹子町	456.42	44.00	No.128	民	宅地造成	試掘	有	○	柱穴-屋内建物	
135	久万ノ台	18.70	21.13	No.167	公	水道	周辺の調査履歴 (H8.26)	(無)			

松山市埋蔵文化財調査関係資料

平成30年度 松山市埋蔵文化財確認調査一覧

(4)

No.	所在地	面積 (m ²)	標高 (m)	包蔵地 番号	申込者	工事の目的	調査方法	遺跡 有・無	包含層○ 道構名	出土遺物	備考
136	東住町	183.10	37.70	No.127	民	住宅	既往の調査履歴 (H28-25)	(有)			
137	平井町	303.24	77.10	No.90	民	住宅	既往の調査履歴 (H28-139)	(無)			
138	南久米町	307.72	39.80	No.127	民	住宅	試掘	有	柱穴	弥生土器・鐵器	
139	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	廢棄
140	北斎院町	278.77	10.40	No.156	民	住宅	試掘	無			
141	高岡町	465.65	6.40	No.25	民	宅地造成	試掘	無			
142	久万ノ台	209.91	20.60	No.167	民	住宅	試掘	無			
143	鷺子町	921.42	43.40	No.128	民	宅地造成	既往の調査履歴 (H30-16)	(無)			
144	南江戸二丁目	689.76	13.30	No.35	民	その他建物	試掘	無	○	土加器	
145	北梅本町	1124.5	77.60	No.107	民	その他建物	既往の調査履歴 (H30-61)	(無)			
146	北梅本町	117.04	77.60	No.107	民	その他建物	既往の調査履歴 (H30-61)	(無)			
147	南久米町	378.73	35.90	No.126-1	民	住宅	試掘	無			
148	久米塚田町	415.97	45.60	No.129	民	宅地造成	既往の調査履歴 (H28-271)	(有)			
149	東方町	247.96	60.30	No.143	民	住宅	試掘	無	○	現也器・土加器	
150	南江戸五丁目	273.23	13.00	No.35	民	住宅	既往の調査履歴 (H30-84)	(無)			
151	久米塚田町	298.62	45.60	No.129	民	宅地造成	既往の調査履歴 (H28-271)	(有)			
152	久米塚田町	757.26	45.60	No.129	民	宅地造成	既往の調査履歴 (H28-271)	(有)			
153	久万ノ台	441.44	- 19.30	No.167	民	宅地造成	試掘	無			
154	祝谷二丁目	171.74	42.30	No.57	民	住宅	既往の調査履歴 (H27-96) (H28-163) (H29-162)	(有)			
155	鶴原一丁目	674.52	23.00	No.168	民	住宅	試掘	有	○ 柱穴	弥生土器 青磁の高台付灰 鉢形品	
156	北井門三丁目	224.14	23.30	No.121	民	住宅	試掘	無			
157	祝谷五丁目	132.19	45.80	No.56	民	住宅	試掘	無			
158	南江戸二丁目	623.88	14.00	No.37	民	その他建物	試掘	有	○ 柱穴	弥生土器 土加器脚部片	
159	小坂四丁目	655.00	25.90	No.110	民	宅地造成	試掘	無	○	弥生土器	
160	南江戸四丁目	257.26	13.00	No.35	民	住宅	試掘	無	○	現也器・木片	
161	祝谷二丁目	126.55	43.00	No.56	民	住宅	既往の調査履歴 (H31-185)	(無)			
162	枝松五丁目	62.60	27.80	No.113	公	水道	周辺の調査履歴 (H30-35)	(無)			
163	河野別府	500.01	17.70	延べ床面外	公	その他建物	試掘	無			
164	鶴原一丁目	211.00	37.80	No.45	民	住宅	試掘	有	○ 講・土坑 柱穴	弥生土器・現也器 土加器・瓦器 陶器	
165	祝谷六丁目	384.52	71.80	No.49	民	住宅	試掘	無			
166	櫛味四丁目	134.91	39.00	No.81	民	宅地造成	試掘	無		弥生土器・鐵器	
167	東本一丁目	1,001.48	31.30	No.82	民	その他建物	試掘	無	○	弥生土器 土加器	
168	北久米町	948.84	31.60	No.124	民	その他建物	試掘	無			
169	二番町四丁目	1,948.59	22.80	延べ床面外	公	宅地造成	試掘	無			
170	北斎院町	7.07	8.50	No.29	公	水道	周辺の調査履歴 (H30-96)	(有)			
171	枝松六丁目	52.70	27.70	No.113	公	水道	周辺の調査履歴 (H25-44)	(無)			
172	久米塚田町	90.20	45.70	No.129	公	水道	周辺の調査履歴 (H27-20)	(無)			
173	平井町	1,634.33	- 58.30	No.152	民	宅地造成	既往の調査履歴 (H30-130)	(有)			
174	中村二丁目	112.71	26.40	No.108	民	住宅	既往の調査履歴 (H22-246)	(有)			
175	鷺子町	137.49	43.40	No.128	民	住宅	既往の調査履歴 (H30-23)	(無)			
176	衣山四丁目	147.80	24.40	No.20	公	その他開発	調査	無			
177	谷町	195.12	15.40	No.41	民	住宅	試掘	無			
178	北井門二丁目	122.31	24.20	No.121	民	住宅	既往の調査履歴 (H29-173)	(有)			
179	北久米町	183.70	33.70	No.124	民	宅地造成	既往の調査履歴 (H30-119)	(有)			
180	櫛味四丁目	177.04	39.40	No.81	民	その他建物	既往の調査履歴 (H21-209)	(有)			
181	高岡町	2.12	6.40	No.25	公	水道	既往の調査履歴 (H30-141)	(無)			
182	北久米町	154.65	34.30	No.126-1	民	その他建物	周辺の調査履歴 (H29-209)	(有)			
183	南久米町	902.97	35.30	No.126-1	民	宅地造成	既往の調査履歴 (H30-60)	(有)			
184	谷町	156.81	14.20	No.41	民	住宅	周辺の調査履歴 (H30-18)	(無)			
185	小坂四丁目	202.71	26.80	No.110	民	宅地造成	試掘	無			
186	櫛味三丁目	40.80	42.30	No.81	民	その他開発	周辺の調査履歴 (H30-55)	(有)			

松山市埋蔵文化財調査関係資料

平成30年度 松山市埋蔵文化財確認調査一覧

(5)

No.	所在地	面積 (m ²)	標高 (m)	包藏地 番号	申込者	工事の目的	調査方法	遺跡 有・無	包含層 道 槽 名	出土遺物	備考
187	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	廃案
188	来住町	105.40	-39.60 -39.98	No.127	公	水道	周辺の調査履歴 (H21.5-115) (H21.5-115) (H23.30)	(無) (有) (有)	—	—	—
189	久万ノ台	221.07	20.40	No.167	民	住宅	試掘	有	—	—	陶生土器
190	鳩子町	3.00	43.40	No.128	公	水道	周辺の調査履歴 (H20.23)	(無)	—	—	—
191	南江戸一丁目	3,885.56	-14.80 -15.70	包藏地番号	公	土地区画整理	試掘	無	○	陶生土器・瓦器 上田器・大形文瓦 瓦器・青磁	—
192	南江戸四丁目	304.00	11.70	No.35	民	住宅	試掘	有	○	陶生土器・瓦器 上田器・土器 瓦器・青磁	—
193	南久米町	166.74	35.60	No.127	民	住宅	周辺の調査履歴 (H25-192) (H25-196) (H28-10)	(有)	—	—	—
194	南久米町	7.64	38.65	No.126-1	公	水道	周辺の調査履歴 (H20.113)	(無)	—	—	—
195	枝松六丁目	175.75	27.00	No.113	民	住宅	試掘	無	—	—	—
196	太山寺町	492.92	-3.10 -3.30	No.173	民	住宅	試掘	有	○	上田器・土器 瓦器	—
197	南久米町	976.17	35.50	No.126-1	民	住宅	周辺の調査履歴 (H20.48)	(無)	—	—	—
198	朝美二丁目	122.99	15.30	No.34	民	住宅	試掘	無	—	—	—
199	西石井五丁目	127.71	20.60	No.119	民	住宅	試掘	有	○	陶生土器・土器 瓦器	—
200	平井町	129.41	58.00	No.152	民	その他建物	周辺の調査履歴 (H28-260)	(有)	—	—	—
201	平井町	129.42	58.00	No.152	民	その他建物	周辺の調査履歴 (H28-260)	(有)	—	—	—
202	御幸二丁目	165.67	22.00	No.46	民	住宅	試掘	無	—	—	—
203	東野五丁目	599.24	57.10	No.79	民	住宅	試掘	無	—	—	—
204	下難波	91,739.00	-14.40 -59.57	包藏地番号	公	その他開発	試掘	有	○	直轄器・埴輪	—
205	久米屋田町	149.85	45.60	No.129	民	住宅	周辺の調査履歴 (H28-271)	(有)	—	—	—
206	中村二丁目	455.20	26.30	No.108	民	その他建物	試掘	無	○	貴生時代後期の 甕に縁部片 支脚片・銅片	—
207	櫻吹二丁目	190.70	42.80	No.81	民	その他建物	周辺の調査履歴 (H18-180)	(有)	—	—	—
208	小坂五丁目	129.45	24.00	No.111	民	住宅	試掘	有	○	直轄器	—
209	東野五丁目	1,205.00	63.50	No.79	民	宅地造成	試掘	無	—	—	—
210	本町二丁目	301.15	21.00	No.212	民	その他建物	試掘	無	—	—	—
211	柳吹四丁目	7.34	39.40	No.81	公	水道	周辺の調査履歴 (H21-209)	(有)	—	—	—
212	南江戸六丁目	126.26	20.60	No.33	民	住宅	試掘	無	—	—	—
213	北齋院町	135.42	8.35	No.29	公	水道	周辺の調査履歴 (H22.222)	(無)	—	—	—
214	西石井五丁目	112.71	20.60	No.119	民	住宅	周辺の調査履歴 (H20.199)	(有)	—	—	—
215	上野町	333.48	58.00	No.135	公	道路	試掘	無	—	—	—
216	下伊台町	565.90	-145.70 -146.00	No.169	民	その他建物	周辺の調査履歴 (H20.105)	(無)	—	—	—
217	北井門二丁目	4.35	24.20	No.121	公	水道	周辺の調査履歴 (H29-173)	(有)	—	—	—
218	久米屋田町	257.11	47.00	No.129	民	住宅	試掘	無	—	—	—
219	平井町	223.37	56.80	No.152	民	住宅	試掘	無	—	—	—
220	文京町	約4.05	30.30	No.67	民	その他開発	周辺の調査履歴 (愛媛大学 施設)	(有)	—	—	—
221	桑原四丁目	174.33	34.40	No.85	民	住宅	周辺の調査履歴 (H20.91)	(有)	—	—	—
222	枝松三丁目	205.10	32.60	No.83	民	その他建物	試掘	無	○	陶生土器小片	—
223	東方町	169.63	59.40	No.143	民	住宅	試掘	無	—	—	—
224	岩崎町二丁目	1,329.03	37.40	No.224	民	その他建物	試掘	有	○	陶生土器小片	—
225	岩崎町二丁目	1,817.08	37.80	No.224	民	その他建物	試掘	無	—	—	—
226	北井門二丁目	4.35	24.20	No.121	公	水道	周辺の調査履歴 (H29-173)	(有)	—	—	—
227	桑原四丁目	3.43	37.40	No.82	公	水道	周辺の調査履歴 (H20.37)	(無)	—	—	—
228	道後北代	362.21	34.00	No.57	民	住宅	試掘	無	○	周辺の縁部片	—
229	北久米町	154.68	34.30	No.126-1	民	住宅	周辺の調査履歴 (H29-209)	(有)	—	—	—
230	北齋院町	485.43	5.60	No.29	民	宅地造成	試掘	有	—	—	—
231	清水町二丁目	59.32	23.40	No.67	民	その他開発	試掘	無	—	—	—
232	北久米町	185.63	33.70	No.124	民	住宅	周辺の調査履歴 (H20.119)	(有)	—	—	—
233	久万ノ台	0.48	12.94	No.167	民	その他開発	周辺の調査履歴 (H21-305)	(無)	—	—	—
234	小坂四丁目	284.31	26.00	No.110	民	住宅	試掘	無	—	—	—
235	北久米町	7.40	33.70	No.124	公	水道	周辺の調査履歴 (H20.119)	(有)	—	—	—
236	久米屋田町	415.97	45.60	No.129	民	その他建物	周辺の調査履歴 (H28-271)	(有)	—	—	—

松山市埋蔵文化財調査関係資料

平成30年度 松山市埋蔵文化財確認調査一覧

(6)

No.	所在地	面積 (m ²)	標高 (m)	包藏地 番号	申込者	工事の目的	調査方法	遺跡 有・無	包含蓄 道模様名	出土遺物	備考
237	南久米町	225.25	37.10	No 126-1	民	宅地造成	試掘	有 柱穴・土坑	○ 再生土器・土師器		
238	小坂四丁目	7.92	25.90 ~ 26.00	No 110	公	水道	直往の調査履歴 (H30-107)	(無)			
239	持田町一丁目	664.62	35.80	No 224	民	その他建物	直往の調査履歴 (H30-123)	(無)			
240	東石井五丁目	197.21	21.60	No 119	民	住宅	試掘	無	○	土器碎片	
241	北久米町	618.13	31.30	No 124	民	その他建物	試掘	有 溝			
242	来住町	204.10	37.70	No 128	民	その他の建物	直往の調査履歴 (H28-251)	(有)			
243	東方町	282.89	61.60	No 143	民	住宅	試掘	無			
244	祝谷四丁目	385.64	48.40	No 55	民	住宅	試掘	有 周溝・柱穴	○ 再生土器・土師器 組合器・土師器		
245	西石井六丁目	534.63	21.50	No 119	民	住宅	試掘	無			
246	下伊台町	276.54	166.60	No 223	民	住宅	試掘	無			
247	久米塙田町	127.30	45.60	No 129	民	住宅	直往の調査履歴 (H28-271)	(有)			
248	南久米町	148.88	35.30	No 126-1	民	住宅	直往の調査履歴 (H30-46)	(有)			
249	桑原六丁目	2.90	34.70	No 82	公	水道	直往の調査履歴 (H29-140)	(無)			
250	長師	3,172.51	3.40	滋賀県外	公	その他建物	露査	無			
251	南久米町	23.50	35.30	No 126-1	公	水道	直往の調査履歴 (H30-46)	(有)			
252	道後湯之町	4.00	43.60	滋賀県外	公	その他開発	文化財課対応				
253	西石井六丁目	341.16	21.30	No 119	民	住宅	試掘	無			
254	文京町	約201.83	28.50	No 67	民	その他開発	直往の調査履歴 (愛媛大学 施内)	—			
255	久米塙田町	1,178.40	45.60	No 129	民	その他の建物	試掘	無	○ 坪身付・削印付		
256	北久米町	848.13	31.20 ~ 31.50	No 126-1	民	その他の建物	試掘	無			
257	東方町	292.23	58.90	No 143	民	住宅	試掘	有 溝	○ 再生土器 側面部・底面部 組合器		
258	朝美一丁目	417.82	14.50	No 34	民	その他の建物	直往の調査履歴 (H29-219)	(無)			
259	桑原六丁目	1,306.43	34.70	No 82	民	その他の建物	直往の調査履歴 (H29-140)	(無)			
260	片山	1,510.00	~ 10.80	北条	公	その他の建物	試掘	無	○ 再生土器 側面部・底面部 組合器		
261	安岡	332.00	15.40	滋賀県外	公	その他の建物	試掘	無			
262	久米塙田町	136.11	45.60	No 129	民	住宅	直往の調査履歴 (H28-271)	(有)			
263	南久米町	714.00	33.10	No 126-1	民	宅地造成	試掘	無	○ 再生土器底面部 組合器		
264	南久米町	902.97	35.30	No 126-1	民	宅地造成	直往の調査履歴 (H30-46)	(有)			
265	南江戸一丁目	972.66	14.19	No 37	民	その他の建物	試掘	無			
266	朝美一丁目	202.52	15.00	No 34	民	住宅	試掘	無			
267	鶴江町	1,112.59	1.60	滋賀県外	公	公園造成	試掘	無			
268	西長戸町	2,182.61	13.70	No 17	公	公園造成	試掘	有 柱穴	○ 瓦器小片		
269	和泉北三丁目	1,249.00	14.70	滋賀県外	公	公園造成	試掘	無			
270	北斎院町	149.75	9.10	No 156	民	住宅	直往の調査履歴 (H29-213)	(無)			
271	北斎院町	145.94	9.10	No 156	民	住宅	直往の調査履歴 (H29-213)	(無)			
272	北斎院町	135.72	9.10	No 156	民	住宅	直往の調査履歴 (H29-213)	(無)			
273	北斎院町	127.85	9.10	No 156	民	住宅	直往の調査履歴 (H29-213)	(無)			
274	来住町	145.83	35.10 ~ 35.70	No 127	公	水道	直往の調査履歴 (H28-206) (H27-153)	(有)			
275	南久米町	195.06	36.70	No 126-1	民	住宅	試掘	無			
276	北斎院町	1,752.28	~ 7.40	No 29	民	土地造成	直往の調査履歴 (H30-9)	(無)			
277	東坦生町	5,937.91	3.80	滋賀県外	公	その他の建物	試掘	有			
278	南江戸五丁目	199.00	17.30	No 33	民	宅地造成	試掘	無			
279	北久米町	102.00	34.10	No 126-2	民	住宅	試掘	有 溝	○ 埴輪片		
280	森松町	279.20	34.50	No 134	民	その他の建物	試掘	無			

表4 平成30年度 松山市埋蔵文化財本格調査一覧

番号	道路名	所在地	時代	主な遺構・遺物等	本格対象面積(m ²)	屋外調査期間	調査目的
6.4.4	持田本町通路2次調査	松山市持田三丁目256番、254番の里道(私下 中地番256番2)の各一部	発生～近世	土坑、溝、柱穴、性格不明遺構 焼文土器、弦生土器、土陶器、須恵器、陶磁器、石製品、瓦片、瓶底	約441	H30.3.1～H30.5.11	緊急
6.4.5	北久木通路10次調査	松山市北久木町469番1及び469番3の各一部	古墳～中世	土坑、溝、柱穴 弦生土器、土陶器、須恵器	約125	H30.4.16～H30.4.27	緊急
6.4.6	久米高畠通路75次調査	松山市米住町912番3及び912番5の各一部	発生～中世	柱立住跡物、堅穴建物、土坑、柱穴、小穴 焼文土器、ミニチュア土器、石器、石製品	約165	H30.4.16～H30.5.31	緊急
6.4.7	新S通路	松山市福音寺町424番5、424番2の一部、423 番6の一部、423番7の一部	古墳	柱立住跡物、土坑、柱穴 須恵器、土陶器、石器	151.17	H30.7.2～H30.7.31	緊急 (直撃)
別所通路4次調査(1区)		松山市河野町115番、116番、126番	中世	木構、土坑、柱穴 弦生土器、土陶器、須恵器、陶磁器、木製品	300.00	H30.7.2～H30.8.31	緊急
別所通路4次調査(2区)		松山市堀之内10、12、無番地の各一部(史跡内)	近世～近代	石組、土坑、柱穴、瓦面 陶磁器、土陶器、瓦、瓦製品	660.00	H30.9.3～H30.11.30	緊急
6.4.9	松山城三之丸跡21次調査	松山市堀之内10、12、無番地の各一部(史跡内)	近世～近代	石組、土坑、瓦面 陶磁器、土陶器、瓦、瓦製品	約60	H30.9.3～H30.11.2	史料 監督 (直撃)
6.5.0	經石山古墳4次調査	松山市桑原四丁目408番	古墳	周溝、柱穴 土陶器、須恵器	約10	H30.11.26～H30.12.7	緊急 (直撃)
6.5.1	平井通路11次調査	松山市平井町甲2299番1、甲2300番、甲2301 番1の各一部	古墳～中世	堅穴建物、溝、自然基盤、土坑、柱穴 弦生土器、土陶器、須恵器、陶磁器、石器	346.43	H.31.1.7～H31.2.28	緊急



図1 平成30年度 松山市埋蔵文化財本格調査位置図

III 平成 30 年度
出土物整理・保存処理事業

平成 30 年度 出土物整理・保存処理事業

1. 出土物整理

当センターでは、近年実施された発掘調査の整理作業と並行して、過去の調査に関する資料の再整理を行っている。

報告書作成に向けて作業を進めている発掘調査の出土品については、必要に応じて注記・接合・復元作業を拡充した上で、実測作業と写真撮影を行っている。報告書が刊行された遺跡の出土品については、掲載順に配列したうえで当センター収蔵庫と別棟の松山市文化財情報館のいずれかに収納するほか、胸部の小片等については市内北吉田町の収蔵庫にて保管している。また、重要遺物については、温湿度管理がなされ、自動消火システムが設置されているセンターの特別収蔵庫にて厳重に保管している。いずれの収蔵場所においても収蔵台帳を作成し、資料調査の依頼等に迅速に対応できる体制をとっている。なお、遺構・遺物の実測図・作業日誌・写真のネガ・ポジフィルム等は、センターの所定の場所に保管しつつ、必要に応じて再整理を実施することによって、適切な管理を実施している。

(1) 遺物洗浄・注記・接合・復元作業

石膏による土器の復元作業は、報告書掲載写真の撮影と展示目的に加え、遺物の補強のために行う場合もある。近年は、過去に復元済みの遺物について、経年劣化による破損箇所の修復を行うこともある。

表 1 遺物接合・復元作業一覧

(1)

遺跡No.	遺 跡	点数	天箱数	調査年度	刊 行 物	備 考
644	持田本村遺跡 2 次調査	1	1	平成 30 年	松山市埋蔵文化財調査年報 31	
624	祝谷大地ヶ田 8 次調査	6		平成 29 年	松山市埋蔵文化財調査年報 30	国庫補助
583	余戸中ノ孝遺跡 1 次調査	1		平成 26 年	松山市文化財調査報告書第 196 集	
606	余戸中ノ孝遺跡 5 次調査	9		平成 27 年	松山市文化財調査報告書第 196 集	
643	鶴塚古墳	1	2	平成 29 年	松山市埋蔵文化財調査年報 30	
596	南江戸上沖遺跡 1 次調査	3		平成 27 年	松山市埋蔵文化財調査年報 28	
625	斎院烏山遺跡 3 次調査	2		平成 28 年	松山市文化財調査報告書第 195 集	国庫補助
604	南吉田南代遺跡 1 次調査	3		平成 27 年	松山市文化財調査報告書第 196 集	
519	道後北代遺跡	1		平成 20 年	松山市文化財調査報告書第 169 集	
591	恵原新張遺跡 1 次調査	1		平成 27 年	松山市文化財調査報告書第 194 集	
607	南江戸上沖遺跡 2 次調査	1		平成 28 年	松山市埋蔵文化財調査年報 29	
612	東恒生八反地遺跡 1 次調査	3		平成 28 年	松山市文化財調査報告書第 196 集	
531	松山城三之丸跡 13 次調査	3		平成 21 年	松山市文化財調査報告書第 197 集	国庫補助
649	松山城三之丸跡 21 次調査	1		平成 30 年	松山市埋蔵文化財調査年報 31	国庫補助

出土物整理

遺物接合・復元作業一覧						(2)
遺跡 No.	遺 跡	点数	天箱数	調査年度	刊 行 物	備 考
640	別府遺跡3次調査		25	平成29年	松山市埋蔵文化財調査年報30	
648	別府遺跡4次調査		8	平成30年	松山市埋蔵文化財調査年報31	
370	船ヶ谷遺跡4次調査	2		平成12年	松山市文化財調査報告書第88集・95集	
105	大瀬遺跡	1		昭和62年	松山市文化財調査報告書第77集	

(2) 遺物実測・整理・収藏・図面整理作業

出土品は報告書刊行計画にしたがって分類し、必要なものについて実測図の作成やトレース作業を行っている。近年はデジタルトレースに完全に移行している。遺構測量図等に関しても同様である。

以下、作業を実施した遺跡について概要を記す。

表2 遺物実測・整理・収藏・図面整理作業一覧

遺跡 No.	遺 跡	報告書名	備 考
531	松山城三之丸跡13次調査	「松山城三之丸跡13次調査・15次調査」	平成30年度刊行 (国庫補助)
543	松山城三之丸跡15次調査		
346	朝美辻遺跡3次調査	「朝美辻遺跡3次調査・斎院烏山遺跡3次調査」	平成30年度刊行 (国庫補助)
625	斎院烏山遺跡3次調査		
596	南江戸上沖遺跡1次調査	「南江戸上沖遺跡1次・2次調査」	令和2年度刊行予定
607	南江戸上沖遺跡2次調査		
591	恵原新張遺跡1次調査	「恵原新張遺跡1・2・3次調査」	平成30年度刊行
594	恵原新張遺跡2次調査		
614	恵原新張遺跡3次調査		
583	余戸中ノ孝遺跡1次調査	「松山外環状線開通遺跡調査報告書」	平成30年度刊行
584	余戸中ノ孝遺跡2次調査		
605	余戸中ノ孝遺跡4次調査		
606	余戸中ノ孝遺跡5次調査		
585	余戸柳井田遺跡1次調査		
598	余戸柳井田遺跡2次調査		
600	余戸柳井田遺跡3次調査		
619	余戸柳井田遺跡6次調査		
612	東垣生八反地遺跡1次調査		
617	東垣生八反地遺跡3次調査		
623	東垣生八反地遺跡4次調査		
604	南吉田南代遺跡1次調査		
403	久米高畠遺跡55次調査	「久米高畠遺跡55次・56次調査」(仮)	令和元年度刊行予定
406	久米高畠遺跡56次調査		

(3) 遺物写真撮影・現像・整理作業

平成 30 年度に報告書を刊行した遺跡について、掲載遺物の写真撮影、黑白フィルムの現像と焼き付け、組版を行った。また、過去の調査のネガの整理、台帳作成のほか、リバーサルフィルムの再収納を実施することによって収納スペースの確保に努めた。なお、これらの作業のうち、過去に国からの補助を受けて発掘調査を行った遺跡の際には、国庫補助を受けて実施したものもある。

遺跡と遺物の写真撮影に関しては、文化庁の基準に従って、原則としてフィルムカメラによることとしているが、教育普及活動の記録写真や試掘調査の工程写真等について、近年は DX フォーマット機ないしコンパクトカメラを用いたデジタル撮影を行っている。平成 25 年度以降、遺跡における遺構の撮影に際しても FX フォーマット機 1 台を導入し、大判・中判のフィルムカメラを補う試みも始めている。なお、所蔵写真の提供依頼に対しては、当財団が松山市から受諾している指定管理業務の一環として対応している。そのほとんどについてデータ化するなどして要望に応じた対応を行っている。

平成 30 年度に写真関係の作業を実施した遺跡や遺物は、以下の刊行物に掲載している。

表 3 遺物写真・現像・整理作業一覧

報告書 No.	報告書	所収遺跡数	備考
—	松山市埋蔵文化財調査年報 30	8	令和元年度刊行
195	「朝美辻遺跡 3 次調査・斎院烏山遺跡 3 次調査」	2	平成 30 年度刊行（国庫補助）
196	「余戸中ノ孝遺跡 1 次調査・ 余戸中ノ孝遺跡 2 次調査・ 余戸中ノ孝遺跡 4 次調査・ 余戸中ノ孝遺跡 5 次調査・ 余戸柳井田遺跡 1 次調査・ 余戸柳井田遺跡 2 次調査・ 余戸柳井田遺跡 3 次調査・ 余戸柳井田遺跡 6 次調査・ 東垣生八反地道路 1 次調査・ 東垣生八反地道路 3 次調査・ 東垣生八反地道路 4 次調査・ 南吉田南代遺跡 1 次調査」	12	平成 30 年度刊行
197	「松山城三之丸跡 13 次調査・ 松山城三之丸跡 15 次調査」	2	平成 30 年度刊行（国庫補助）

2. 出土物整理・寄贈品遺物

(1) はじめに

平成 30 年度に、松山市民から所蔵品の寄贈を受けた。資料には弥生時代並びに古墳時代の土器・鉄製品があり、松山における原史・古代史を考察するうえで有効なものと判断されることから、当該資料の報告を行うものである。

(2) 寄贈資料の概要

寄贈者からの聞き取り、遺物の注記、文献資料を確認した内容を一覧表に示す。

注記： 徳利山古墳（鉄錆 5 点、刀子 1 点）、舟ヶ谷とっくり山古墳（須恵器 6 点）、北山小（須恵器 4 点）、注記なし（須恵器 4 点、土師器 1 点、弥生土器 3 点）である。須恵器と土師器を資料 1（徳利山古墳）として掲載する。

資料 1 「徳利山古墳」 愛媛県史資料編考古・「古代学研究第 75 号」

所 在 地：松山市北山町

調 査 年：昭和 42（1967）年

墳 形・規 模：円墳・径 17 m、高さ 2m

内部施設・規模：横穴石室・現存長 2.5 m、幅 1.67 ~ 1.73 m、高さ 0.65 m

出 土 遺 物：須恵器坏身・坏蓋、土師器坏、管玉、ガラス小玉、刀子、鉄錆

表 1 注記内容一覧

番号	器種	注記	備考
1	坏蓋	徳利山古墳	
2	坏身	注記なし徳利山古墳	
3	坏蓋	船ヶ谷徳利山古墳	
4	坏身	A 松山市舟ヶ谷とっくり山古墳	
5	坏蓋	A 松山市舟ヶ谷とっくり山古墳	
6	坏身	舟ヶ谷とっくり山古墳	
7	堤瓶	徳利山古墳	
8	坏	注記なし徳利山古墳	
9	刀子	徳利山古墳	
10~14	鉄錆	徳利山古墳	
15	坏蓋	北山小 北山-1-6	
16	坏蓋	北山-1-5	
17	坏身	北山小 6	
18	短頸壺	NO.1 北山-1-1	
19	坏蓋	不明・注記なし	
20	脚付き壺	不明・注記なし	
21	神酒徳利	不明・2-3	
22	壺	不明・注記なし	
23	壺	不明	「伊予の弥生展図録」P22・93（愛媛県立美術館） 昭和 48 年 2 月 1 日発行
24	無頸壺	不明	「伊予の弥生展図録」P14・57（愛媛県立美術館） 昭和 48 年 2 月 1 日発行

出土物整理

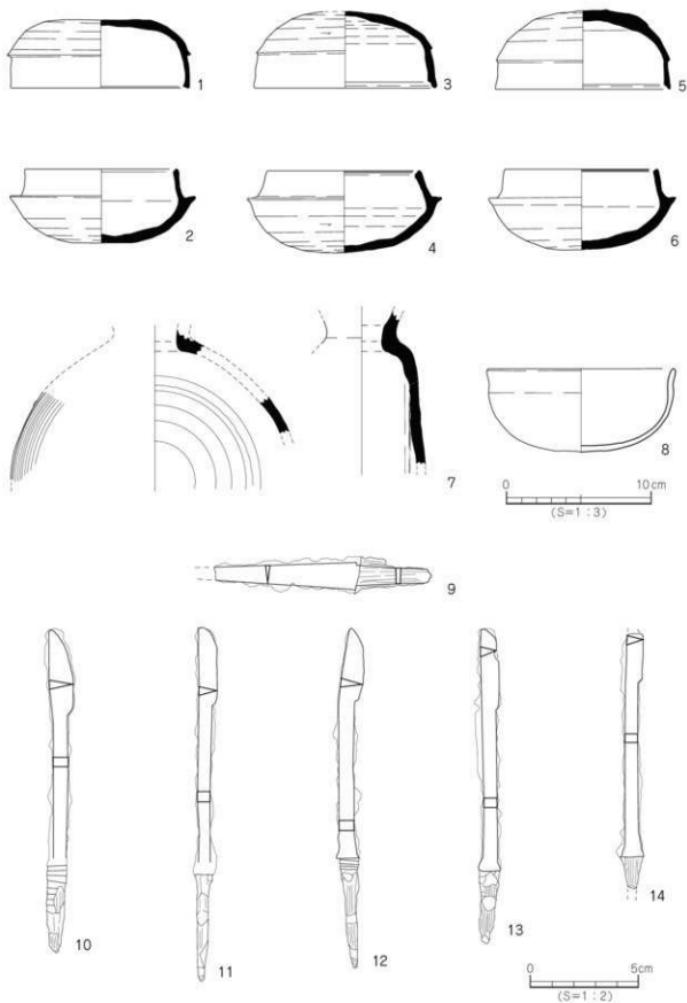


図1 寄贈品① 德利山古墳出土須恵器・土師器・鉄製品実測図

寄贈品

遺物一覧　一　凡例　一

(1) 以下の表は、出土遺物の計測値及び観察一覧である。

(2) 出土遺物観察表の各掲載について

法量欄 () : 推定復元値

調整欄 土製品の各部名称を略記した。

例 ①→口縁部、②→底部、③→天井部、④→頭部、⑤→体部、⑥→底部上位、⑦→底部下位

⑧→天井部上位、⑨→天井部下位、⑩→体部上位、⑪→体部中位

胎土・焼成欄

胎土欄では追加削記を略記した。

例) 石→石英、長→長石、密→精製土。

() の中の数値は混和剤粒子の大きさを示す。

例) 石・長 (1~3) → 「1mm~3mm 大の石英・長石を含む」である。

焼成欄の略記について。

○→良好 ○→良

表2 寄贈品① 徳利山古墳出土遺物観察表(土製品)

番号	種類 器種	法量 (cm)	形態・施文	調 整		色調 (外側) (内側)	胎土 焼成	備考	写真
				外 面	内 面				
1	須恵器 环蓋	口径 123 器高 47	口縁部は直垂に接し口縁面は内傾し凹む。天井部内面中央に同心円の凹て具鉢。	①回転へタケズリ ②回転ナデ	回転ナデ	灰白色 灰白色	密 ○		1
2	須恵器 环身	口径 105 器高 51	口縁部は垂直気味に立ち上がり、口縁面は内傾し僅かに凹む。	①②回転ナデ ③回転へタケズリ	①回転ナデ ②回転ナデ	灰白色 灰白色	密 ○		1
3	須恵器 环蓋	口径 125 器高 53	丸い天井部、口縁部は垂直気味に接し地、口縁端面は内傾し僅かに凹む。	①回転へタケズリ ②回転ナデ	回転ナデ ①ナデ	灰白色 灰白色	密 ○		1
4	須恵器 环身	口径 104 器高 57	丸い天井部に口縁部は垂直に接し、口縁端面は内傾し僅かに凹む。	①②回転ナデ ③回転へタケズリ	①回転ナデ ②ナデか?	灰白色 灰白色	白色較含む 密 ○やや軟質		1
5	須恵器 环蓋	口径 (120) 器高 55	丸い底部に厚い水平伸びる受け部。口縁部は僅かに内傾し、口縁端面は内傾し僅かに凹む。	①回転へタケズリ ②回転ナデ	回転ナデ ③回転ナデ	灰白色 灰白色	密 ○		1
6	須恵器 环身	口径 105 器高 56	扁平な天井部は焼け歪んでいる。口縁部は僅かに内傾し、口縁端面は外側に剥みを施す。	①②回転ナデ ③回転へタケズリ	①回転ナデ ②回転ナデ	灰白色 灰白色	密 ○		1
7	須恵器 提瓶	直徑 50 幅径 (200) 残高 105	体部を圓錐状の粘土でふさいだ痕跡があり。肩部に把手の貼り付け痕が一部残る。	①ナデ ②ナデ ③ナデ	③回転ナデ ④ナデ	灰色 灰色	密 ○		1
8	土器器 环	口径 128 器高 58	よりくわに底直立する口縁部はナデに凹む。口縁端面は丸い。	①ヨコナデ ②不明	①ヨコナデ ②ヨコナデ	橙色 橙色	石 (1)長 (1~2) ○		1

表3 寄贈品① 徳利山古墳出土遺物観察表(金属製品)

番号	器種	残存	材質	法 量			備 考	写 真
				長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)		
9	刀子	先端欠	鉄	(10.0)	刃長(6.5)	0.2	9.617	本質が残る。
10	鏡	完形	鉄	14.9	刃長(4.0)	0.5	15.653	片刃片闊。
11	鏡	完形	鉄	16.3	刃長(3.5)	0.5	13.618	螺旋状に纏綿状のものを巻き付ける。 片刃片闊。
12	鏡	完形	鉄	15.5	刃長(3.4)	0.5	13.988	台形闊、螺旋状に纏綿状のものを巻き付ける。 片刃片闊。
13	鏡	完形	鉄	14.6	刃長(3.7)	0.5	15.727	台形闊、片刃片闊。
14	鏡	先端欠	鉄	11.7	刃長(2.2)	0.4	11.927	台形闊、片刃片闊。

出土物整理

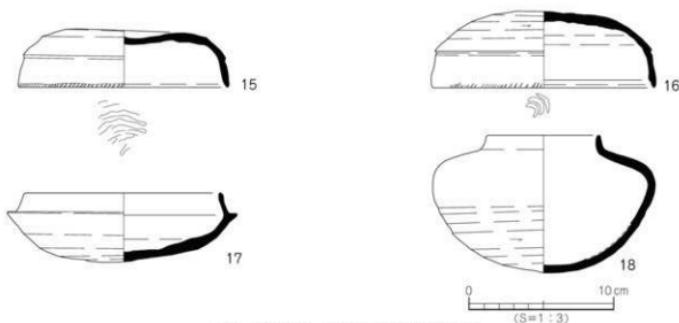


図2 寄贈品② 北山小出土須恵器実測図

表4 寄贈品② 北山小出土遺物観察表（土製品）

番号	種類 器種	法量 (cm)	形態・施文	調査		色調 (外面) (内面)	施土 焼成	備考	写真
				外 面	内 面				
15	須恵器 环蓋	口径 14.4 器高 4.0	天井部中央に同心円のあて具痕。口縁部に刻み目痕。	○回転ヘラケズリ ○回転ナデ ○回転ナデ	○回転ナデ ○ナデ	灰色 灰色	長(1~2) 密 ○		2
16	須恵器 环蓋	口径 15.2 器高 5.3	天井部内面中央に同心円のあて具痕。口縁部に刻み目痕。	○回転ヘラケズリ ○回転ナデ ○回転ナデ	○回転ナデ ○ナデ	灰白色 灰色	白色粒 密 ○		2
17	須恵器 环身	口径 13.4 器高 4.8	受け部は厚く水平に伸びたちあがり はわすかに内側する。口縁端部は尖り気味に丸い。	○回転ナデ ○回転ヘラケズリ	回転ナデ	灰色 灰色	長(1) 密 ○		2
18	須恵器 短頭壺	口径 7.8 器高 9.5	丸い底部に肩の張る体部。口縁部は 短く直に伸び端部は尖り気味に丸い。 一部自然釉の付着がある。	○回転ナデ ○回転ヘラケズリ ○回転ナデ	○回転ナデ ○ナデ	灰色 灰色	密 ○		2

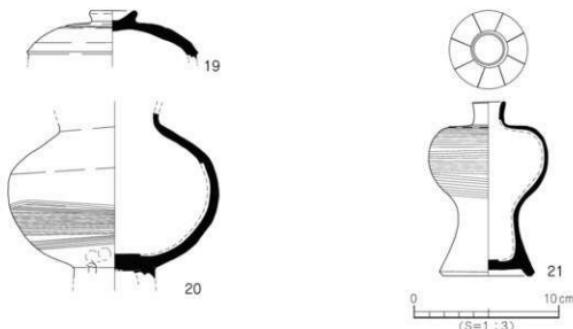


図3 寄贈品③ 出土地点不明須恵器実測図

寄贈品

表5 寄贈品③ 出土地点不明須恵器観察表（土製品）

番号	種類 器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	写真
				外 面	内 面				
19	須恵器 环茎	横幅 30 残高 33	横部中央部が凹む。	◎回転ナデ ◎回転ヘラケズリ	◎回転ナデ	灰黄色 灰白色	密 ○		
20	須恵器 附き底	残高 114	腹部中央に最大径をもつ。脚部は長方形状の透かしが一部残る。	◎回転ナデ ◎カキ目 ◎回転ナデ	◎回転ナデ ◎ナデ	褐灰色 灰色	石・長(1) 密 ○		
21	須恵器 脚附付	口径 23 底径 61 器高 120	肩部に8個の面を持つ放射状の線刷。	◎回転ナデ ◎カキ目 ◎回転ナデ	◎袖付着	灰白色 灰白色	密 ○		

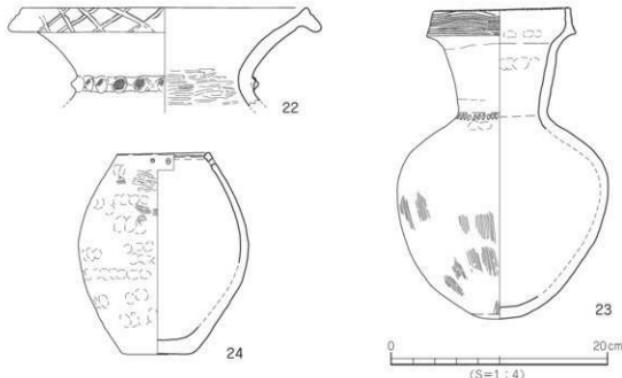


図4 寄贈品④ 出土地点不明弥生土器実測図

表6 寄贈品④ 出土地点不明弥生土器観察表（土製品）

番号	種類 器種	法量 (cm)	形態・施文	調整		色調 (外面) (内面)	胎土 焼成	備考	写真
				外 面	内 面				
22	弥生土器 壺	口径 (26.0) 残高 90	口縁部下面にヘラによる斜格子文。 腹部に押圧による剥み目を持つ凸帯 文を貼り付ける。	ヨコナデ	ヨコナデ	橙色 橙色	石・長(1) ○		3
23	弥生土器 壺	口径 126 底径 50 器高 28.5	口縁部張張部に機工工具による凹線 文。口縁端部に剥み目。	ヨコナデ ナデ・ハケ	ヨコナデ ナデ	にぶい黄橙色 にぶい黄橙色	石・長(1~3) ○		3
24	弥生土器 無頭壺	口径 8.5 底径 6.5 器高 18.6	口縁部内面に細かい刺突文が廻る。 2箇一組の穿孔が2カ所に残る。	ハケ(8~9/cm) 指頭痕	ナデ	にぶい黄橙色 にぶい黄橙色	長(1~3) ○	黒墨	3

出土物整理

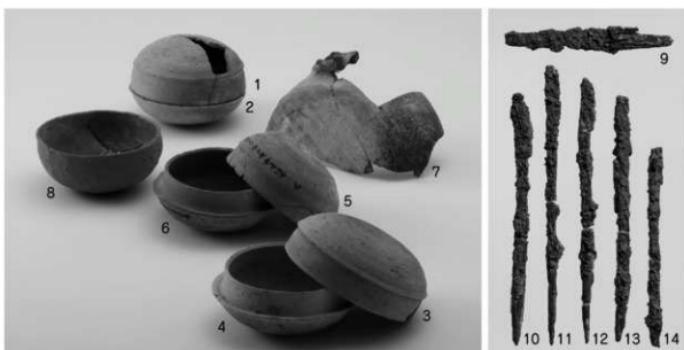


写真1 寄贈品① 徳利山古墳出土須恵器・土師器・鉄製品



写真2 寄贈品② 北山小出土須恵器



写真3 寄贈品③ 出土地点不明須恵器

分銅形土製品

3. 出土物整理・分銅形土製品

調査の概要

当センターでは、借用や資料調査等特別利用の多い出土品を年次毎に整理し、迅速に対応できるよう特別収蔵庫で保管している。今年度は分銅形土製品を対象とし、平成14年度に作成した73点の台帳に統けて整理作業を行った。

ここに報告する資料は、平成14年度以降に刊行された報告書掲載分とともに、未報告資料も含む。なお、過去の報告でデジタル化されていないものについては、デジタルトレースを行い資料の保存を行った。

表1 分銅形土製品一覧

番号	道 路 名	出 土 地	形 状	残 存	塗 彩	重 さ (g)	時 期	文 献
74	西石井道路1次調査	4区延岡層	方形	1/4	—	13.29	弥生時代	第112集 第227回-2227
75	西石井道路2次調査	2区延岡層(表面)	円形	1/6	—	10.69	弥生時代	第112集 未記載
76	西石井道路2次調査	SD402	方形	1/3	—	28.53	弥生時代	第112集 第284回-288
77	西石井道路2次調査	SK408	方形	1/2	—	35.68	弥生時代中期後半	第112集 第280回-300
28	西石井道路2次調査	SK408	圓丸方形容	1/3	—	83.15	弥生時代中期後半	第112集 第280回-301
79	西石井道路2次調査	SK408	圓丸方形容	1/3	—	97.79	弥生時代中期後半	第112集 第280回-302
80	西石井道路2次調査	SK200	圓丸方形容	1/2	—	35.68	弥生時代	第112集 第218回-695
81	西石井道路2次調査	南1丁層	方形	1/6	—	87.96	弥生時代	第112集 第322回-753
82	松山大学構内道路6次調査	ST1(上層)	円形	1/2	—	18.97	弥生時代中期	第115集 第25回-99
83	松山大学構内道路6次調査	第5層	円形	1/2	? (分析未)	18.15	弥生時代中期	第115集 第151回-533
84	松山大学構内道路6次調査	第5層	方形	1/4	—	43.44	弥生時代中期～後期	第115集 第165回-641
85	櫛味高木道路8次調査	円形	1/4	—	18.61	弥生時代	第117集 第199回-1127	
86	櫛味高木道路12次調査	SH1 (近SH2)	円形	1/2	分析未	5.62	弥生時代	第130集 第9回-28
87	櫛味高木道路12次調査	SK18	圓丸方形容	1/4	—	16.68	弥生時代	第130集 第12回-54
88	櫛味四反地道路13次調査	SD2 1区下層	方形	1/4	—	33.59	弥生末～古墳前期前半	第130集 第54回-277
89	櫛味高木道路13次調査	SH3	方形	1/2	—	33.47	弥生時代	第131集 第26回-27
90	久米高烟道路1次調査	SH1	円形	1/10	—	8.62	弥生時代中期後半	第136集 第39回-23
91	柳味四反地道路17次調査	延岡層	円形	1/10	分析未	30.83	弥生時代	第139集 第42回-139・西面・舞踏顕斜
92	文政遭跡1次調査	PD4	円形	1/4	—	11.28	弥生時代	未報告
93	来住町道路9次調査	強含層第5層	方形	1/3	—	51.26	弥生時代	第176集 第117回-110
94	御原道路2次調査	第5層	円形	1/4	—	16.17	弥生時代	第189集 第42回-207
95	御原道路2次調査	第5層	圓丸方形容	1/4	—	12.47	弥生時代	第189集 第49回-278
96	御原道路2次調査	地点不明	円形	1/4	—	24.66	弥生時代	第189集 第51回-297
97	御原道路2次調査	地点不明	円形(×4枚)	1/2	—	54.71	弥生時代	第189集 第51回-289
98	御原道路2次調査	地点不明	円形	1/4	—	26.04	弥生時代	第189集 第51回-299
99	御原道路2次調査	地点不明	円形	1/6	—	4.56	弥生時代	第189集 第51回-300

【掲載文献】

- 「東石井道路・西石井道路 - 1・2・3次調査地 -」「西石井道路1次調査・2次調査」 松山市文化財調査報告書第112集 「松山大学構内道路 IV」「松山大学構内道路6次調査」 松山市文化財調査報告書第115集
- 「市道味味溝辺線道路改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書」「櫛味高木道路8次調査」 松山市文化財調査報告書第117集 「櫛味四反地道路 - 12次・13次調査-」「櫛味四反地道路12次調査・13次調査」 松山市文化財調査報告書第130集 「櫛味高木道路 - 12次・13次調査-」「櫛味高木道路13次調査」 松山市文化財調査報告書第131集
- 「久米高烟道路1・7次調査」「久米高烟道路1次調査」 松山市文化財調査報告書第136集
- 「櫛味四反地道路 - 17次・18次調査-」「櫛味四反地道路17次調査」 松山市文化財調査報告書第139集
- 「来住町道路5・7・9次調査」「来住町道路9次調査」 松山市文化財調査報告書第176集
- 「姫原遺跡2次調査」 松山市文化財調査報告書第189集

出土物整理

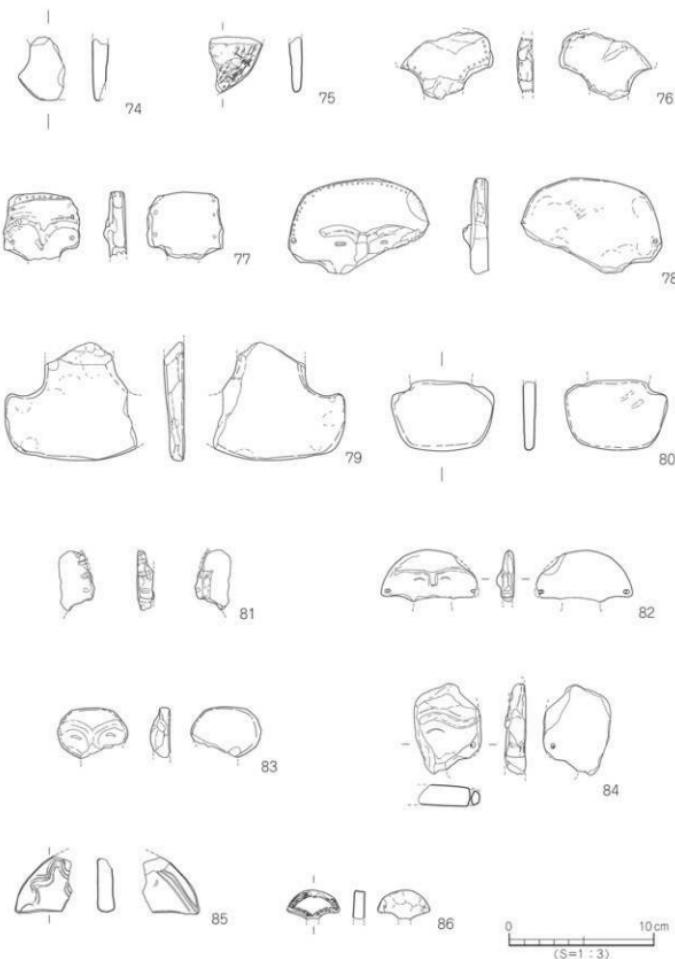


図1 分銅形土製品実測図(1)

分銅形土製品

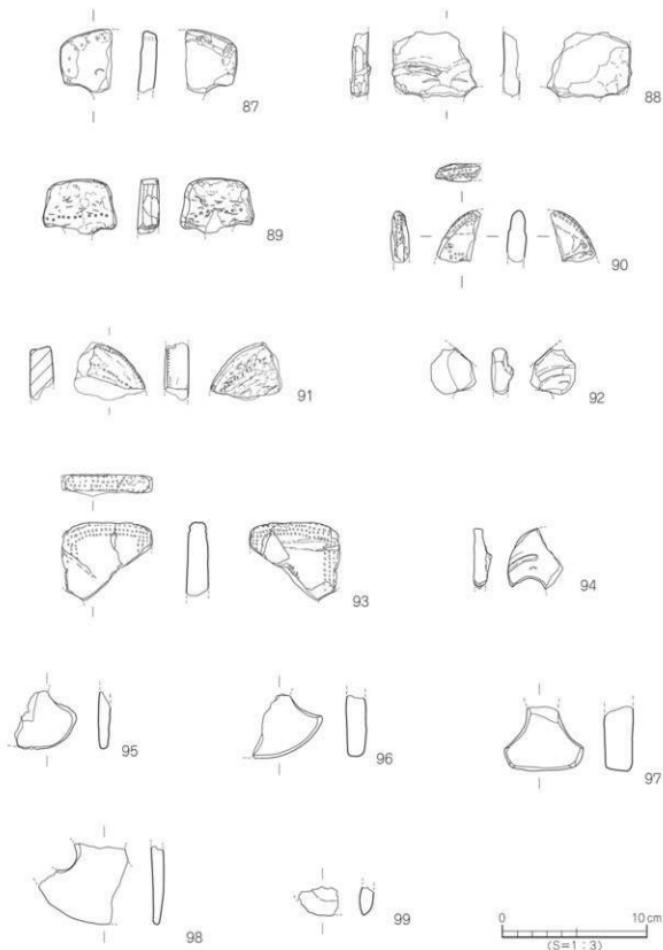


図2 分銅形土製品実測図(2)

4. 出土物整理・桑原西稻葉遺跡 2 次調査出土石器

経緯 今回報告する桑原西稻葉遺跡 2 次調査から出土した三稜尖頭器 1 点は、これまで、松山市文化財調査報告書第 26 集や日本旧石器学会のデータベースの中で旧石器の遺物として報告されていたものである。

平成 30 年に市内の旧石器時代の遺物について資料調査を行った際に未実測であったため、今回、遺物の実測と写真撮影を行い報告を行う。

遺跡の概要 西稻葉遺跡 2 次調査は、石手川左岸に位置し弥生時代後期の土坑 1 基を検出している。

出土状況 A T 火山灰とされる VI 層上面での検出である。この AT 火山灰は石手川の作用で 2 次堆積したものと考えられており、その堆積年代については不明である。

遺物 三稜尖頭器である。横長剥片を素材とし、左右両側縁及び、稜上からの調整剝離によって整形を行っている。裏面に主要剝離面を大きく残し、右側面には、調整剝離に先行する剝離面（素材剥片剝離時の同時割の可能性あり）が残されている。素材剥片時、既に右側面は、目的とした形状が得られたため、調整剝離があまり行われなかつたものと思われる。左側面は、平面形状が柳葉形になるよう、裏面からの連続的な調整剝離で形が整えられており、特に先端部の調整が顕著である。先端部の欠損は衝撃剝離によるものと思われる。稜上調整は、軸を整えるというより、むしろ厚さを調整するために行われているが顕著ではない。石材は安山岩である。

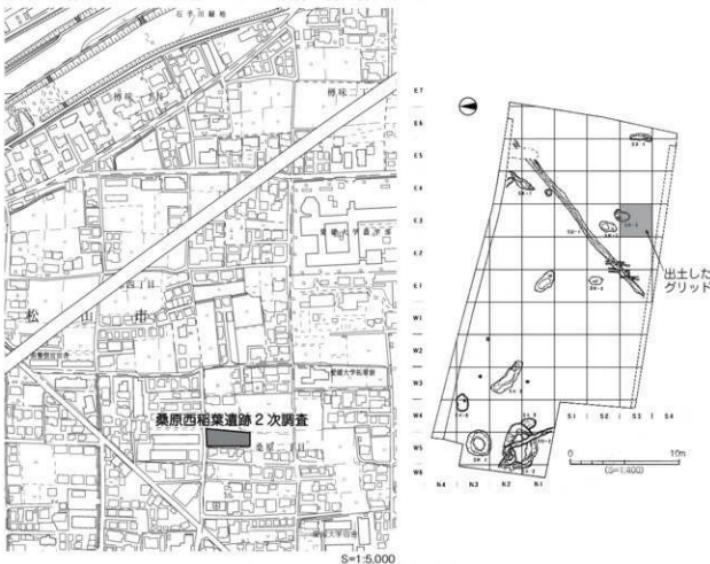


図 1 調査位置図及びグリッド図

桑原西稻葉遺跡2次調査出土石器

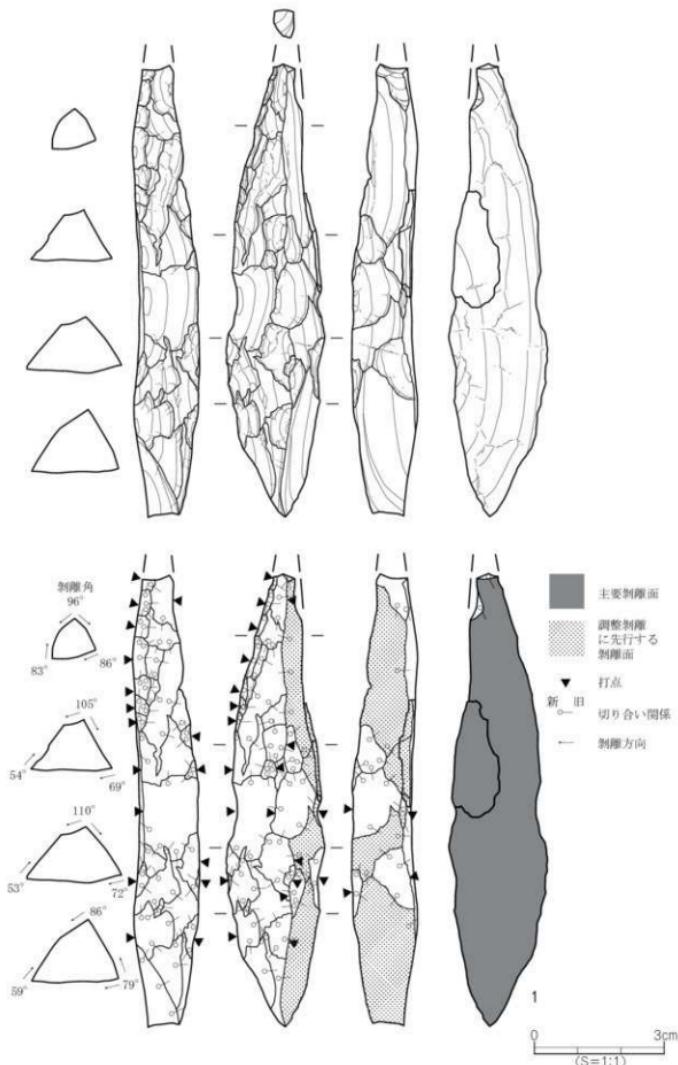


図2 桑原西稻葉遺跡2次調査出土石器実測図



写真1 桑原西稻葉遺跡2次調査出土石器

表1 出土遺物観察表(石製品)

番号	器種	残存	材質	法量				備考	写真
				長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)		
1	三棱 尖頭器	9/10	安山岩	10.45	2.25	1.5	36.42	VI層上面 S3E3 ガ'リット	1

【文献】

1992:『桑原の遺跡』『桑原西稻葉遺跡2次調査』松山市文化財調査報告書第26集

(財団法人松山市生涯学習振興財团埋蔵文化財センター)

2005:日本旧石器学会データベース『日本列島の旧石器時代遺跡』<http://palaeolithic.jp/data/index.htm>

(愛媛県:池尻伸吾 / 沖野新一 / 重松佳久 / 十亀幸雄 / 多田仁)

5. 保存処理

1. 保存処理の概要

保存処理室では主に木製品（P E G含浸処理）、金属製品（減圧樹脂含浸）の保存処理を行っており、必要に応じて現場に出向き、遺構・遺物の取り上げ、土層の剥ぎ取り作業も行っている。

金属製造物：保存処理は基本的に当センターで行なうが、特殊な資料やX線撮影は外部委託している。今年度は、委託していない。

木製・植物性遺物：保存処理は当センターで行なうが、重要な資料や自然科学分析は外部委託している。今年度は、委託していない。

動物遺骸体：洗浄や保護処理は当センターで行い、人骨の鑑定、獣種同定、保存処理は外部委託している。今年度は、委託していない。

追加資料の掲載：平成28・30年度にNPO法人人類学研究機構に鑑定を委託した余戸中ノ孝遺跡・東垣生八反地遺跡の骨鑑定結果を松山市文化財調査報告書第196集の追加資料として、本章6・7に掲載する。

2. 保存処理実務

（1）木製品の保存処理

P E G（ポリエチレングリコール）含浸処理を行っている。このP E G含浸法は、木製品中の水分をP E Gに置き換える方法で、20%の水溶液に木製品を浸し、漸次、濃度を高めていく最終段階では100%濃度のP E G溶液をしみこませることになる。この処理は1～15年位を要する。令和元年度を処理完了予定とし、祝谷大穴ヶ田遺跡7次調査、余戸柳井田遺跡6次調査、東垣生八反地遺跡4次調査他出土372点を含浸処理中である。

（2）金属製品の保存処理

前処理（脱水・脱塩・安定化処理）を行い、順次クリーニング（付着しているゴミ・土壤・サビ等の除去）、減圧樹脂含浸を行っている。また、処理の終了した遺物は、収納システム（三菱ガス科学・R Pシステム）により収納後、特別収蔵庫に保管している。以下、処理を行った点数を下表に記す。

表1 平成30年度 金属製品保存処理遺跡名一覧

No	遺跡名	点数	作業工程	刊行物
407	姫原遺跡2次調査	33	処理済・処理室保管	松山市文化財調査報告書第189集
531	松山城三之丸跡13次	340	処理済・処理室保管	松山市文化財調査報告書第197集
543	松山城三之丸跡15次	544	処理済・処理室保管	松山市文化財調査報告書第197集
581	船ヶ谷遺跡5次調査3号墳	24	処理済・処理室保管	松山市文化財調査報告書第192集
581	船ヶ谷遺跡5次調査4号墳	75	処理済・処理室保管	松山市文化財調査報告書第192集
596	南江戸上沖遺跡1次調査	50	処理済・処理室保管	松山市埋蔵文化財調査年報28
605	余戸中ノ孝遺跡4次調査	14	処理済・処理室保管	松山市文化財調査報告書第196集
607	南江戸上沖遺跡2次調査	34	処理済・処理室保管	松山市埋蔵文化財調査年報29
28-270	H28立会 北久米	1	処理済・処理室保管	

保存処理

(3) 動物遺骸体の保存処理

人骨、獣骨とも大部分のものが、土とともに出土した状態で搬入される。処理室ではこの余分な土を、竹べら・竹串・針先・ピンセット・刷毛などを用いて骨の取り出し、クリーニングを行っている。

(4) 遺構・遺物の取り上げ作業

発掘調査で検出される遺物は腐食し、脆弱化しているためそのまま取り上げることが困難なものがある。また、ほとんどの調査の場合、発掘した遺構を現場で保存できない。このような場合に遺構・遺物の取り上げを行う。遺物が小さい場合は簡易な方法で行い（骨を土ごと取り上げること、年報11、保存処理事業I-3参照）、遺物が大きく重量が増す場合は発泡ウレタン樹脂を用いて対象物全体を固めて取り上げる（年報X、保存処理事業I-3参照）。この発泡ウレタン樹脂での梱包は從来使用していた石膏やコンクリートでの梱包より軽く仕上がり、搬出、運搬の作業が軽減される。室内に搬入した後、時間をかけて精査することによって、発掘期間中に屋外で調査する以上の成果を期待できることも多い。

(5) 土層の剥ぎ取り転写

転写面にエポキシ系樹脂を塗り、樹脂の補強のためガーゼなどで裏打ちを行い、樹脂が硬化後転写面より剥ぎ取る。剥ぎ取った土層は、パネル仕上げにして展示、保管する。この土層の剥ぎ取りは、発掘後も室内で実物をあらゆる角度から精査できる効果的な記録保存法となる。

(6) 平成30年度調査出土遺物一覧（保存処理等必要遺物）

表2 平成30年度調査出土木製品・動植物遺体一覧

番号	遺跡名	種類	遺物内容	数量
648	別府遺跡4次	木製遺物	木柵	149点
		植物遺体	桃核	1点

【参考文献】奈良国立文化財研究所埋蔵文化財センター『埋蔵文化財ニュース』16・24・28・31

6. 余戸中ノ孝遺跡出土の中世人骨

松下眞実*・松下孝幸**

【キーワード】：愛媛県、中世人骨、円形周溝、木棺墓、男性骨、屈強、高身長

はじめに

愛媛県松山市余戸西二丁目 2331 番 1 に所在する余戸中ノ孝遺跡の発掘調査が道路建設工事に伴い 2015（平成 27）年（1月～3月）におこなわれ、1基の墓（1号墓）と円形の周溝（SD1）から人骨が出土した。本遺跡は鎌倉時代（13世紀）の建物跡や溝などからなる中世の集落跡である。この墓は円形の溝を伴っており、円形の周溝を伴う中世墓は愛媛県ではこれが初例である。土坑の中から棺材の一部とみられる木片が検出されていることから、埋葬施設は木棺だったと推測されている。棺内から土師器塊が 1 点と、棺外からは 1 本の鉄釘と頭部の法面から円襍が 1 点出土している。

本人骨に副葬されていた土師器（塊）は吉備の所産であり、調査地の北方には菅原道真（845～903）に祀られる「履脱天満宮」が存在し、近くの川には「勅使橋」という橋が架かっている。本遺跡は、菅原道真的時代よりは後

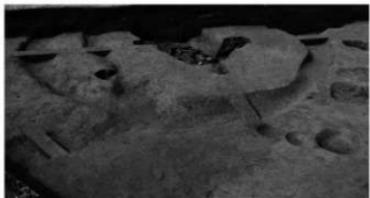


写真 1 1号墓全景

の時代の遺跡であるが、遺構や出土した人骨の特徴などがこのような歴史的背景と関連があるのかが、注目された。

愛媛県で筆者らが調査や鑑定の依頼を受けた人骨のうち中世人骨は松山市江戸 4 丁目に所在する古照遺跡（松下、1998）、八幡浜市のウラショウジ遺跡（松下、1999）、七反地遺跡（松下、2000）の 3ヶ所の遺跡から出土した中世人骨のみである。古照遺跡からは 14 世紀末頃の 1 体の壯年・女性骨が出土している。頭型や顔面の特徴は不明であるが、四肢骨が細い女性であった。ウラショウジ遺跡からは 16 世紀に属する熟年・男性骨と年齢不明の女性骨がそれぞれ 1 体出土している。頭型や顔面の特徴は不明で、四肢骨は下肢骨しか残っていないかったが、男女とも下肢骨は細かった。七反地遺跡からは 5 体（男 2、女 3）の中世人骨が出土している。男性は長頭型を示し、歯槽性突頭がみられたが、女性の頭型と顔面の特徴は明らかにできなかった。男性の上腕骨と大腿骨は長く、男性の脛骨と女性の大転骨、脛骨は短く、骨体は男女ともに細いものであった。また、男性は高身長であったが、女性は低身長であった。

本人骨の遺存状態は必ずしも良好なものではないが、観察や計測をおこなうことが可能な骨もあり、興味ある所見が得られたので、その結果を報告しておきたい。

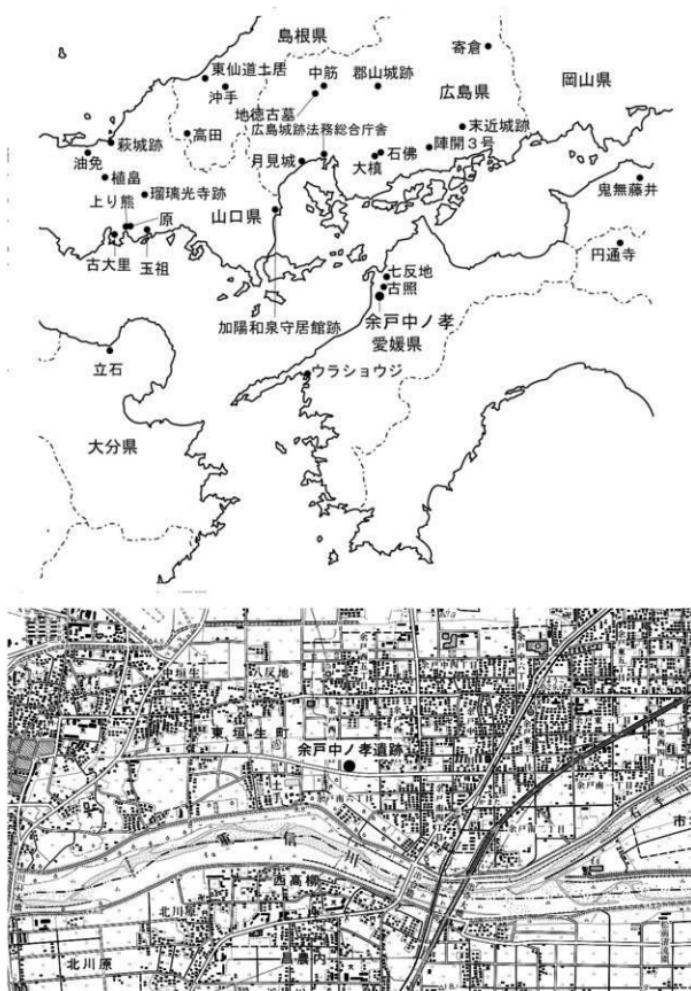


図1. 余戸中ノ孝遺跡の位置図 (1/25,000)

(Fig.1 Location of the Yougonakanokou site, Matsuyama City, Ehime Prefecture)

資料

今回の調査で検出された埋葬遺構は1基(1号墓)の墓坑と、円形の溝(SD1)からそれぞれ1体の人骨が出土した(表1)。1号墓は木棺と推測されている。埋葬姿勢は仰臥で、頭位は北である。右側の肘関節は約50度に曲げられ、手を胸部に置いているが、左側については判然としない。下肢骨は膝関節を両側ともやや強く曲げ右側に倒した状態で検出されている。頭部の左側に土師器の塊が1点副葬されていた。

この1号墓人骨は後述している所見から熟年の男性骨と推測される(表2)。また、本人骨は考古学的所見より、鎌倉時代(13世紀・中世)に属する人骨である。なお、表3に年齢区分を示した。

表1 資料数 (Table 1. Number of materials)

成 人			合計
男性	女性	不明	
1	0	1	2

表2 出土人骨一覧 (Table 2. List of skeletons)

人骨番号	性別	年齢	備考(埋葬姿勢、頭位)
1号墓人骨	男性	熟年	仰臥、北頭位、屈曲(肘・膝関節)
SD1人骨	不明	不明	溝より出土

表3 年齢区分 (Table 3. Division of age)

年齢区分		年	齢
未成人	乳児	1歳未満	
	幼児	1歳～5歳	(第一大臼歯萌出直前まで)
	小児	6歳～15歳	(第一大臼歯萌出から第二大臼歯根完成まで)
	成年	16歳～20歳	(蝶後頭軟骨結合癒合まで)
成人	壮年	21歳～39歳	(40歳未満)
	熟年	40歳～59歳	(60歳未満)
	老年	60歳以上	

注) 成年という用語については土井ヶ浜遺跡第14次発掘調査報告書(1996)を参照されたい。



写真2 1号墓人骨出土状況

所 見

各骨の計測値は文末に一括して掲げた。1号墓人骨の残存部分は図2に示した。

1号墓人骨（男性、老年）

1. 頭蓋

(1) 脳頭蓋

前頭骨右側部、右側頭頂骨、後頭骨が残存しているが、土圧により左右方向に変形しており、保存状態は悪い。外後頭隆起の発達は極めて良好で、乳様突起は大きい。外耳道は両側とも観察できなかつた。縫合は、三主縫合の内外両板が観察できた。内板は三主縫合とも閉鎖している。外板は矢状縫合、ラムダ縫合は融合しているが、冠状縫合は一部開離している。脳頭蓋の計測はできなかつた。

(2) 顔面頭蓋

右側眼窓上縁から右側頸骨、右側上顎骨が残存していたが、保存状態は悪く、土によって形態を保つている状態である。保存状態が悪く計測はできなかつたが、現状で計測をおこなつたところ、上顎高は高く、少なくとも70mmはあるようである。また、歯槽性突頸傾向が認められる。

下顎骨の保存状態は比較的良好であるが、土圧により右側へ倒れている。下顎枝の高径は低いが、幅は著しく広い。下顎体高は高く、オトガイ隆起はよく発達しており、下顎骨はかなり大きい。

2. 齒

上下両顎には歯が釘植していた。残存歯と歯槽の状態を歯式で示すと、次のとおりである。

⑥ ⑦ ⑥ ⑤ ④ 3 2 1	1 2 / / / / / /	[○:歯槽開存、●:歯槽閉鎖、/:不明（破損）]
8 7 6 5 4 / / /	/ / / / / 6 ⑦ ⑧	

(1) 中切歯、2:側切歯、3:大歯、4:第一小白歯、5:第二小白歯、6:第一大臼歯、7:第二大臼歯、8:第三大臼歯

咬耗度はBrocaの3度（咬耗が象牙質まで及ぶ）で、咬耗はかなり強い。歯の咬合形式は鉗子状咬合である。

3. 四肢骨

(1) 上肢骨

鎖骨、肩甲骨、上腕骨、桡骨、尺骨が残存していた。保存状態は悪く、鎖骨、肩甲骨は痕跡程度であった。

①上腕骨

両側の骨体が残存していた。保存状態は悪く、緻密質が薄く脆弱である。骨体は著しく太く、三角筋粗面の発達も良好である。

計測値は、骨体最小周が70mm（右）、中央周は77mm（右）で、骨体はきわめて太い。また、中央最大径が27mm（右）、中央最小径は21mm（右）で、骨体断面示数は77.78（右）となり、右側骨体の扁平性は弱い。

②桡骨

両側の骨体が残存していた。骨体は極めて太く、骨間縁の発達は良好である。

③尺骨

両側の骨体が残存していた。右側は茎状突起が欠損していたが、最大長が推定できた。長さは長く、

骨体は太い。骨間縁の発達は良好である。

(2) 下肢骨

寛骨、大腿骨、膝蓋骨、脛骨、腓骨が残存していたが、寛骨は痕跡に過ぎなかった。下肢骨の保存状態はかなり悪い。

①寛骨

両側の寛骨が残存していたが、痕跡的に残存している状態である。大坐骨切根の角度は不明である。

②大腿骨

両側の骨体が残存していた。大腿骨の緻密質は薄く脆弱である。また、表面の剥離が認められる。長さは長く、骨体は著しく太い。粗線は明瞭で幅が広く、骨体両側面の後方への発達は良好である。本大腿骨には普通の大腿骨にはみられない特徴がある。それは大腿骨体が捻れていることである。一般的に粗線は骨体後面のほぼ中央に存在するが、本例は粗線が外側方向へ寄っている。粗線の外側唇が外側方向へ偏在するような形態を呈しており、外側唇に付着する外側広筋の発達がきわめてよかつたことを物語っている。

計測値は、骨体中央周が93mm（右）で、骨体は著しく太い。骨体中央矢状径は31mm（右）、中央横径は29mm、（右）で、骨体中央断面示数は106.90（右）となり、骨体両側面の後方への発達は良好である。粗線は幅が広く、中央部で14mmもある。

③脛骨

両側の骨体が残存していた。大腿骨同様に、脛骨の緻密質は薄く脆弱で、表面の剥離が認められる。骨体は著しく太い。ヒラメ筋線の発達は良好である。骨体の断面形は両側ともヘリチカのIV型を呈している。

計測値は、骨体周が91mm（左）、最小周は81mm（左）で、骨体は著しく太い。中央最大径は32mm（右）、33mm（左）、中央横径は25mm（左）で、中央断面示数は75.76（左）となり、骨体には扁平性は認められない。

④腓骨

両側の骨体が残存していた。骨体の径は大きく、骨間縁の発達は良好である。

4. 推定身長値

右側尺骨の保存状態は良好である。茎状突起を欠損していたが、最大長を推定することができた。茎状突起を除いた最大長（肘頭尺骨頭長）は274mm（右）で、茎状突起を復元した最大長の推定値は約277mm（右）ぐらいになる。藤井の公式を用いて推定身長値を算出すると、尺骨最大長を274mmとしても、167.25cm（藤井、右）となり、最大長を277mmとすれば、168.18cm（藤井、右）の値が得られる。身長は167.25cmを超え、168.18cmぐらいはあったものと思われ、中世人としてはかなりの高身長である。

5. 性別・年齢

性別は、外後頭隆起の発達が良好で、四肢骨も著しく大きいことから男性と推定した。年齢は、三主縫合の内板は癒合しており、外板は矢状縫合とラムダ縫合は癒合してしているが、冠状縫合の一部が開離していることから、熟年と思われる。

SD-1人骨（性別・年齢不明）

大腿骨の骨体前面の一部が残存していたに過ぎない。保存状態が悪く、左右は不明である。性別、年齢は不明であるが、骨体が大きそうなので男性の可能性も考えられる。

考 察

愛媛県の中世人骨の報告例は極めて少ない。そこで周辺地域から出土している中世人骨を含めて考察をおこなってみた。比較資料として、松山市の七反地（松下、2000）、ウラショウジ（松下、1999）、山口県の吉母浜（中橋・他、1985）、原（松下、2001）、広島県の月見城（松下、1987a）、寄倉岩陰（池田、1980）、熊本県の花岡木崎（松下・他、2013）、福岡県の小倉城二の丸（松下、2012）、長崎県の深堀（松下・他、1987b）、神奈川県の由比ヶ浜南（松下、2002）の各遺跡から出土した中世人骨を用いた。

1. 上腕骨

表4は上腕骨の比較表である。中央周は77mmで、表4では最大値となり、骨体はきわめて太い。骨体断面示数は77.78で、表4では、この示数値は最大値を示し、上腕骨は極めて大きいが、骨体の扁平性は弱い。

2. 大腿骨

表5は大腿骨の比較表である。中央周は93mmで、原、花岡木崎S-12に次いで大きく、上腕骨同様に、大腿骨は太くて大きい。骨体断面示数は106.90で、原、花岡木崎S-12、月見城、ウラショウジ、七反地土壙墓4に次いで大きく、骨体両側面の後方への発達は良好である。

3. 脛骨

表6は脛骨の比較表である。骨体周は90mmで、表6では最大値となり、上腕骨、大腿骨と同様に脛骨骨体もきわめて太い。中央断面示数は75.76で、花岡木崎S-12と大差なく、表6では最大値となり、骨体には扁平性は認められない。

4. 推定身長値

表7は推定身長値の比較表である。尺骨最大長を復元して算出すると168.18cm（藤井）となり、表7では最大値となり身長はかなり高い。参考までに七反地と小倉城二の丸について、大腿骨から算出した推定身長値を示したが、この2例とも尺骨からの推定値と大腿骨からの値が大差ないことから、本例も大腿骨から算出したとしてもおそらく168cm程度になると予測される。

要 約

愛媛県松山市余戸西二丁目に所在する余戸中ノ孝遺跡の発掘調査が、道路建設工事に伴って2015年(平成27)年におこなわれ、埋葬遺構が1基検出され、人骨が出土した。人骨の保存状態はかなり悪いものであったが、人類学的観察と計測をおこない、興味ある所見が得られた。その結果は次のようにう要約することができる。

1. 本遺跡からは、周溝を伴う中世墓が1基検出され、遺構(木棺墓)から1体の人骨が出土した。また、溝から性別不明の大腿骨片が検出された。
2. 本人骨は考古学的所見から13世紀の鎌倉時代に属する人骨と推測されている。
3. 頭蓋の左側部には吉備所産の土師焼が1点副葬されていた。
4. 埋葬姿勢は仰臥で、頭位は北に位置し、肘関節は屈曲状態であった。下肢骨は、膝関節を強く曲げ、右側に倒した状態で検出された。
5. 1号墓から出土した人骨は、熟年の男性である。
6. 上腕骨は、中央周が77mm(右)、骨体断面示数は77.78(右)で、上腕骨はきわめて太いが、骨体の扁平性は弱い。
7. 大腿骨は、骨体中央周が93mm(右)、骨体中央断面示数は106.90(右)で、上腕骨同様に大腿骨もきわめて太く、粗線の幅は14mmもあり、骨体両側面の後方への発達も良好である。
8. 脛骨は、骨体周が91mm(左)、骨体断面示数は75.76(左)で、脛骨も著しく太いが、骨体には扁平性は認められない。
9. 尺骨最大長の推定値277mm(右)から算出した推定身長値は168.18cm(藤井式)となり、高身長である。
10. 愛媛県における中世人骨の報告例が少ないために、本県の中世人骨の特徴の詳細は不明であるが、七反地遺跡出土人骨には、中世人の時代的特徴である、長頭性、鼻根部の扁平性、歯槽性突顎のうち、長頭性と歯槽性突顎が認められた。本例は保存状態が著しく悪く、頭型や鼻根部などの面部形態については確認ができなかったが、歯槽性突顎が認められた。このような中世人の特徴よりも本例には特筆すべき特徴が認められた。それは下頸骨や四肢骨が巨大で、身長が高く、きわめて屈強なことである。筆者らはこれまでこのような中世人骨をみたことがない。中世に限らず、全時代を通してこれほど四肢骨が太くて屈強な人骨はきわめて珍しい。沖縄県糸満市の摩文仁ハンタ原遺跡出土の绳文後期人骨のなかに、本例に似た巨漢を2例を認めたに過ぎない。

本被葬者の大腿骨は粗線の外側唇が外側へ引っ張られたような形態をしており、骨体が変形している。外側広筋の異常な発達がうかがえる。このような大腿骨をこれまで見たことがない。総じて本被葬者は身長も高く、骨が著しく太くて大きく、鍛え上げられた格闘家然とした出で立ちである。このような体格の持ち主が、なぜこの地で没したのか、この地に元から居住していたのか、他所からの移住者なのか、もしそうなら、どこから来たのであろうか。出自とともに、彼の履歴が知りたくなった。前述しているように、この遺跡の周辺には菅原道真(845~903)に纏わる「履脱天満」が存在し、「勅使橋」という橋も架かっている。副葬品が吉備産というのも気になる。本遺跡は、菅原道真的時代とは異なるので、直接の関係はないが、平安時代以降、鎌倉時代にかけて、本被葬者の存在にかかる歴史的事象がこの周辺にあったことを、この人骨は示唆しているようで、興味深い。

謝辞

＜掲筆するにあたり、本研究と発表の機会を与えていただいた松山市埋蔵文化財センターの皆様方に感謝致します。＞

【参考文献】

- Martin-Saller, 1957 : Lehrbuch der Anthropologie. Bd.I.Gustav Fisher Verlag. Stuttgart : 429-597.
- 池田次郎, 1980 : 帝釈寄倉岩陰遺跡出土の中世人骨について。広島大学文学部帝釈跡遺跡群発掘調査室年報Ⅲ : 99-105.
- 松下孝幸・他, 1983d : 山口県豊浦郡豊北町土井ケ浜遺跡出土の人骨。土井ケ浜遺跡第7次発掘調査概報（豊北町 埋蔵文化財調査報告2）: 19-30.
- 松下孝幸, 1987a : 広島県月見城出土の中世人骨。月見城遺跡（広島県埋蔵文化財調査センター調査報告書第54集）: 97-106.
- 松下孝幸・他, 1987b : 長崎市深堀遺跡出土の人骨。深堀貝塚発掘調査報告書 : 45-56.
- 松下孝幸, 1998 : 愛媛県松山市古照道路出土の中世人骨。斎院・古照新松山空港道路建設に伴う埋蔵文化財調査報告書（遺物編）: 532-538.
- 松下孝幸, 1999 : 愛媛県八幡浜市ウラショウジ遺跡出土の中世人骨。愛媛県歴史博物館研究紀要 第4号 : 96-123.
- 松下孝幸, 2000 : 愛媛県松山市七反地遺跡出土の中世人骨。道ヶ谷古墳・池の奥遺跡・平田七反地遺跡（一般国道196号松山北条バイパス埋蔵文化財調査報告書Ⅱ）（埋蔵文化財発掘調査報告書第86集）: 391-422.
- 松下孝幸, 2001: 山口県防府市原遺跡出土の中世人骨。原遺跡（山口県埋蔵文化財調査センター調査報告第23集）: 41-56.
- 松下孝幸, 2002 : 神奈川県鎌倉市由比ヶ南遺跡出土の中世人骨。神奈川県・鎌倉市由比ヶ南遺跡（第3分冊・分析編Ⅱ）: 1-99.
- 松下孝幸, 2002 : 鎌倉市由比ヶ南遺跡集骨墓出土人骨の埋葬と個体数および受傷人骨。神奈川県・鎌倉市由比ヶ南遺跡（第3分冊・分析編Ⅱ）: 101-134.
- 松下孝幸, 2012 : 北九州市小倉二ノ丸家老屋敷跡出土の中世人骨。小倉二ノ丸 家老屋敷跡2（北九州市文化財調査報告書第126集）: 157-181.
- 松下孝幸・他, 2013: 熊本県芦北町花岡木崎遺跡出土の中世人骨。花岡木崎遺跡（芦北町文化財調査報告書第3集）: 191-222.
- 中橋孝博・他, 1985 : 人骨（山口県下関市吉母浜遺跡出土人骨）。吉母浜遺跡 : 154-225.
- 内藤芳篤, 1973 : 人骨。尾塙・熊本県下益城郡城南町尾塙中世墳墓群の調査（熊本県文化財調査報告12）: 62-78.
- 鈴木 尚, 1963 : 日本人の骨。岩波書店。東京。

* Masami MATSUSHITA、** Takayuki MATSUSHITA

The Organization of Anthropological Research [N P O 法人・人類学研究機構]

表4 上腕骨計測値比較表(男性・右、mm) / Table 4. Comparison of measurements and indices of male right humeri.

	余戸中ノ孝			月見城			原			深堀			由比ヶ浜南		
	中世人	豪源県	松山市	中世人	広島県	広島市	中世人	山口県	防府市	中世人	長崎県	神奈川県	鎌倉市	(松下)	
	(松下)			(松下)			(中筋・他)			(松下)			(松下)		
1.	上腕骨最大長	-	-	309	-	-	295.8	-	-	19	309.21	-	-	-	-
5.	中央最大径	27	21	(左)	22	24	22.9	24	25	41	22.22	-	-	-	-
6.	中央最小径	21	16	(左)	16	15	20	17.3	17	17	41	17.10	-	-	-
7.	骨体最小周	70	60	(左)	60	61	20	62.6	-	67	39	62.15	-	-	-
7(a).	中央周	77	61	(左)	64	66	20	66.4	67	72	42	66.00	-	-	-
6/5	骨体断面示数	77.78	76.19	(左)	72.73	62.50	20	75.6 (左)	70.83	68.00	41	77.04	-	-	-
7/1	長厚示数	-	-	19.42	-	17	21.2	-	-	19	20.13	-	-	-	-

表5 大腿骨計測値比較表(男性・右、mm) / Table 5. Comparison of measurements and indices of male right femora.

	余戸中ノ孝			月見城			寄倉			吉浜			花園木崎				
	中世人	豪源県	松山市	中世人	豪源県	八幡浜市	中世人	広島県	神石高原町	中世人	山口県	防府市	中世人	熊本県	由比ヶ浜南		
	(松下)			(松下)			(松下)			(松下)			(松下)				
1.	最大長	-	-	427	414	-	-	1	410	-	18	417.1	-	-	27	415.85	
2.	自然位全長	-	-	419	413	-	-	1	407	-	15	418.7	-	-	26	411.62	
6.	骨体中央矢状径	31	25	29	29	(左)	29	(左)	1	29	34	19	27.7	32	25	81	27.32
7.	骨体中央横径	29	25	27	27	(左)	27	(左)	1	28	27	19	27.5	28	27	(左)	26.27
8.	骨体中央周	93	79	89	80	(左)	87	(左)	1	91	97	19	87.5	95	83	(左)	84.90
9.	骨体上端径	-	-	29	30	-	-	33	1	36	-	19	32.1	33	32	80	31.01
10.	骨体上矢状径	-	-	22	23	-	-	22	1	27	24.6	25	21	20	23.95	-	-
8/2.	長厚示数	-	-	18.85	21.55	-	-	1	22.4	27	14	21.1	-	26	20.59	-	-
6/7	骨体中央矢面示数	106.90	100.00	107.41	107.40 (左)	107.41 (左)	1	103.6	125.93	19	100.6	114.29	92.59 (左)	81	104.49	-	-
10/9	上骨体断面示数	-	-	75.86	76.67	-	-	66.67	1	75.0	-	19	76.5	75.76	65.63	79	77.08

表6 脊骨計測値比較表(男性、右、mm)(Table 6. Comparison of measurements and indices of male right tibiae)

	余戸中ノ孝	七反地	ウラショウジ	寄倉	吉母浜	花園木崎	由比ヶ浜南
	中世人	中世人	中世人	中世人	中世人	中世人	中世人
	愛媛県	愛媛県	愛媛県	高知県	山口県	高知県	高知県
	松山市	松山市	八幡浜市	神石高原町	下関市	芦北町	神奈川県 鎌倉市
	(松下)	(松下)	(松下)	(池田)	(松下)	(松下)	(松下)
1. 脊骨全長	-	-	331	-	1 310	-	14 335.8
1a. 脊骨最大長	-	-	338	-	-	13 345.2	-
8. 中央最大径	33 (左)	29 (左)	27	29 (左)	1 33	20 29.4	25 338.52
9. 中央椎隆	25 (左)	19 (左)	20	20 (左)	1 22	22 21.5	29 26
10. 骨体間	90 (左)	76 (左)	74	70 (左)	-	87 20 21.5	73 21.05
10b. 椎小窓	81 (左)	69	-	76	20 73.2	79 (左) 68	79.63
9/8 中央断面示数	75.76 (左)	65.52 (左)	74.07	68.97 (左)	1 66.7	66.67 72.88	72.12
10b/1 長導示数	-	-	20.85	-	-	14 22.3	23 22.06

表7 推定身長値比較表(男性、右、cm)(Table 7. Comparison of estimated male statures)

	余戸中ノ孝	七反地	寄倉	小曾城二の丸	深堀	由比ヶ浜南	
	中世人	中世人	中世人	中世人	中世人	中世人	
	愛媛県	愛媛県	高知県	長崎県	長崎県	高知県	
	松山市	松山市	神石高原町	福岡県	福岡県	高知県	
	(松下)	(松下)	(池田)	北九州市	北九州市	神奈川県 鎌倉市	
1号墓	-	-	土壙墓4	n M	1号	(松下)	(松下)
1号墓	(168.18)	159.53	1 156.75	162.93	163.85	3 162.21	-
大腿骨からの身長値(藤井式)	-	157.16	-	160.37	-	-	-
大腿骨からの身長値(Pearson式)	-	159.14	-	161.58	-	-	-

表8 下顎骨計測値(男性、mm、度)(Mandibula)

	余戸中ノ孝 1号墓 男性	
65	下顎関節突起幅	-
65(1).	下顎筋突起幅	-
66	下頸角幅	-
67	前下顎幅	-
68	下顎長	-
68(1).	下顎長	-
69	オトガイ高	-
69(1).	下顎体高(右)	37
	(左)	37
69(2).	下顎体高(右)	33
	(左)	33
70	枝高(右)	-
	(左)	-
70(1).	前枝高(右)	-
	(左)	-
70(2).	最小枝高(右)	-
	(左)	-
70(3).	下顎切痕高(右)	-
	(左)	-
71(1).	下顎切痕幅(右)	-
	(左)	-
71	枝幅(右)	-
	(左)	43
71a.	最小枝幅(右)	-
	(左)	43
79	下顎枝角(右)	-
	(左)	-
66/65	下顎幅示数	-
68/65	幅長示数	-
68(1)/65	幅長示数(右)	-
69(2)/69	下顎高示数(右)	-
	(左)	-
71/70	下顎枝示数(右)	-
	(左)	-
71a/70(2)	下顎枝示数(右)	-
	(左)	-
70(3)/71(1)	下顎切痕示数(右)	-
	(左)	-

表9 上腕骨計測値(mm)(Humerus)

余戸中ノ孝 1号墓 男性	
1.	上腕骨最大長(右) (左)
2.	上腕骨全長(右) (左)
3.	上端幅(右) (左)
3(1).	横上径(右) (左)
4.	下端幅(右) (左)
5.	中央最大径(右) (左)
6.	中央最小径(右) (左)
7.	骨体最小周(右) (左)
7(a).	中央周(右) (左)
8.	頭周(右) (左)
9.	頭最大横径(右) (左)
10.	頭最大矢状径(右) (左)
11.	滑車幅(右) (左)
12.	小頭幅(右) (左)
12(a).	滑車幅および小頭幅(右) (左)
13.	滑車深(右) (左)
14.	肘頭窩幅(右) (左)
15.	肘頭窩深(右) (左)
6/5	骨体断面示数(右) (左)
7/1	長厚示数(右) (左)

表10 様骨計測値(男性、mm)(Radius)

	余戸中ノ孝 1号墓 男性
1. 最大長(右)	-
(左)	-
1b. 平行長(右)	-
(左)	-
2. 機能長(右)	-
(左)	-
3. 最小周(右)	-
(左)	-
4. 骨体横径(右)	20
(左)	-
4a. 骨体中央横径(右)	20
(左)	-
4(1). 小頭横径(右)	-
(左)	-
4(2). 頚横径(右)	-
(左)	-
5. 骨体矢状径(右)	14
(左)	-
5a. 骨体中央矢状径(右)	14
(左)	-
5(1). 小頭矢状径(右)	-
(左)	-
5(2). 頚矢状径(右)	-
(左)	-
5(3). 小頭周(右)	-
(左)	-
5(4). 頚周(右)	-
(左)	-
5(5). 骨体中央周(右)	55
(左)	-
5(6). 骨下端幅(右)	-
(左)	-
3/2 長厚示数(右)	-
(左)	-
5/4 骨体断面示数(右)	70.00
(左)	-
5a/4a 中央断面示数(右)	70.00
(左)	-

表11 尺骨計測値(mm)(Ulna)

	余戸中ノ孝 1号墓 男性
1. 最大長(右)	(277)
(左)	-
2. 機能長(右)	246
(左)	-
2(1). 肘頭尺骨頭長(右)	274
(左)	-
3. 最小周(右)	-
(左)	-
6. 肘頭幅(右)	35
(左)	-
6(1). 上幅(右)	-
(左)	-
7. 肘頭深(右)	25
(左)	-
8. 肘頭高(右)	25
(左)	-
11. 尺骨矢状径(右)	-
(左)	15
12. 尺骨横径(右)	-
(左)	21
S 中央最小径(右)	-
(左)	15
L 中央最大径(右)	-
(左)	21
C 中央周(右)	-
(左)	57
3/2 長厚示数(右)	-
(左)	-
11/12 骨体断面示数(右)	-
(左)	71.43
S/L 中央断面示数(右)	-
(左)	71.43

表12 大腿骨計測値(男性、mm)(Femur)

	余戸中ノ孝 1号墓 男性
1. 最大長(右)	-
(左)	-
2. 自然位全長(右)	-
(左)	-
3. 最大転子長(右)	-
(左)	-
4. 自然位転子長(右)	-
(左)	-
6. 骨体中央矢状径(右)	31
(左)	-
7. 骨体中央横径(右)	29
(左)	-
8. 骨体中央周(右)	93
(左)	-
9. 骨体上横径(右)	-
(左)	-
10. 骨体上矢状径(右)	-
(左)	-
15. 頸垂直径(右)	-
(左)	-
16. 頸矢状径(右)	-
(左)	-
17. 頸周(右)	-
(左)	-
18. 頸垂直径(右)	-
(左)	-
19. 頸横径(右)	-
(左)	-
20. 頸周(右)	-
(左)	-
21. 上頸幅(右)	-
(左)	-
8/2 長厚示数(右)	-
(左)	-
6/7 骨体中央断面示数(右)	106.90
(左)	-
10/9 上骨体断面示数(右)	-
(左)	-

表13 胫骨計測値(mm)(Tibia)

	余戸中ノ孝 1号墓 男性
1. 脛骨全長(右)	-
(左)	-
1a. 脛骨最大長(右)	-
(左)	-
1b. 脛骨長(右)	-
(左)	-
2. 顆距間距離(右)	-
(左)	-
3. 最大上端幅(右)	-
(左)	-
3a. 上内関節面幅(右)	-
(左)	-
3b. 上外関節面幅(右)	-
(左)	-
4a. 上内関節面深(右)	-
(左)	-
4b. 上外関節面深(右)	-
(左)	-
6. 最大下端幅(右)	-
(左)	-
7. 下端矢状径(右)	-
(左)	-
8. 中央最大径(右)	32
(左)	33
8a. 栄養孔位最大径(右)	-
(左)	-
9. 中央横径(右)	-
(左)	25
9a. 栄養孔位横径(右)	-
(左)	-
10. 骨体周(右)	-
(左)	90
10a. 栄養孔位周(右)	-
(左)	-
10b. 最小周(右)	-
(左)	81
9/8. 中央断面示数(右)	-
(左)	-
9a/8a 栄養孔位断面示数(右)	-
(左)	-
10b/1 長厚示数(右)	-
(左)	-

表14 腓骨計測値(男性、mm)(Fibula)

	余戸中ノ孝 1号墓 男性
1. 最大長(右)	-
(左)	-
2. 中央最大径(右)	17
(左)	-
3. 中央最小径(右)	14
(左)	-
4. 中央周(右)	53
(左)	-
4a. 最小周(右)	-
(左)	-
4b. 頸横径(右)	-
(左)	-
4c. 頸矢状径(右)	-
(左)	-
4(1). 上端幅(右)	-
(左)	-
4(1a). 上端矢状幅(右)	-
(左)	-
4(2). 下端幅(右)	-
(左)	-
4(2a). 下端矢状幅(右)	-
(左)	-
3/2 中央断面示数(右)	82.35
(左)	-
4a/1 長厚示数(右)	-
(左)	-

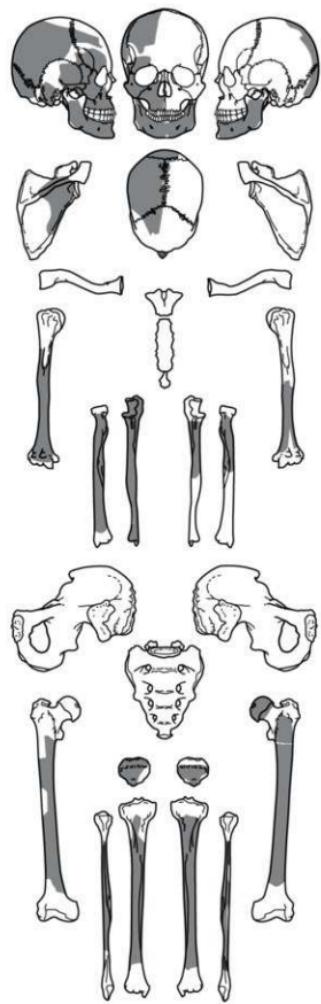
表15 膝蓋骨計測値(男性、mm)(Patella)

	余戸中ノ孝 1号墓 男性
1. 最大高(右)	-
(左)	-
2. 最大幅(右)	42
(左)	-
3. 最大厚(右)	18
(左)	-
4. 関節面高(右)	-
(左)	-
5. 内関節面幅(右)	20
(左)	-
6. 外関節面幅(右)	27
(左)	-
1/2 膝蓋骨高幅示数(右)	-
(左)	-

表16 推定身長値(cm)(Stature)

	余戸中ノ孝 1号墓 男性
藤井の式 上腕骨(右)	-
(左)	-
桡骨 (右)	-
(左)	-
尺骨 (右)	168.18
(左)	-
大腿骨(右)	-
(左)	-
脛骨 (右)	-
(左)	-

余戸中ノ孝遺跡出土人骨

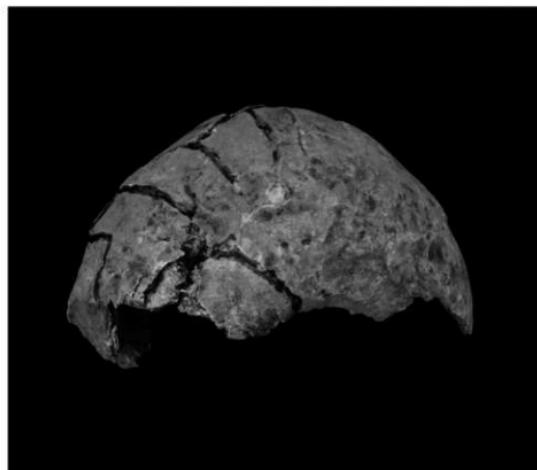


余戸中ノ孝遺跡 1号墓出土人骨（男性・老年）

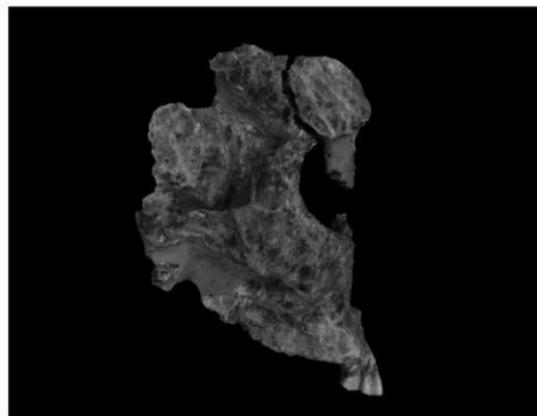
図2 人骨の残存図（アミかけ部分）

(Fig.2 Regions of Preservation of the skeleton. Shaded areas are preserved.)

保存処理



頭蓋側面 (Lateral view of the skull)



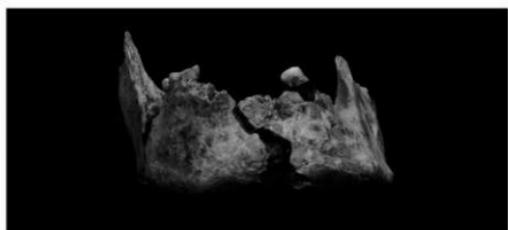
頭蓋側面 (Lateral view of the skull)

写真3 余戸中ノ孝遺跡 1号墓出土人骨 (1) 頭蓋骨 (男性・熟年)
(The skeleton No.1 from the Yodonakanoko site,mature male)

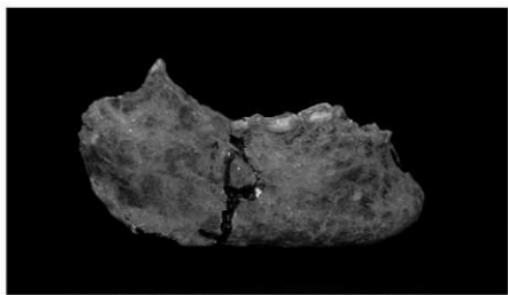
余戸中ノ孝遺跡出土人骨



下顎骨上面 (Superior view of the Mandibula)



下顎骨正面 (Frontal view of the Mandibula)



下顎骨側面 (Lateral view of the Mandibula)

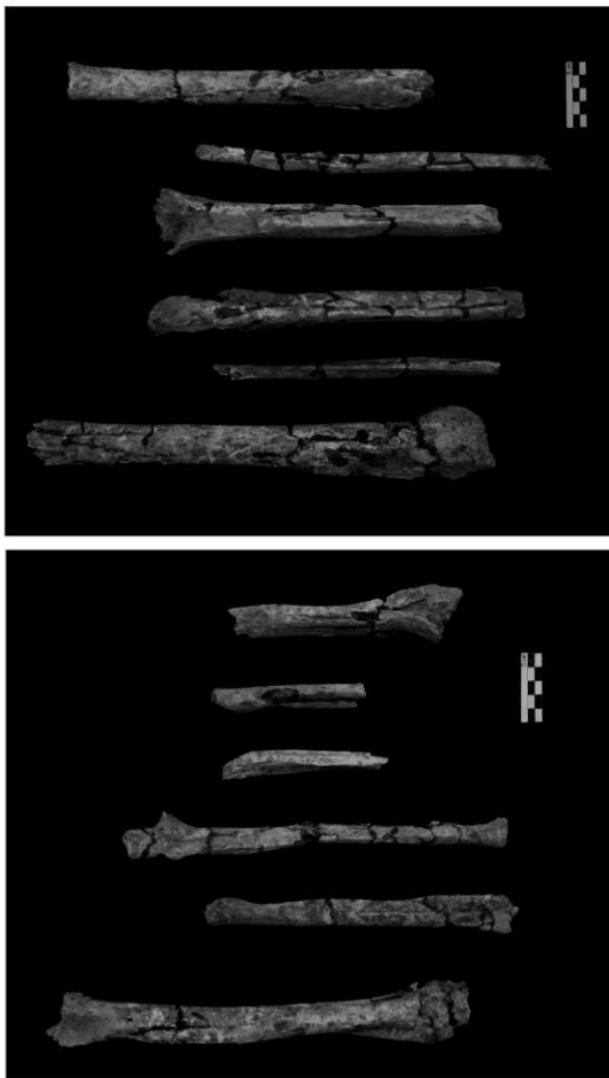
写真4 余戸中ノ孝遺跡 1号墓出土人骨 (2) 下顎骨 (男性・熟年)
(The skeleton No.1 from the Yodonakanoko site,mature male)

保存処理

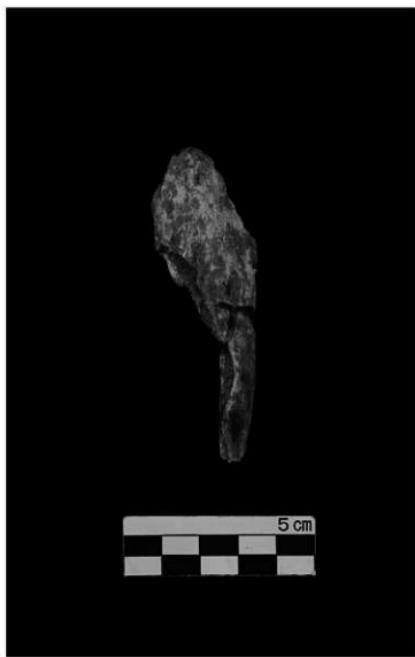
下肢骨 (Bones of the lower limb)

上肢骨 (Bones of the upper limb)

写真5 余戸中ノ孝遺跡1号墓出土人骨 (3) 上肢骨・下肢骨 (男性・熟年)
(The skeleton No. 1 from the Yodohakano site,mature male)



余戸中ノ孝遺跡出土人骨



大腿骨 (The femur)

写真 6 余戸中ノ孝 遺跡 SD1 出土人骨 大腿骨 (年齢・性別不明)
(The skeleton SD1 from the Yodonakanoko site, sex and age are unknown)

7. 東垣生八反地遺跡出土の中世人骨

松下真実*・松下孝幸**

【キーワード】：愛媛県、鎌倉時代、仰臥、木棺墓、男性

はじめに

愛媛県松山市東垣生町に所在する東垣生八反地遺跡の発掘調査が松山外環状線道路余戸北吉田線整備事業に伴い2016（平成28）年（1月～7月）におこなわれ、1基の墓（SK3）から人骨が出土した。本遺跡は平安時代後期から鎌倉時代の建物跡や溝などからなる中世の集落跡である。この墓は建物址に隣接しており、屋敷墓と考えられている。土坑の中から棺材の一部とみられる側板と底板が検出されていることから、埋葬施設は木棺だったと推測されている。また、棺外から土師器皿4枚が出土している。

愛媛県で筆者らが調査や鑑定の依頼を受けた人骨のうち中世人骨は松山市の古照遺跡（松下、1998）と七反地遺跡（松下、2000）および八幡浜市のウラショウジ遺跡（松下、1999）、松山市の余戸中ノ孝遺跡、余戸中ノ孝3次調査から出土した中世人骨のみである。古照遺跡からは14世紀末頃の1体の壮年・女性骨が出土している。頭型や顔面の特徴は不明であるが、四肢骨が細い女性であった。七反地遺跡からは5体（男2、女3）の中世人骨が出土している。男性は長頭型を示し、歯槽性突額がみられたが、女性の頭型と顔面の特徴は明らかにできなかった。男性の上腕骨と大脛骨は長く、男性の脛骨と女性の大腿骨、脛骨は短く、骨体は男女ともに細いものであった。また、男性は高身長であったが、女性は低身長であった。ウラショウジ遺跡からは16世紀に属する熟年・男性骨と年齢不明の女性骨がそれぞれ1体ずつ出土している。頭型や顔面の特徴は不明で、四肢骨は下肢骨しか残っていなかったが、男女とも下肢骨は細いものであった。余戸中ノ孝遺跡では、愛媛県では初例となる円形の溝を伴った土壙墓（1号墓）が出土しており、この1号墓から出土した男性人骨は頭蓋の保存状態が悪く、頭型や顔面の特徴は不明であるが、下頬骨や四肢骨が巨大で、身長が高く、被葬者はきわめて屈強な巨漢であったことが判明している。

本人骨の遺存状態は著しく悪かったが、現場で詳細な観察をおこなったので、その結果を報告しておきたい。

資料

本遺跡から1基の木棺墓（SK3）が出土し、1体の人骨が検出された（表1）。この人骨は下記の所見から年齢不明の男性骨と推定される（表2）。本人骨は、考古学的所見から、中世（鎌倉時代）に属する人骨である。人骨の遺存状態はきわめて悪く、脆弱で土に帰る寸前の状態であった。なお、棺外から完形の土師器皿4枚が検出された。年齢は推定できなかったが、参考までに年齢区分を表3に示した。



写真1 調査区全景

東垣生八反地遺跡出土人骨

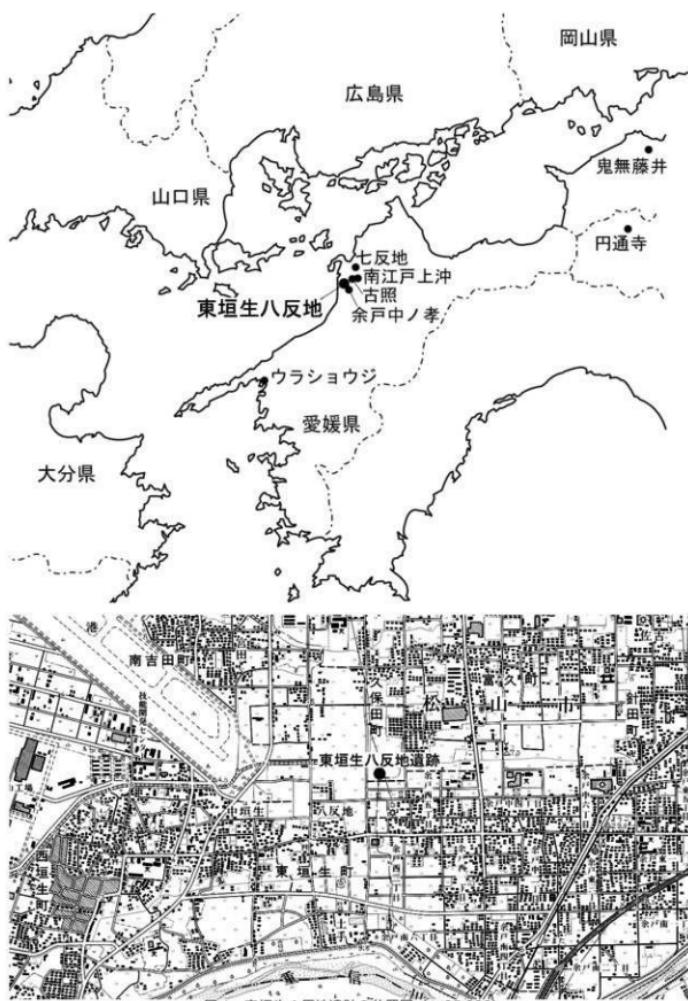


図1 東垣生八反地遺跡の位置図 (1/25,000)
(Fig.1 Location of the Higashihabutanzan site, Matsuyama City, Ehime Prefecture)

保存処理

表1 資料数 (Table 1. Number of materials)

成 人			幼 小 児	合 計
男 性	女 性	不 明		
1	0	0	0	1

表2 出土人骨一覧 (Table 1.List of skeletons)

人骨番号	性別	年齢	埋葬姿勢・頭位	供獻
S K 3	男性	不明	仰臥・南頭位	土師皿 4 枚

表3 年齢区分 (Table 3. Division of age)

年齢区分		年	齢
未成人	乳児	1 歳未満	
	幼児	1 歳～ 5 歳 (第一大臼歯萌出直前まで)	
	小児	6 歳～ 15 歳 (第一大臼歯萌出から第二大臼歯歯根完成まで)	
	成年	16 歳～ 20 歳 (蝶後頭軟骨結合癒合まで)	
成人	壯年	21 歳～ 39 歳 (40 歳未満)	
	熟年	40 歳～ 59 歳 (60 歳未満)	
	老年	60 歳以上	

注) 成年という用語については土井ヶ浜遺跡第14次発掘調査報告書(1996)を参照されたい。

所 見

SK 3 (男性・年齢不明)

I 人骨の検出状況と埋葬姿勢

埋葬遺構は木棺(SK3)である。墓坑の平面プランは隅丸長方形で、その断面形は逆台形を呈している。木棺の埋葬姿勢は仰臥で、頭位は南。人骨の遺存状態はきわめて悪く、残存していたのは頭蓋、右側上腕骨、左側肩甲骨、左右の大腿骨と脛骨のみであったが、肩甲骨と右側大腿骨は痕跡的で取り上げることができなかった。肘関節の様態は不明であるが、膝関節は両側とも緩く屈曲して少し立てていたものと思われるが、軟部組織が腐つて膝関節が外れ、下肢骨が右側に倒れたものと思われる。



写真2 SK3 人骨出土状況

膝関節を伸展させても納棺できる長さの木棺にもかかわらず、膝関節を曲げ、しかもからだの軸を木棺の中央ではなく、対角線上に、寝せている。頭部の南側にはやや広すぎる空間があるが、人骨がこのような状態で検出されたということは、木棺の頭部側に何かモノが存在していたことを示唆している。木棺の中の頭部側に向って残らない有機物が置かれたために、遺体を収めるスペースが狭くなり、からだを斜めにし、膝関節を曲げなければならなくなつたものと推測される。

人骨の保存状態はきわめて悪く、脆弱で土に帰る寸前状態である。脛骨体の径がやや大きいことから、性別を男性と推定した。

II 人骨の形質

1. 頭蓋

前頭骨の右側半分と、右側頭頂骨、右側側頭骨、後頭骨の右側半分が残存していたが、保存状態は悪く、土によって形が保たれているといった状態である。骨の表面（外板）は剥離し、板間層が露出している。前頭結節や外後頭隆起、乳様突起の観察はできない。また、外耳道は両側とも観察できない。三主縫合は内外両板とも観察できない。また、頭蓋の計測もできない。頭型は観察によつても推測できない。

2. 齒

遊離歯が残存していた。残存歯を歯式で示すと、次のとおりである。

/ / / / / / / /	/ / / / / / / /	[/ : 不明（破損）]
/ / 6 / 4 / / / /	/ / / / / / / /	

(1: 中切歯、2: 側切歯、3: 大歯、4: 第一小臼歯、5: 第二小白歯、6: 第一大臼歯、7: 第二大臼歯、8: 第三大臼歯)

咬耗度は Broca の 1 度（咬耗がエナメル質のみ）である。また、歯の咬合形式は不明である。

3. 四肢骨

上腕骨、大腿骨、脛骨が残存していた。

① 上腕骨

右側骨体の一部が残存していた。保存状態は著しく悪く、皮一枚残っているといった状態で、形質的特徴は不明である。計測もできない。

② 大腿骨

左側骨体の一部が残存していた。表面剥離が著しく、保存状態は悪い。粗線や骨体両側面の後方への発達は不明である。計測もできない。

③ 脣骨

両側の骨体が残存していた。保存状態は悪く、土圧に内外両面方向に潰れている。表面の剥離が著しく、ヒラメ筋線の様態や骨体の断面形は不明である。計測もできないが、骨体はやや大きいようである。

4. 性別・年齢

人骨の保存状態は著しく悪いが、現場で観察したところ、脛骨体の径が大きかったので、性別を男性と推定した。年齢は不明である。

保存処理

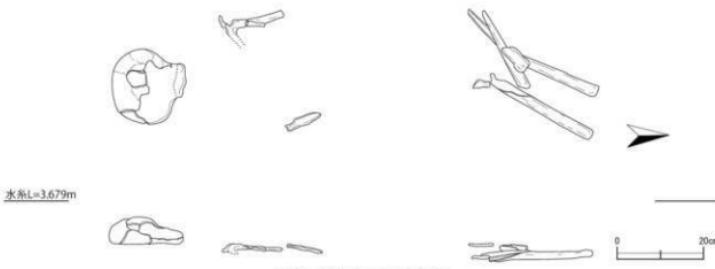


図2 SK3 出土人骨実測図

要 約

愛媛県松山市東垣生町に所在する東垣生八反地遺跡の発掘調査が松山外環状線道路余戸北吉田線整備事業に伴い2016（平成28）年におこなわれ、1基の墓（SK3）から人骨が出土した。保存状態は著しく悪かったが、現場でできる限り詳細な人類学的観察をおこない、以下の結果を得た。

- 1基の木棺墓から1体分の人骨が出土した。埋葬姿勢は仰臥で、頭位は南である。膝関節の様態は不明であるが、膝関節は両側とも緩く屈曲して少し立てていたものと思われる。
- この人骨は、考古学的所見から、中世（鎌倉時代）に属する人骨である。
- 年齢は不明であるが、男性被葬者と思われる。
- 頭蓋、肩甲骨、上腕骨、大腿骨、脛骨が残っていたが、いずれも遺存状態が著しく悪く、頭型や顔面の形態および四肢骨の形質的特徴は不明である。
- 木棺は、被葬者はその中央に置き、膝関節を伸展させることができるサイズであるが、被葬者は、体軸を木棺の対角線上に置き（斜めにし）、膝関節を屈曲して納棺されている。木棺と頭蓋の間に空間が存在しており、人骨の出土状況は、この空間に何かモノが置かれていたことを示唆している。
- 松山市に存在する古照遺跡、七反地遺跡、ウラショウジ遺跡からは四肢骨が細い人骨が出土しているが、余戸中ノ孝遺跡の周溝を伴った土塼墓からは四肢骨がかなり大きな男性人骨が出土しており、中世人としては稀な屈強な男性被葬者の存在も確認されている。徐々にではあるが、松山市域における中世人の形質的特徴が明らかになりつつある。しかし、研究に耐えうる資料は依然として少ない。今後の資料数の増加に期待したい。

謝 辞

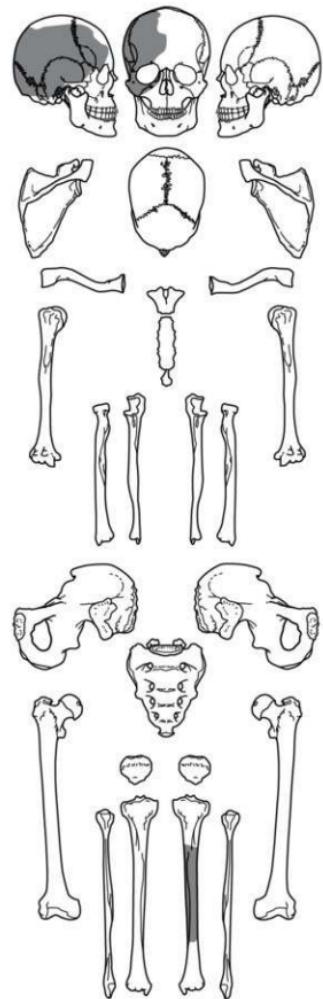
＜掲筆するにあたり、本研究と発表の機会を与えていただいた松山市埋蔵文化財センターの皆様に感謝致します。＞

【参考文献】

1. 松下真実・他、愛媛県松山市余戸中ノ孝遺跡出土の中世人骨。（投稿中）
2. 松下真実・他、愛媛県松山市余戸中ノ孝遺跡3次調査出土の中世人骨。（投稿中）
3. 松下孝幸、1998：愛媛県松山市古照遺跡出土の中世人骨。斎院・古照新松山空港道路建設に伴う埋蔵文化財調査報告書（遺物編）：532-538。
4. 松下孝幸、1999：愛媛県八幡浜市ウラショウジ遺跡出土の中世人骨。愛媛県歴史博物館研究紀要第4号：96-123。
5. 松下孝幸、2000：愛媛県松山市七反地遺跡出土の中世人骨。道ヶ谷古墳・池の奥道路・平田七反地遺跡（一般国道196号松山北条バイパス埋蔵文化財調査報告書Ⅱ）（埋蔵文化財発掘調査報告書第86集）：391-422。

* Masami MATSUSHITA、** Takayuki MATSUSHITA
The Organization of Anthropological Research [N P O 法人・人類学研究機構]

東垣生八反地遺跡出土人骨

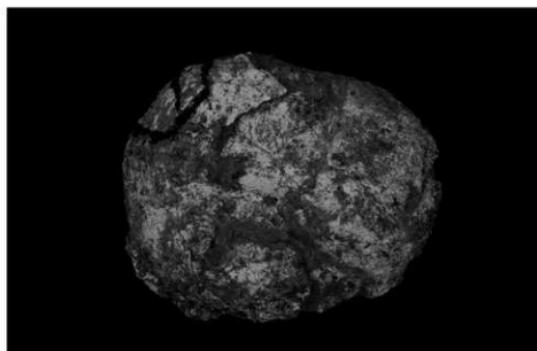


東垣生八反地遺跡 SK3 出土人骨（男性・年齢不明）

図3 人骨の残存図（アミかけ部分）

(Fig.2 Regions of Preservation of the skeleton. Shaded areas are preserved.)

保存処理



頭蓋側面 (Lateral view of the skull)



下肢骨 (Bones of the lower limb)

写真3 東垣生八反地遺跡 SK3 出土人骨 頭蓋骨・下肢骨 (男性・年齢不明)
(The skeleton SK-3 from the Higashihabuhattanzi site, male unknown age)

IV 平成 30 年度
普 及 啓 発 事 業

平成 30 年度 普及啓発事業

当センターは、松山市内における遺跡の発掘調査を行うとともに、出土遺物や記録資料などを整理・保管している。発掘調査終了後は、隨時現地説明会を開催するとともに発掘調査報告書を刊行することにより、広く一般に公開している。

また、附属の考古館は、地域文化の発展・向上並びに調査研究活動の振興を図ることを目的として設置されたものであり、展示会・講演会・体験学習を開催するなど、市民一人ひとりの生涯学習を支援しながら、埋蔵文化財保護の普及啓発に努めている。平成 30 年度は下記の各種事業を実施した。

- | | | |
|---------|-------------|---------------|
| 1. 展示活動 | 2. 教育普及活動 | 3. 収集・保管・育成活動 |
| 4. 出版活動 | 5. 資料の貸出・調査 | |

一方、埋蔵文化財センターに隣接して設置されている文化財情報館は、松山市内で出土した文化財資料を整理・保管し、その活用を図るとともに市民に開かれた歴史学習の場としての充実を図り、埋蔵文化財センター及び考古館と一体となって埋蔵文化財保護施設として有機的な活用を図ることを目的としている。

1. 展示活動

常設展示室は、「海を媒介とした文化交流の中継地点としての伊予文化の独自性と、そこに生きた人々の姿」を解明し、「見る」「聞く」「触れる」「考える」を展示の基本コンセプトとした立体的な展示を心がけている。展示品は、松山平野で出土した考古資料約 600 点である。

常設展示室に隣接した特別展示室では、4 回の展示会・特別展を開催した。加えて、ロビー等でスポット展示を開催した。

なお、考古館は新たに展示ケースを設置し、鎌倉時代～江戸時代の遺跡について紹介するコーナーを作り、常設展示室をリニューアルオープンした（平成 31 年 4 月 5 日）。市民の方に史跡松山城跡など中世～近世の遺跡から出土している考古資料が常に見学できる環境をつくることで、松山市の歴史についてより詳しく伝えられるようになった。

（1）四国地区埋蔵文化財センター発掘へんろ展「四国の彩り」（表 1-1、写真 1・2）

この展示会は、四国内の埋蔵文化財センター 5 団体が合同で開催し、平成 27 年度から 4 か年計画で実施している巡回展で、平成 30 年度は 4 年目にあたる。参加の 5 団体が発掘調査して出土した遺物を持ち寄り、今までに蓄積された情報を提供・交換することによって、観覧者の方々に埋蔵文化財の重要性を認識していただこうというものである。今年度は「四国の彩り」をテーマに展示了した。展示会・講演会等の参加者は延べ 5,329 人であった。

（2）愛媛県・松山市連携事業「古代いよ発掘まつり」

展示会「掘ったぞな松山 2018」・「いにしへのえひめ」（表 1-2、写真 3・4）

この展示会は、前年度（平成 29 年度）松山市内で発掘調査した遺跡やその出土品、作成した報告書の成果をいち早く市民に紹介することを通じて、松山の古代史や埋蔵文化財への興味・関心を深める機会の提供を目的に、公益財團法人愛媛県埋蔵文化財センターと当センターが連携して開催したものである。

普及啓発事業

松山市内の発掘調査成果の展示会「掘ったぞな松山2018」と、愛媛県内の発掘調査成果の展示会「いにしへのえひめ」を開催した。それぞれ展示会では約250点、約80点の出土品を展示し、期間中には発掘調査の詳しい説明をする報告会を計4回実施し、専門研究者による講演会は計2回実施した。展示会・講演会等の参加者は延べ6,092人であった。

(3) 特別展「松山の至宝～東京国立博物館所蔵品・里帰り展～」・「松山の至宝～祈りの器2～」(表1-3・4、写真6～11)

特別展は、考古館最大の事業であり、県内外の貴重な遺物を借用し、系統的に紹介するものである。

今年度は、東京国立博物館や奈良国立博物館などに所蔵されている松山ゆかりの考古資料や国重要文化財を含め、県内外の重要な考古資料を2回にわけて展示した。これは、東京国立博物館との相互貸借事業が決定し、通常2ヶ月程度しか借用できない東京国立博物館所蔵品を相互貸借事業で半年間の長期間借用することができたためで、テーマを替えて展示会を2回企画し、市民の方々へ観覧の機会を提供できた。

前期展では、「松山の至宝～東京国立博物館所蔵品・里帰り展～」として11月～1月に東京国立博物館所蔵の借用資料全43点を展示し、後期展では「松山の至宝～祈りの器2～」と題し、2月～3月に東京国立博物館所蔵品の他に、奈良国立博物館所蔵品や国重要文化財なども展示了。開催にあわせて、展示会ごとに講演会(2回・1回)、展示解説会(各2回)、ギャラリートーク(3回・2回)や古代体験イベント(各1回)を開催し、展示会をより楽しんでもらう企画を実施した結果、参加者は延べ4,372人(前期1,592人・後期2,780人)であった。

(4) 「地域のたから再発見」(表1-9)

本事業は、地域の宝である遺跡や発掘出土品を知ることで、「誇れる」地域の歴史や文化を伝え・育むことを目的とし、地域の活性化に寄与するために、公民館等での地域からの出土品の展示と対話型の勉強会を実施しているものである。今年度は、星岡公民館・蒸鶴公民館では展示会や解説会を開催し、味生公民館と味生小学校、味生第二小学校との連携事業では地域の旧庄屋秀野家を見学、中島地区では文化祭にて展示・体験教室を実施した。今年度は特に北条地区の公民館等(北条中央会館、北条南中学校)と連携し、出土品の展示や遺跡の解説、石勾玉づくりを行った。参加者は延べ723人であった。

(5) 松山市考古館ロビー展(表1-5～8・写真12)

来館者に対してより多くの情報を提供するため、考古館のロビー等で「考古館・楽しかった2017展」(1回)、「発掘情報展」(6回)、「大連古代蓮展」(1回)を開催した。

2. 教育普及活動

教育普及活動としては、市民を対象に埋蔵文化財保護の普及啓発を目的とした講演会・体験学習・考古学講座などを開催し、職員の資質・技術向上を目的とした研修等も実施した。

(1) 講演会・展示解説会・考古学講座・演奏会(表2、写真20)

展示会に連関した展示解説会・報告会・講演会や筝コンサートを計74回開催し、延べ2,374人の参加者があった。

(2) わかりやすい考古学講座（表2－5、写真13）

当講座は、考古学や松山の歴史に興味と関心をもっていただくことを目的に、「地域のたから再発見・古代史セミナー」事業と連携し実施している。今年度は、主に北条地区を対象とし、地域内の主要な遺跡をテーマに掲げ、当センター職員・市教育委員会職員がスライドや实物で詳しく解説した。講座は6月以降、各月ごとに計10回実施し、延べ551人の参加があった。

(3) はじめての考古学教室（表2－6、写真14）

当教室は、主に主婦や高齢者層に松山の歴史に興味と関心をもって頂くことを目的に、平日に1回90分、5週連続で年2回実施した。講師は職員が務め、スライドや出土品などを用いて考古学や発掘調査等の基礎的な用語を解説した。教室は8～9月と11～12月に計10回実施し、延べ136人の参加があった。

(4) 古代体験教室（表3、写真15～19）

古代の「もの作り」を体験することで、古代人の苦労や知恵を学ぶことを目的とし、「石勾玉を作ろう」、「ガラス勾玉を作ろう」、「再生琥珀勾玉を作ろう」、「マーリングラスづくり」、「古代の技術を学ぼう～合金編～」、「古代の技術を学ぼう～石こう編～」、「ふんどう君ペンダント作り」、「染物体験」、「発掘体験」、「ねんどで土器づくり」、「火おこし体験」の教室を実施し、計7,172人の参加があった。中でも8月11日（まつやま子ども週間中）には、複数の体験ができる「古代体験まつり」を開催し、延べ882人の参加があった。

(5) 遺跡見学会（表4、写真5・21）

県市連携事業で歴史バッツアー3回（内1回は親子考古学講座と連動して実施）、わかりやすい考古学講座で3回実施し、延べ206人の参加があった。

(6) 体験学習（団体来館）（表5）

96件、延べ3,719人の来館があり、常設展示・収蔵庫・復元室等の施設見学のほか、火おこし体験や古代衣装の着付け体験を行った。

(7) 発掘調査現地説明会（表6、写真22）

遺跡の発掘現場見学を通して、市民に埋蔵文化財への興味や関心を深めてもらうために開催するものである。持田本村遺跡2次調査と松山城三之丸跡21次調査と別府遺跡4次調査の計3か所で現地説明会を実施し、延べ425人の参加者がいた。

(8) 職場体験（表7）

中学校・高等学校・大学等で教育の一環として実施されている「職場体験学習」や「インターンシップ」を受託している。中学校3校より34人の生徒を受け入れ（延べ11日間）、生徒は埋蔵文化財の発掘調査や出土品整理の業務を学び、考古館の教育普及業務等を体験した。

(9) 出前考古学教室（表8）

「総合的な学習の時間」、「選択教科社会科の授業」、「文化祭」等の利用では、各学校からの要請を受けて、小・中・高等学校や公民館に赴き、出前考古学教室を実施している（57団体83件7,951人）。また、館外での主催事業も16件で1,354人の参加者があった。今年度の館外事業と出前教室は計99回実施し、参加者数は9,305人であった。

普及啓発事業

(10) 職員研修・会議（表9）

文化庁主催の「公開承認施設担当者会議」をはじめとして、愛媛県博物館協会等の研修会や会議に参加するとともに、調査指導等に際して招聘した外部有識者による講義等の所内研修を実施し、職員の資質ならびに技術の向上と業務の円滑な推進を図っている。このほか、公益財團法人愛媛県埋蔵文化財センターとの合同研修会を2回実施した。職員研修等は13回、参加者数は116人であった。

3. 収集・保管・育成活動

(1) 大連古代蓮の育成（表1-7、写真24）

平成10年4月に松山市農業指導センターから古代蓮の株を譲り受け、育成している。これは、平成8年1月に中国大連市の観光訪問団から松山市に寄贈された、大連市の遺跡から出土した千年前の蓮の種子である。当年度は6月3日～8月9日までの間に165輪開花した。

(2) 古代米の育成（表1-8、写真23）

考古館の玄関前で赤米を育成した。

4. 出版活動（表10・11）

考古館主催の展示会・講演会などを開催するに先立ち、多くの観覧者を募るために展示会5件でポスター・チラシ、展示会の解説書パンフレット2冊を作成した。また、発掘調査の成果を公開する松山市埋蔵文化財調査年報1冊と発掘調査報告書4冊を刊行した。

5. 資料の貸出・調査（表12・13）

各博物館や教育委員会主催事業への出展や、研究者からの資料調査の要望などに応じ、貸出16件と調査11件の利用があった。

6. 考古館月別入館者数調（表14）

表1 展示会一覧

(1)

No.	展示会名	期間	会場	観覧者 / 参加者数
1	第4回 四国地区埋蔵文化財センター 発掘へんろ展「四国の彩り」	平成30年4月28日(土)～7月8日(日)	特別展示室	5329
2	愛媛県・松山市連携事業 「古代いよい周縁まつり」	①「漬ったぞな松山2018」 平成30年7月14日(土)～9月2日(日)	特別展示室	3,059
		②「いにしへのえひめ」 平成30年9月7日(金)～11月11日(日)		2,075
3	特別展 松山の歴史 「東京国立博物館所蔵品・重複り展」	平成30年11月17日(土)～平成31年1月27日(日)	特別展示室	1,153
4	特別展 松山の歴史 「折りの部姿」	平成31年2月2日(土)～3月10日(日)	特別展示室	2,174
5	ロビー展 「考古館・楽しかった2017展」	平成30年4月1日(日)～4月23日(日)	ロビー	1,051 15,395

普及啓発事業

展示会一覧

(2)

No.	展示会名	期間	会場	観覧者/参加者数
6	ロビー展 「発掘情報帳」	① 磐城三之丸跡 20周年記念 平成30年4月1日(日)～4月27日(金) ② 文字に見る古代の松山 平成30年4月1日(日)～4月22日(日) ③ 石井本村道路 20周年 平成30年4月28日(土)～10月27日(土) ④ 磐城三之丸跡 21周年記念 平成30年5月1日(日)～11月11日(日) ⑤ 布引道場 20周年 平成30年11月13日(火)～平成31年3月12日(火) ⑥ 久米郡の役所と住居敷地 平成31年3月13日(木)～3月24日(日)	ロビー	1,051 287 9,068 383 3,729 177
				15,396
7	ロビー展 「大河古代遺の育成と展示会」	平成30年4月1日(日)～平成31年3月24日(日)	有明：考古館主開催 展示会：ロビー展示	19,296
8	ロビー展 「古代米の育成」	平成30年5月17日(水)～平成31年10月18日(水)	考古館主開催	—
9	『地域のたから再発見』	① 「素麿・古代史セミナー」 5月18日(金) ② 「北条・古代史セミナー」 6月25日(土) ③ 「北条・古代史セミナー」 10月28日(日) ④ 「星羅・古代史セミナー」 11月18日(日) ⑤ 「味津・古代史セミナー」 ①平成31年2月15日(日) ⑥ 「味津・古代史セミナー」 ② 2月19日(火) ⑦ 「中島地区・古代史セミナー」 3月3日(日)	素麿公民館 北条プロトクル推進研究大会 北条中学校 星羅公民館 秀野家(味津第一・二・味津公民館) 秀野家(味津第一・二・味津公民館) 久米小学校	80 90 38 137 192 136 50
				723
				合計 50906

表2 教育普及活動一覧(考古学講座・講演会等)

(1)

No.	事業名	実施日	会場	講師・報告者(敬称略)	聴講者数(人)	
1	第4回磐城地区埋蔵文化財センター 発酵へんし展「昭和の取り」	① 解説会 平成30年4月28日(土) ② 解説会 6月16日(土)	講堂	磐城考古会館 愛知県埋蔵文化財センター 松本市教育委員会 愛知県埋蔵文化財センター 他の愛知県埋蔵文化財センター	松本謙一 石賀弘幸 山内英樹 多田仁・百瀬久士 藤川智之	42 46 — 53 195
		講演会 5月19日(土)	展示室	6人 ②4人 11人 ②2人 15人 15人 ②20人 15人 ②6人	10 3 5 25 11	
		① ギャラリートーク 4月29日(日) ② ギャラリートーク 5月26日(土) ③ ギャラリートーク 5月27日(日) ④ ギャラリートーク 6月23日(土) ⑤ ギャラリートーク 6月24日(日)	展示室	6人 11人 15人 15人 ②20人 15人 ②6人	4人 3 5 25 11	
		⑥ 報告会 7月28日(土) ⑦ 報告会 8月25日(土) 講演会 7月14日(土)	講堂	舟江ヒタ 舟江ヒタ 土井ヶ浜道助・人類学ミージアム 松下孝幸 石賀弘幸 百瀬久士 岡山市古代備文化センター	相原浩二・河野史知 作田一耕・橋本雄一 53 295 44 23 55	
		⑧ 報告会 9月8日(土) ⑨ 報告会 10月20日(土)	講堂	愛知県埋蔵文化財センター・調査員 愛知県埋蔵文化財センター・調査員 石賀弘幸 百瀬久士 宇加山雅	53 44 23 55	
		講演会 9月29日(土)	講堂	岡山市古代備文化センター	宇加山雅	
		展示説明会 11月17日(土)	磐城考古館	小玉圭紀子	10	
		講演会 12月2日(日)	講堂	東京国立博物館	50	
		講演会 平成31年1月19日(土)	講堂	愛知県立ユーニバーサル・ミュージアム准教授 青田広	49	
		① 学芸員のみどころ案内 平成30年11月23日(金)	展示室	①10人 ②2人	12 135	
3	特別展 猫山の宝室 「東京国立博物館所蔵品・星羅り展」	② 学芸員のみどころ案内 12月23日(日)	パッケージード	①3人 ②5人	8	
		③ 学芸員のみどころ案内 平成31年1月26日(土)	パッケージード	①3人 ②1人	6	
		① 学芸員のみどころ案内 平成31年2月3日(日)	展示室	①3人 ②12人	15	
		② 学芸員のみどころ案内 2月23日(土)	展示室	①4人 ②1人	5 130	
		③ 展示解説会 2月9日(土)	講堂・展示室	松本市考古館 小玉圭紀子	27	
		④ 展示解説会 3月9日(土)	講堂・展示室	松本市考古館 小玉圭紀子	24	
		講演会 3月3日(土)	講堂	京都府立大学文学部教授 齋田哲郎	59	
4	特別展 松山の宝室 「折りの器2」	① 学芸員のみどころ案内 平成31年2月3日(日)	展示室	—	—	
		② 学芸員のみどころ案内 2月23日(土)	展示室	—	—	

普及啓発事業

教育普及活動一覧（考古学講座・講演会等）

(2)

No.	事業名	実施日	会場	講師・報告者（敬称略）	聴講者数（人）
5	わかりやすい考古学講座 「発掘 伝山の道跡」	平成 30 年 6 月 2 日 (土)	松山市考古館	梅木謙一	20
		7 月 21 日 (土)	講堂	小玉幸紀子	60
		8 月 4 日 (土)	松山市考古館	高木春樹	57
		9 月 1 日 (土)	松山市教育委員会	水本定児・高尾和長・宮内信一	60
		10 月 6 日 (土)	当センター	作田一耕・宮内信一	59
		11 月 11 日 (土)	現地見学	当センター	42
		12 月 1 日 (土)	講堂	山内美樹	59
		平成 31 年 1 月 12 日 (土)	松山市考古館	吉岡和哉	42
		2 月 2 日 (土)	講堂	松山市教育委員会	56
		3 月 2 日 (土)	現地見学	松山市教育委員会	46
6	はじめての考古学教室 「伝山の歴史を学ぼう」	平成 30 年 8 月 17 日 (金)	松山市考古館	梅木謙一	15
		8 月 24 日 (金)	講堂	吉岡和哉	14
		8 月 31 日 (金)	松山市考古館	小玉幸紀子	71
		9 月 7 日 (金)	松山市考古館	梅木謙一	16
		9 月 14 日 (金)	松山市考古館	水本定児	15
		平成 30 年 11 月 21 日 (水)	松山市考古館	小玉幸紀子	12
		11 月 28 日 (水)	講堂	当センター	12
		12 月 5 日 (水)	松山市考古館	当センター	12
		12 月 12 日 (水)	松山市考古館	山本謙一	15
		12 月 19 日 (水)	松山市考古館	吉岡和哉・梅木謙一	14
7	ロビーコンサート 學コンサート	第 127 回 平成 30 年 4 月 28 日 (土)	高畠等音	(大洲市立中学校 1 年生)	33
		第 128 回	野村智弘	(祇園町立祇園町中学校 1 年生)	8
		5 月 27 日 (日)	大野尚乃	(東温市立川之江中学校 1 年生)	23
		6 月 2 日 (土)	高畠等音	(松山市立久谷中学校 3 年生)	7
		6 月 10 日 (日)	高畠等音	(大洲市立中学校 1 年生)	28
		7 月 14 日 (土)	エントラント	ぐんに子ども邦楽教室・居相子・もお年教室	29
		7 月 21 日 (土)	武田沙也加	(松山市立久谷中学校 2 年生)	28
		8 月 12 日 (土)	内藤雅子	(正承邦楽会・脚筋)	13
		8 月 19 日 (土)	大野尚乃	(東温市立川之江中学校 1 年生)	24
		9 月 13 日 (土)	高畠等音	(正承邦楽会・座間範)	20
		9 月 20 日 (土)	松山都華	(正承邦楽会・源助範)	20
		9 月 27 日 (土)	高畠等音	くに子・ども邦楽教室	34
		10 月 4 日 (土)	講堂・道場展示		80
		10 月 11 日 (土)	講堂・道場展示		90
8	「地域のたから再発見」 「古代史セミナー」	平成 30 年 5 月 18 日 (金)	北島有理子		38
		8 月 25 日 (土)	北島有理子		38
		10 月 28 日 (日)	北島有理子		137
		11 月 18 日 (日)	某山田の原	秀野家見立・美内	723
		平成 31 年 2 月 15 日 (土)	秀野家見立・美内	192	
		2 月 19 日 (土)	秀野家見立・美内	136	
		3 月 3 日 (日)	中路地区	石勾玉 (13 人)・側板 (2 人)・マリンダグラス (5 人)・ベンダント・古代墳・土器 (ズル・ぬる)	50
					合計 74 回 2,374

表3 教育普及活動一覧（古代体験教室）

(1)

No.	事業名	日 時	会場・団体名	参加者数 (人)
1	石勾玉を作ろう	平成 30 年 4 月 27 日 (金)	講義・道場展示	132
		4 月 28 日 (土)	考古館講堂	49
		4 月 29 日 (日)	考古館講堂	79
		4 月 30 日 (月)	考古館講堂	63
		5 月 3 日 (火)	考古館講堂	26
		5 月 4 日 (水)	考古館講堂	36
		5 月 5 日 (木)	考古館講堂	27
		5 月 6 日 (金)	考古館講堂	37
		5 月 26 日 (土)	考古館講堂	25
		5 月 27 日 (日)	考古館講堂	14
		5 月 27 日 (日)	羽根木アーティザンズ	9
		6 月 8 日 (金)	デイサービスコンシェリナ	13
		6 月 23 日 (土)	考古館講堂	57
		6 月 24 日 (日)	考古館講堂	72
		7 月 21 日 (土)	放課後等デイサービスカラオカ	9
		8 月 10 日 (金)	百合花重クラブ	50

普及啓発事業

教育普及活動一覧（古代体験教室）

No.	事業名	日 時	会場・団体名	(2)	
				参加者数 人	
1 石勾玉を作ろう	来館	㉗ 8月11日(土) 10:00～16:00	古代体験まつり	114	
		㉙ 9月29日(土) 10:00～16:00	浅淨室	2	
		㉚ 10月2日(火) 9:30～15:45	新田青雲中等教育学校	52	
		㉛ 10月19日(金) 10:00～16:00	久万高島町立久万小学校	21	
		㉜ 10月20日(土) 10:00～16:00	浅淨室	2	
	出張	㉝ 11月23日(㊁) 10:00～16:00	伊予市教育委員会・ペント三 考古講座会	126	130
		平成31年1月12日(土) 12:30～15:00	北津幡町グリーンビレッジららぽーと	10	
		㉞ 2月9日(土) 13:00～15:00	放課後等々イザービスピーティー パンたかおか	10	
		㉟ 2月16日(土) 10:00～16:00	伊予市教育委員会・ペント三 考古講座会	215	
		㉛ 2月28日(木) 9:00～13:00	松山市立白谷小学校	59	
2 ガラス勾玉を作ろう	来館	① 4月29日(日) 14:00～15:30	パークナーハウスかとれあ	18	
		② 6月14日(㊁) 15:05～15:30	松山市立みどり小学校(歴史クラブ)	19	
		③ 7月24日(火) 13:30～15:00	北条未葉城クラブ	15	
		④ 8月1日(火) 13:30～15:00	たちばな児童クラブ	67	
		⑤ 8月8日(火) 13:30～15:00	城生第一児童クラブ	88	
		⑥ 8月8日(火) 15:00～16:00	清水小学校放課後子ども教室	25	
		⑦ 8月29日(水) 10:00～11:30	久米児童クラブ	130	
		⑧ 8月29日(水) 10:00～11:00	浅瀬原サンジョッククラブ	26	
	出張	㉙ 8月31日(金) 13:30～15:30	浮穴児童クラブ	43	
		㉚ 9月28日(金) 9:00～11:20	松山市立中学校	32	66
		㉛ 10月28日(日) 9:20～11:30	地域のたらぬ再発見「北条・古 代史セミナー」北条南中	28	
		㉞ 11月3日(土) 8:20～10:45	東温市立豊富中学校	20	
		㉟ 11月3日(土) 8:25～11:00	松山市立久谷中学校	24	
		㉛ 11月3日(土) 9:00～11:20	松山市立西中学校	23	
		㉜ 11月3日(土) 11:00～12:00	松前町立畠中学校	30	
		㉟ 11月3日(土) 12:30～14:30	松山市立中学校	26	
3 再生焼成勾玉を作ろう	来館	㉛ 11月17日(土) 10:00～12:00	愛媛県伝統教育センター	27	
		㉜ 12月11日(火) 14:00～15:30	放課後子ども教室	26	
		平成31年3月3日(日) 11:00～14:30	地域のたらぬ再発見「中島地区・ 古代史セミナー」	13	
4 マリングラスづくり	来館	① 8月22日(水) 9:30～12:00		20	
		② 8月22日(水) 13:30～16:00	考古組講堂・情報館	15	41
		③ 8月30日(木) 9:30～12:00		6	
5 古代の技術を学ぼう —合金業—	来館	① 9月29日(土) 10:00～16:00	浅淨室	3	
		② 10月20日(土) 10:00～16:00		5	8
6 銅鏡	来館	㉛ 平成30年8月23日(土) 10:00～16:00	考古組講堂	44	
		㉜ 8月11日(土) 10:00～16:00	古代体験まつり	67	237
		㉟ 8月28日(火) 13:15～15:00	エンゼル学園	16	
		㉛ 平成31年2月16日(土) 10:00～16:00	伊予市教育委員会・ペント三 考古講座会	108	
		㉜ 3月3日(日) 11:00～14:30	地域のたらぬ再発見「中島地区・ 古代史セミナー」	5	
	出張	㉛ 平成30年8月11日(土) 10:00～16:00	古代体験まつり	57	
		㉜ 8月25日(土) 11:00～12:30	放課後等々イザービスピーティー パンたかおか	5	
		㉞ 11月23日(金) 10:00～16:00	伊予市教育委員会・ペント三 考古講座会	55	228
		㉟ 平成31年2月16日(土) 10:00～16:00	伊予市教育委員会・ペント三 考古講座会	88	
		㉛ 3月10日(日) 12:00～13:30	北津幡町グリーンビレッジららぽーと	10	
7 古代の技術を学ぼう —合金業—	来館	㉜ 3月30日(土) 13:30～15:30	北津幡町グリーンビレッジららぽーと	13	
		㉛ 平成30年8月1日(木) 13:30～15:00	たちばな児童クラブ	25	
		㉛ 平成31年2月15日(金) 15:05～15:50	松山市立みどり小学校	18	
		㉛ 2月24日(土) 10:00～15:30	愛媛県伝統教育センター・ふれあ いフェス!	50	95
		㉛ 3月3日(日) 11:00～14:30	古代史セミナー	2	
	銅鏡	㉛ 8月11日(土) 10:00～16:00	古代体験まつり	10	
		㉛ 11月23日(金) 10:00～16:00	伊予市教育委員会・ペント三 考古講座会	24	39
		㉛ 平成31年2月16日(土) 10:00～16:00	伊予市教育委員会・ペント三 考古講座会	25	
	出張	㉛ 8月2日(木) 10:00～12:00	伊予市教育委員会・ペント三 公民館	18	

普及啓発事業

教育普及活動一覧（古代体験教室）

(3)

No.	事業名		日 時	会場・団体名	参加者数 (人)
5	古代の技術を学ぼう ～合金編～	ミニ鋼錆 東館	① 8月11日(土) 10:00～16:00 ② 11月23日(金) 10:00～16:00 ③ 平成31年2月16日(土) 10:00～16:00	古代体験まつり 特別企画古代体験イベント② 考古館講堂 特別企画古代体験イベント② 考古館講堂	9 11 16
		個人	① 4月(2件) ② 5月(4件) ③ 6月(6件) ④ 7月(4件) ⑤ 8月(8件) ⑥ 古代体験まつり15人 ⑦ 9月(8件) ⑧ 10月(3件) ⑨ 11月(特別展イベント5人) ⑩ 12月	考古館エントランス	13 6 9 10 15 23 17
		東館	⑪ 平成31年1月(1件) ⑫ 2月(4件) ⑬ 3月(1件)		123
6	ふんどう君ベンダート 作り	団体	① 平成30年5月17日(火) 13:10～14:10 ② 5月18日(水) 13:00～14:00 ③ 5月22日(日) 13:00～14:00 ④ 5月23日(火) 13:00～14:00 ⑤ 5月24日(水) 13:00～14:00 ⑥ 5月25日(木) 13:00～14:00 ⑦ 7月10日(火) 11:00～12:00 ⑧ 8月25日(土) 11:00～12:30 ⑨ 8月28日(火) 13:15～15:00	みどり園 みどり園 みどり園 みどり園 みどり園 みどり園 リハブライドかどた 就職後等ガイダンスビーター パンたかおか エンゼル学園	5 6 5 4 5 6 2 3 20
		出前 団体	⑩ 7月27日(金) 14:00～15:00 ⑪ 8月 8日(火) 10:00～11:00 ⑫ 平成31年2月24日(土) 10:00～15:30	みどり園クラブルーム 唯生第一児童クラブ 愛媛県立農業センターふれあいフェスティ	35 54 50
7	分銅形土製品	東館 個人	平成30年12月8日(金)		1
	西		① 7月31日(火) 10:00～12:00	考古館講堂	34
8	染物体験	東館	② 8月11日(土) 10:00～16:00 ③ 7月31日(火) 13:30～15:30 ④ 8月 2日(木) 10:00～12:00	古代体験まつり 考古館講堂 考古館講堂	100 28 26
	かんたん染物				188
	藍				
	キハダ				
9	発酵体験	東館	8月11日(土) 10:00～16:00	古代体験まつり	25
10	ねんごで土器作り	東館	① 8月11日(土) 10:00～16:00 ② 11月23日(金) 10:00～16:00 ③ 平成31年2月16日(土) 10:00～16:00	古代体験まつり 特別企画古代体験イベント② 考古館講堂 特別企画古代体験イベント② 考古館講堂	85 66 84
11	わくわく拓本体験	東館	① 8月11日(土) 10:00～16:00 ② 8月28日(火) 13:15～15:00	古代体験まつり エンゼル学園	24 33
		個人	① 4月(12件) ② 5月(6件) ③ 6月(2件) ④ 7月(3件) ⑤ 8月(5件) ⑥ 8月11日(古代体験まつり47組) ⑦ 9月(2件) ⑧ 10月(2件) ⑨ 11月(5件) ⑩ 12月(3件) ⑪ 平成31年1月(1件) ⑫ 2月(0件) ⑬ 3月(0件)	考古館 野外	37 24 6 13 27 120 10 281
12	火おこし体験	東館	⑭ 平成30年4月12日(木) 9:00～11:30 ⑮ 4月13日(金) 9:00～12:00 ⑯ 4月18日(水) 9:00～11:30	松山市立株生第二小学校 松山市立株生小学校 松山市立新玉小学校	102 151 85

教育普及活動一覧（古代体験教室）

(4)

No.	事業名	日 時	会場・団体名	参加者数 (人)
12 火おこし体験	来館 団体	① 4月 26日(木) 10:00~11:30	松前町立岡田中学校	82
		⑤ 4月 27日(金) 10:00~14:30	酒美平城中等教育学校	132
		⑥ 5月 2日(水) 9:30~11:30	松山市立たちはら小学校	79
		⑦ 5月10日(木) 9:00~12:00	松山市立酒酒井小学校	148
		⑧ 6月 1日(金) 10:00~12:00	東温市立吉井小学校	120
		⑨ 7月 20日(金) 13:30~14:30	愛光学園(台湾幼稚校)	30
		⑩ 7月 28日(土) 11:00~12:30	後藤後ゲイサービス等みどり	13
		⑪ 10月 2日(火) 9:30~15:45	新田青済等教育学校	56
		⑫ 10月31日(水) 13:00~14:15	今治市立今治小学校	22
		⑬ 11月 1日(木) 12:30~14:30	今治市立常盤小学校	88
		⑭ 11月 2日(金) 9:30~11:00	今治市立愛媛小学校	27
		⑮ 11月 15日(木) 9:00~11:30	松山市立通町小学校	130
		⑯ 平成31年2月 20日(木) 9:45~12:00	東温市立若狭井井小学校	90 234
		⑰ 2月 26日(火) 9:00~12:00	松山市立さくら中学校	127
		⑲ 2月 26日(火) 10:30~12:00	松山市立久松小学校	120
		⑳ 2月 28日(木) 9:00~12:00	松山市立伊方小学校	62
		㉑ 3月 5日(火) 9:30~12:00	松山市立みどり小学校	107
		㉒ 3月 5日(火) 9:30~11:00	松山市立又野小学校	70
		㉓ 3月 6日(水) 9:00~12:45	松山市立星葉小学校	104
		㉔ 3月 8日(金) 9:30~11:40	松山市立森葉小学校	88
		㉕ 3月 8日(金) 10:10~11:40	東温市立波之上小学校	95
		㉖ 3月 8日(金) 13:00~15:00	松山市立久米小学校	92
		㉗ 3月 8日(金) 10:00~11:00	喜多郡牛町立石子中学校	87
		㉘ 3月30日(土) 13:30~15:30	西瀬戸等々イケヤセビスらんらんランチ	18
		㉙ 3月31日(日) 11:00~13:00	西瀬戸町役場	18
	出前 団体	㉚ 平成30年4月 12日(木) 13:30~15:45	松山市立壱原小学校	82
		㉛ 4月 19日(木) 14:00~15:40	松山市立正岡小学校	27
		㉜ 4月 23日(月) 10:45~12:25	松山市立中島小学校	11
		㉝ 4月 26日(木) 10:20~11:30	松山市立豊江小学校	105
		㉞ 5月 17日(木) 10:30~15:35	松山市立指音小学校	94
		㉟ 5月 24日(木) 8:30~10:30	松山市立重田小学校	73
		㉟ 5月 24日(木) 15:05~15:50	松山市立みどり小学校	20
		㉛ 7月 5日(木) 8:30~10:30	松山市立鷺江小学校	123
		㉜ 7月 10日(火) 9:30~14:10	私立新田高等学校	138 1028
		㉝ 7月 13日(金) 9:30~11:30	私立新田高等学校	76
		㉞ 7月 18日(水) 11:50~12:40	私立新田高等学校	36
		㉟ 7月 22日(日) 9:30~10:30	みどりの学校おひのの会	60
		㉛ 7月 24日(火) 10:00~11:00	中庭賀子しま会	37
		㉜ 10月 16日(火) 10:00~11:30	非営利公認(素勤小学校3年生)	23
		㉝ 10月 23日(火) 10:00~11:30	非営利公認(素勤小学校3年生)	15
		㉞ 11月 11日(日) 11:00~12:30	明治通町・西瀬戸(環境説明会)	15
		㉟ 12月 24日(月) 8:30~14:00	長楽、市民大ホールフレスコ	931
				総合計 7,172

表4 教育普及活動一覧（遺跡見学会）

No.	事業名	日 時	内 容	参加者数 (人)
1	愛媛県・松山古連携事業	① 平成30年 8月 3日(金) 9:00~17:00	考古館・今治城・今治市内で発掘体験	19
2	「懐かたぞな松山2018」歴史パズルアート	② 8月 19日(日) 9:00~17:00	考古館・愛媛県歴史文化博物館・岩谷道跡	22
3		③ 9月 15日(土) 9:00~17:00	考古館・淡佐森城跡・芝原忍男記念館	35
4	わかりやすい考古学講座	④ 11月 11日(土) 10:00~11:30	別所道跡4次調査	42
5	「愛媛松山の遺跡跡」現地説明会	⑤ 平成31年1月 12日(土) 10:00~11:30	北条ふるさと館	42
6		⑥ 3月 2日(土) 10:00~11:30	松山城三之丸跡	46
				合計 306

普及啓発事業

表5 教育普及活動一覧（体験学習・主催事業来館・団体来館）

No.	学校名・団体名	学 年	実施日	内 容	参加者数 (人)
1	発掘へんく屋「西宮の形り」展示解説会①	—	平成30年4月28日(土)	展示解説会	42
2	学コンサート	—	4月28日(土) 第127回	—	33
3	発掘へんく屋「西宮の形り」 古代体験教室「石勾玉づくり」①	—	4月28日(土)	石勾玉(49人)	49
4	発掘へんく屋「西宮の形り」ギフトカード①	—	4月29日(日)	①6人・②4人	10
5	発掘へんく屋「西宮の形り」 古代体験教室「石勾玉づくり」②	—	4月29日(日)	石勾玉(79人)	79
6	発掘へんく屋「西宮の形り」③	—	4月30日(月)	石勾玉(63人)	63
7	発掘へんく屋「西宮の形り」 古代体験教室「石勾玉づくり」④	—	5月 3日(木)	石勾玉(26人)	26
8	発掘へんく屋「西宮の形り」 古代体験教室「石勾玉づくり」⑤	—	5月 4日(金)	石勾玉(36人)	36
9	発掘へんく屋「西宮の形り」 古代体験教室「石勾玉づくり」⑥	—	5月 5日(土)	石勾玉(27人)	27
10	発掘へんく屋「西宮の形り」 古代体験教室「石勾玉づくり」⑦	—	5月 6日(日)	石勾玉(37人)	37
11	発掘へんく屋「西宮の形り」講演会	—	5月19日(土)	講演会	53
12	発掘へんく屋「西宮の形り」 古代体験教室「石勾玉づくり」⑧	—	5月26日(土)	石勾玉(25人)	25
13	発掘へんく屋「西宮の形り」ギフトカード②	—	5月26日(土)	①1人・②2人	3
14	発掘へんく屋「西宮の形り」 古代体験教室「石勾玉づくり」⑨	—	5月27日(日)	石勾玉(14人)	14
15	発掘へんく屋「西宮の形り」ギフトカード③	—	5月27日(日)	①0人・②5人	5
16	学コンサート	—	5月27日(日) 第128回	—	8
17	わかりやすい考古学講座①	—	6月 2日(土)	北条の道路と発掘調査の概要	70
18	学コンサート	—	6月 2日(土) 第129回	—	23
19	発掘へんく屋「西宮の形り」展示解説会②	—	6月26日(土)	展示解説会	46
20	発掘へんく屋「西宮の形り」 古代体験教室「石勾玉づくり」⑩	—	6月26日(土)	石勾玉(57人)・マリングラス(44人)	101
21	発掘へんく屋「西宮の形り」ギフトカード④	—	6月29日(火)	①5人・②20人	25
22	発掘へんく屋「西宮の形り」 古代体験教室「石勾玉づくり」⑪	—	6月29日(火)	石勾玉(72人)	72
23	発掘へんく屋「西宮の形り」ギフトカード⑤	—	6月29日(火)	①5人・②6人	11
24	愛媛県・松山市埋蔵文化財 「埋ったぞな松山2018」講演会	—	7月14日(土)	「出土人骨は語る～ホネからわかること～」	53
25	学コンサート	—	7月14日(土) 第130回	—	7
26	わかりやすい考古学講座②	—	7月21日(土)	「松山・北条と都（奈良・京都）本郷などから」	60
27	愛媛県・松山市埋蔵文化財 「埋ったぞな松山2018」報告会①	—	7月24日(土)	祝谷大塚ヶ田古跡8次発掘	33
28	古代体験教室「動物体験・西～」	—	7月30日(火)	動物体験～青～(34人)	34
29	古代体験教室「動物体験・藍～」	—	7月31日(火)	動物体験～藍～(28人)	28
30	古代体験教室「動物体験・キハダ～」	—	8月 2日(木)	動物体験～キハダ～(26人)	26
31	わかりやすい考古学講座③	—	8月 4日(土)	猪川西・森道路	57
32	愛媛県・松山市埋蔵文化財 「埋ったぞな松山2018」古代体験まつり	—	8月11日(土)	石勾玉(114人)・マリングラス(67人)・ かんたん柔物(109人)・粘土土器(85人) ・ペーパークラフト(104人)・陶器(57人)・骨器(10 人)・鏡陣(9人)・鏡(12人)・刀(2人)・ 盾ワープ(101人)・古代服(96人)・ふん どう君(17人)・瓶(24人)・ 発掘(25組)	908
33	はじめての考古学教室第1期①	—	8月17日(金)	「考古学と出土の歴史」	15
34	古代体験教室「ガラス玉づくり」①	—	8月22日(水)	ガラス石勾玉(午前20人)	20
35	古代体験教室「ガラス玉づくり」②	—	8月22日(水)	ガラス石勾玉(午後15人)	15
36	はじめての考古学教室第1期②	—	8月26日(金)	「出土品の保存」	14
37	学コンサート	—	8月25日(土) 第131回	—	28
38	愛媛県・松山市埋蔵文化財 「埋ったぞな松山2018」報告会②	—	8月25日(土)	別府道跡3次発掘・松山城三之丸跡20次調 査の発掘調査成果について	38
39	古代体験教室「ガラス玉づくり」③	—	8月30日(木)	ガラス石勾玉(6人)	6
40	はじめての考古学教室第1期③	—	8月31日(金)	「考古の古事記～かまと～調理具・食器～」	13
41	わかりやすい考古学講座④	—	9月 1日(土)	高田道路・本行古跡・河野小学校構内道路・ 正岡小学校構内道路	60
42	学コンサート	—	9月 1日(土) 第132回	—	20
43	はじめての考古学教室第1期④	—	9月 7日(金)	「祭器の道具・土器・土製品～」	14
44	愛媛県・松山市埋蔵文化財 「いにしへのえひめ」報告会①	—	9月 8日(土)	「新谷古新谷道路の発掘調査成果」	44
45	はじめての考古学教室第1期④	—	9月14日(金)	「鹿島新御跡跡1・2・3次調査」	15

普及啓発事業

教育普及活動一覧（体験学習・主催事業来館・団体来館）

(2)

No.	事業名／学校名・団体名	学 年	実施日	内 容	参加者数 (人)
46	古跡体験館「再生植物」石勾玉づくり	—	9月 29日 (土)	再生植物(5人)・石勾玉(2人)	5
47	愛媛県 松山市立美術博物館 「へのくじめ」講演会	—	9月 29日 (土)	【歴史時代背景の介導】-座談会を介した交流会を 通じて、	55
48	わかりやすい考古学講座⑤	—	10月 6日 (土)	別府道路2次調査・別府道路3次調査	59
49	愛媛県 松山市立美術博物館 「へいし・のえりめ」報告会②	—	10月 20日 (土)	【中村田所道路の発掘調査成果】	23
50	古跡体験館「再生植物」石勾玉づくり	—	10月 20日 (土)	再生植物(5人)・石勾玉(2人)	7
51	夢コンサート	—	10月 20日 (土) 第123回	—	28
52	特別展 松山の宝室 「東京国立博物館所蔵品 里帰り展」展示解説会	—	11月 17日 (土)	展示解説会	10
53	はじめての考古学教室Ⅲ期①	—	11月 21日 (水)	東京国立博物館所蔵品・里帰り展	12
54	夢コンサート	—	11月 21日 (水) 第134回	—	13
55	特別展 松山の宝室 「東京国立博物館所蔵品 里帰り展」 古代体験・ペント	—	11月 23日 (金)	石勾玉(126人)・銅鏡(5人)・鏡頭(24人) ・鏡舞(11人)・粘土で土器(66人)・ベン ディング(5人)	304
56	東京国立博物館所蔵品・里帰り展 学芸員のみどりこ案内②	—	11月 23日 (金)	①10人・②2人	12
57	はじめての考古学教室Ⅲ期②	—	11月 28日 (水)	石器の話	12
58	わかりやすい考古学講座⑦	—	12月 1日 (土)	風早の古墳	59
59	夢コンサート	—	12月 1日 (土) 第135回	—	24
60	特別展 松山の宝室 「東京国立博物館所蔵品 里帰り展」講演会①	—	12月 2日 (日)	【東京国立博物館所蔵松山市出土考古資料と 戦前期の埋蔵文化財保護】	50
61	はじめての考古学教室Ⅲ期③	—	12月 5日 (水)	松山城公園の古墳	12
62	はじめての考古学教室Ⅲ期④	—	12月 12日 (水)	発掘調査について	15
63	はじめての考古学教室Ⅲ期⑤	—	12月 19日 (水)	発掘品の整理	14
64	特別展 松山の宝室 「東京国立博物館所蔵品 里帰り展」 学芸員のみどりこ案内③	—	12月 23日 (日)	①3人・②5人	8
65	特別展 松山の宝室 「東京国立博物館所蔵品・里帰り展」講演会②	—	平成31年 1月 19日 (土)	【私たちの、平行鏡面 平行鏡面からみた道 後城北のゆきむな古】	49
66	夢コンサート	—	1月 19日 (土) 第136回	—	20
67	特別展 松山の宝室 「東京国立博物館所蔵品 里帰り展」 学芸員のみどりこ案内④	—	1月 26日 (土)	①5人・②1人	6
68	わかりやすい考古学講座⑨	—	2月 2日 (土)	青森寺地区の遺跡	26
69	夢コンサート	—	2月 2日 (土) 第137回	—	20
70	特別展 松山の宝室「折りの器②」 学芸員のみどりこ案内④	—	2月 3日 (日)	①3人・②12人	15
71	特別展 松山の宝室「折りの器②」 展示解説会①	—	2月 9日 (土)	展示解説会	27
72	特別展 松山の宝室「折りの器②」 古代体験・ペント	—	2月 16日 (土)	石勾玉(215人)・銅鏡(188人)・鏡頭(25人) ・鏡舞(16人)・粘土で土器(84人)・ベン ディング(108人)	476
73	特別展 松山の宝室「折りの器②」 学芸員のみどりこ案内⑤	—	2月 23日 (土)	①4人・②1人	5
74	特別展 松山の宝室「折りの器②」 講演会	—	3月 3日 (日)	【折りの器】-意匠圖に込められた折り-】	59
75	特別展 松山の宝室「折りの器②」 展示解説会②	—	3月 9日 (土)	展示解説会	24
76	夢コンサート	—	3月 9日 (土) 第138回	—	34
1	松山市立城山第二小学校	6年生	平成30年 4月 12日 (木)	館内案内・火おこし	102
2	三之丸尚食	—	4月 12日 (木)	館内案内	25
3	松山市立城山小学校	6年生	4月 13日 (金)	館内案内・火おこし	151
4	愛媛新聞社 ルチースクール	—	4月 14日 (土)	館内案内	10
5	松山市立城山小学校	6年生	4月 18日 (水)	館内案内・火おこし	85
6	佐原町立園田中学校	2年生	4月 26日 (木)	講義・火おこし	82
7	清美平成等教学校	2年生	4月 27日 (金)	館内案内・火おこし・石勾玉(132人)	132
8	松山市立ちばな小学校	6年生	5月 2日 (水)	館内案内・火おこし	79
9	松山市立酒小学校	6年生	5月 10日 (木)	館内案内・火おこし	148
10	みどり園	—	5月 17日 (木)	館内案内・ベンディング(5人)	8
11	みどり園	—	5月 18日 (金)	館内案内・ベンディング(6人)	9
12	みどり園	—	5月 22日 (火)	館内案内・ベンディング(5人)	8
13	文化財めぐり	—	5月 22日 (火)	館内案内	36
14	みどり園	—	5月 23日 (水)	館内案内・ベンディング(4人)	6
15	みどり園	—	5月 24日 (木)	館内案内・ベンディング(5人)	8
16	みどり園	—	5月 25日 (水)	館内案内・ベンディング(6人)	9

普及啓発事業

教育普及活動一覧（体験学習・主催事業来館・団体来館）

(3)

No.	事業名 / 学校名 / 団体名	学 年	実施日	内 容	参加者数 (人)
17	放課後等デイサービスピーターパンいすみ	—	5月27日(日)	館内案内・石垣玉(9人)	13
18	東瀛市立南吉井小学校	5年生	6月1日(金)	館内案内・火おこし	120
19	デイサービスコシェリナ	—	6月8日(金)	館内案内・石垣玉(13人)	13
20	松山市立火クラブ	—	6月23日(日)	館内案内	8
21	一之丸句会	—	6月28日(木)	館内案内	20
22	ていれき句会	—	7月5日(木)	館内案内	6
23	リハブイドかわいた	—	7月10日(火)	館内案内・ペンドント(2人)	13
24	ハートガーデンじまち	—	7月12日(木)	館内案内	13
25	愛光学園(台湾海峡校)	—	7月14日(金)	館内案内・古代服・火おこし	30
26	放課後デイサービスカラコロキッズ	—	7月20日(木)	館内案内・石垣玉(9人)	11
27	松山市立学校会員科主任会	—	7月20日(木)	館内案内	45
28	松山市立学校義務教諭主任会	—	7月20日(木)	館内案内	56
29	松山市立学校教諭主任会	—	7月20日(木)	館内案内	81
30	放課後デイサービス等みらい	—	7月28日(土)	館内案内・火おこし	13
31	松山市教育研究会養護教諭研修会	—	8月1日(水)	館内案内	71
32	白百合花クラブ	—	8月10日(金)	館内案内・石垣玉(50人)	52
33	新柳句会	—	8月16日(木)	館内案内	9
34	今治市朝倉ふるさと美術古墳館	—	8月17日(木)	館内案内	20
35	放課後デイサービスピーターパンたかおか	—	8月25日(土)	館内案内・ペンドント(3人)・銅鏡(5人)	13
36	エンゼル学園	—	8月26日(火)	館内案内・ペンドント(20人)・拓本(33人)・マリグラス(18人)	80
37	デイサービス てんこう	—	8月26日(木)	館内見学	11
38	愛媛大学で学ぶ	—	9月7日(金)	講義・館内案内	67
39	愛媛新聞カルチャースタート	—	9月8日(土)	講義・館内案内	10
40	東瀛市田原宿地サロン	—	9月11日(火)	館内案内	25
41	デイサービスセンター あまやま歎歌園	—	9月11日(火)	館内案内	20
42	八幡浜市体育委員会	—	9月12日(月)	館内案内	20
43	松山市立城西中学校	2年生	9月12日(木)	職場体験	5
44	松山市立城西中学校	2年生	9月12日(木)	職場体験	5
45	松山市立城西中学校	2年生	9月12日(木)	職場体験	5
46	萩野青雲高等専修学校	1年生	10月2日(火)	館内案内・石垣玉(32人)・火おこし	56
47	愛媛県立農業試験場会議室高齢者大会	—	10月12日(金)	講義・館内案内	19
48	松山市立豊山中学校	2年生	10月13日(水)	職場体験	3
49	松山市立豊山中学校	2年生	10月13日(水)	職場体験	3
50	松山市立豊山中学校	2年生	10月19日(金)	職場体験	3
51	松山市立豊山中学校	4年生	10月19日(金)	館内案内・石垣玉(21人)	24
52	グーグーム・ミキルワ	—	10月20日(土)	館内案内	14
53	文化財めぐり	—	10月21日(日)	館内案内	39
54	松山市立豊原中学校	2年生	10月22日(月)	職場体験	2
55	松山市立豊原中学校	2年生	10月22日(月)	職場体験	2
56	松山市立豊原中学校	2年生	10月24日(水)	職場体験	2
57	松山市立豊原中学校	2年生	10月24日(水)	職場体験	2
58	松山市立豊原中学校	2年生	10月25日(木)	職場体験	2
59	文化財めぐり	—	10月30日(火)	館内案内	31
60	今治市立赤瀬小学校	6年生	10月31日(木)	館内案内・古代服・火おこし	22
61	今治市立黒瀬小学校	6年生	11月1日(木)	館内案内・古代服・火おこし	88
62	今治市立宮瀬小学校	6年生	11月1日(木)	館内案内・古代服・火おこし	27
63	今治市立のびのび小学校	6年生	11月2日(金)	館内案内	44
64	愛媛大学(留学生)	—	11月7日(水)	館内案内	17
65	松山市立道後小学校	6年生	11月15日(木)	館内案内・火おこし	130
66	西条市周公民館	—	11月15日(木)	館内案内・高床倉庫・情報館見学	26
67	愛媛新聞カルチャースタート	—	11月17日(土)	館内案内	10
68	愛媛大学教育部	—	11月21日(木)	館内案内	4
69	愛媛県立松山東高等学校	1・2年生	11月22日(木)	館内案内	11
70	愛媛新聞カルチャースタート	—	平成31年1月22日(土)	館内案内	10
71	梅勾会	—	1月12日(土)	館内案内	12

普及啓発事業

教育普及活動一覧（体験学習・主催事業来館・団体来館）

(4)

No.	学校名・団体名	学 年	実施日	内 容	参加者数 〔人〕
72	放課後等ディーサービスらんらんランプ	—	1月 12日(土)	館内案内	18
73	ダイサービスセンター・ハッピー愛媛	—	1月 24日(木)	館内案内	25
74	松山市立善玉小学校	—	1月 25日(金)	館内案内	6
75	愛媛新聞カルチャースクール	—	2月 9日(土)	館内案内	10
76	放課後等ディーサービス・ビーターパンかおか	—	2月 9日(土)	館内案内・石匂玉(10人)	14
77	あまやま軽園	—	2月 10日(日)	館内案内	6
78	松山市学校事務主任会	—	2月 13日(水)	館内案内	80
79	東温市立北吉井小学校	5年生	2月 21日(木)	館内案内・古代服・火おこし	90
80	松山市立さくら小学校	5年生	2月 26日(火)	館内案内・古代服・火おこし	127
81	松山市立久枝小学校	5年生	2月 26日(火)	館内案内・古代服・火おこし	120
82	松山市立伊豆台小学校	6年生	2月 28日(木)	館内案内・古代服・石匂玉(50人)・火おこし	62
83	ボーカロイド松山第34回	—	3月 3日(日)	館内案内・古代服	21
84	松山市立さくら小学校	5年生	3月 5日(火)	館内案内・古代服・火おこし	107
85	松山市立河野小学校	6年生	3月 5日(火)	館内案内・火おこし	20
86	松山市立竜巣小学校	5年生	3月 6日(水)	館内案内・古代服・火おこし	104
87	松山市立鷲崎小学校	5年生	3月 8日(金)	館内案内・古代服・火おこし	88
88	内子町立内子中学校	2年生	3月 8日(金)	館内案内・火おこし	87
89	東温市立川上小学校	5年生	3月 8日(金)	館内案内・古代服・火おこし	85
90	松山市立久米小学校	5年生	3月 8日(金)	館内案内・古代服・火おこし	92
91	放課後等ディーサービスカラコロキッズ	—	3月 10日(日)	館内案内・鍋挑(10人)	13
92	松山市立畠田小学校	5年生	3月 12日(火)	館内案内・古代服	73
93	あそなう会	—	3月 16日(土)	館内案内	9
94	愛媛新聞カルチャースクール	—	3月 16日(土)	館内案内	10
95	放課後等ディーサービスらんらんランプ	—	3月 30日(土)	館内案内・鍋挑(13人)・古代服・土器パネル	18
96	西側町内会	—	3月 31日(日)	館内案内	18
主 催					329
団体来館					3719
合 計					7648

表 6 教育普及活動一覧（発掘調査現地説明会）

No.	遺跡名	日 時	遺跡の主要概要	見学者数 〔人〕
1	井手村道路 2次調査	平成 30年 4月 28日(土) 11:00 ~ 12:00	縄文～弥生時代・古墳時代・江戸～明治時代 (土器・石器・陶磁器・瓦)	190
2	松山城三之丸跡 21次調査	10月 27日(土) 11:00 ~ 12:00	江戸時代・明治時代(陶器)	92
3	別府道路4次調査	11月 11日(日) 11:30 ~ 12:30	鎌倉時代・室町時代(木製櫓・土器)	137
				合 計 425

表 7 教育普及活動一覧（職場体験）

No.	学校名	学 年	日 時	内 容	参加者数 〔人〕
1	松山市立城西中学校	2年生	平成 30年 9月 26日(水) 9:00 ~ 16:00	職場体験	5
2			9月 27日(木) 9:00 ~ 16:00		5
3			9月 28日(金) 9:00 ~ 16:00		5
4	松山市立鷲崎中学校	2年生	10月 17日(水) 9:00 ~ 16:00	職場体験	3
5			10月 18日(木) 9:00 ~ 16:00		3
6			10月 19日(金) 9:00 ~ 16:00		3
7	松山市立桑原中学校	2年生	10月 22日(月) 9:00 ~ 15:00	職場体験	2
8			10月 23日(火) 9:00 ~ 15:00		2
9			10月 24日(水) 9:00 ~ 15:00		2
10			10月 25日(木) 9:00 ~ 15:00		2
11			10月 26日(金) 9:00 ~ 15:00		2
				合計 3校11件	34

普及啓発事業

表8 教育普及活動一覧（館外・出前考古学教室） 館外外縦は考古学主催事業で出前縦は係辦事業

(1)

No.	学校名・団体名	学年ほか	実施日	内 容	参加者数 [人]
館外	1 地域のかられ見見 「古代史セミナー」	高梁公民館	① 5月 18 日（金）	講義（高齢者学級）	80
		北条地区	② 8月 25 日（土）	北条プロジェクト人権研究大会（展示・講義）	90
		北条地区	③ 10月 28 日（日）	講義・地域の遺物・石勾玉（28人）	38
		尾崎公民館	④ 11月 18 日（日）	講義・地域の遺物	137
		鷺生公民館 鷺生小・中 3年生	⑤ 平成 31 年 2 月 15 日（金）	秀野家見学案内	192 723
		鷺生公民館 鷺生小・中 3年生	⑥ 2月 19 日（火）	遺物展示・古代・土器バズル・ぬり絵・ 石勾玉（13人）・銅鏡（2人）・マーリングタ ス（5人）	136
		中島地区	⑦ 3月 3 日（日）	秀野家見学案内	50
2	愛媛県・松山市連携事業 「組ったぞな松山 2018」	—	平成 30 年 8 月 3 日（金）	ミニ発掘体験・今治城	19
		愛媛県・松山市連携事業 「組ったぞな松山 2018」	8月 19 日（日）	愛媛県歴史文化博物館・岩谷道路	22
		—	9月 15 日（土）	河後森城跡・松野町立芝不器記念館	35
3	わかりやすい考古学講座⑥ わかりやすい考古学講座⑦ わかりやすい考古学講座⑧	現地見学	11月 11 日（日）	別府道跡 4 次調査	42
		現地見学	平成 31 年 1 月 12 日（土）	北条さるさと館 展示見学・解説	42 130
		現地見学	3月 2 日（土）	松山城・之丸跡を歩こう	46
4	現地説明会	—	平成 30 年 4 月 28 日（土）	特待本村道跡 2 次調査	196
		—	10月 27 日（土）	松山城・之丸跡 21 次調査	92 425
		—	11月 11 日（日）	別府道跡 4 次調査 火おこし（15人）・古代服・土器バズル	137
5	松山市立郷小学校 松山西中等教育学校 松山市立正岡小学校	6年生	平成 30 年 4 月 12 日（木）	講義・火おこし・古代瓶	82
		3年生	4月 13 日（金）	松山城の発掘調査	166
		6年生	4月 19 日（木）	講義・火おこし・古代瓶	27
6	松山市立灘江小学校	6年生	① 4月 24 日（火）	講義・古代服	105
		—	4月 26 日（木）	講義・火おこし	105 333
		5年生	③ 7月 5 日（木）	講義・火おこし	123
7	松山市立中島小学校 パートナーハウスかとれあ 東佐浦・らぶ（レンゲウマつり） 愛媛新聞（子ども新聞）	6年生	4月 23 日（月）	講義・火おこし	11
		—	4月 29 日（日）	講義・石勾玉（18人）	18
		—	5月 3 日（木）	みんどう君・土器バズル・古代瓶	360
8		—	5月 10 日（木）	講義・来往廻寺・久米官衙	14
9	松山市立みどり小学校	① 5月 17 日（木）	講義・遺物	17	
		② 5月 24 日（木）	講義・火おこし	20	
		③ 6月 14 日（木）	講義	20	
		④ 6月 28 日（木）	講義	20	
		⑤ 10月 25 日（木）	石庭石作り①	19	
		⑥ 11月 15 日（木）	石庭石作り②・収穫体験	19 210	
		⑦ 11月 22 日（木）	講義・土器	19	
		⑧ 平成 31 年 1 月 17 日（木）	講義・塙作より	19	
		⑨ 1月 24 日（木）	講義・土器バズル	19	
		⑩ 2月 15 日（金）	講義・銅鏡（18人）	19	
		⑪ 2月 21 日（木）	講義（40人より学習）	19	
		⑫ 5月 17 日（木）	講義・校内出土遺物・古代服・火おこし	94	
10	松山市立福音小学校 松山市立鳴村小学校 松山市立鳴村小学校	6年生	① 平成 30 年 4 月 20 日（金）	講義・遺物・古代服	147
		—	② 6月 7 日（木）	古代人体学習骨相談①	147
		—	③ 6月 12 日（火）	土器づくり①（小型品）	155
		—	④ 6月 19 日（火）	古代人体学習骨相談②	147
		—	⑤ 6月 20 日（木）	土器づくり②（大型品）	166 1,352
		—	⑥ 6月 26 日（火）	古代人体学	147
		—	⑦ 7月 9 日（火）	古代人体学の報告会	147
		—	⑧ 10月 25 日（木）	土器焼き	149
		—	⑨ 10月 26 日（金）	土器焼き	147
		5年生	5月 24 日（木）	講義・火おこし	73
		—	5月 28 日（月）	講義	43

普及啓発事業

教育普及活動一覧（館外・出前考古学教室）
※館外欄は考古学主催事業で出前欄は依頼事業

(2)

No.	学校名・団体名	学年ほか	実施日	内 容	参加者数 〔人〕
14	愛媛県立北条高校	2年生	6月 7日 (木)	講義・地域の遺物・土器パズル・古代服	16
15	松山市立小野小学校	6年生	① 6月 15日 (金) ② 6月 20日 (金)	講義・地域の遺物・土器パズル・古代服 埴輪づくり	164 327
16	カルスボックス	—	6月 20日 (水)	講演	75
17	松山市立小野中学校	1年生	① ② 7月 19日 (火) 7月 3日 (火)	講義・地域の遺物・土器パズル・古代服 講義	136 53
18	新岡高等学校	23年生: 2年生: 3年生: 2年生:	① 7月 10日 (火) ② 7月 13日 (金) ③ 7月 18日 (水) ④ 7月 19日 (木)	講義・火おこし 講義・火おこし 講義・火おこし 講義・古代服	138 76 36 40
19	愛媛県生涯学習センター	—	7月 10日 (火)	講演	60
20	地域学習探査課	—	7月 18日 (水)	講義・古代服	70
21	みどりい小学校おむじの会	—	7月 22日 (日)	講義・火おこし	60
22	中原貢子とも会	—	7月 24日 (火)	講義・火おこし	37
23	北久米丸尾クラブ	—	7月 24日 (火)	講義・石垣玉 (15人)	15
24	飯江児童クラブ	—	7月 24日 (火)	講義・古代服・土器パズル	70
25	みどりい児童クラブ第一	—	7月 27日 (金)	講義・ペーデント (35人)・古代服・土器パズル	41
26	たちまちな児童クラブ	—	8月 1日 (水)	講義・石垣玉 (47人)・陶氷 (25人)	80
27	伊方町教育委員会附属施設(公民館)	—	8月 2日 (木)	講義・陶氷 (18人)	20
28	人権啓発フェスティバル 2018	—	8月 5日 (日)	広報活動	344
29	味生第二幼稚クラブ	—	① ② 8月 8日 (水)	講義・古代服・ペーデント (54人) 講義・古代服・土器パズル・石垣玉 (88人)	60 94
30	清水小学校放課後子ども教室	—	8月 8日 (水)	講義・石垣玉 (25人)	30
31	久米児童クラブ	—	8月 29日 (水)	講義・石垣玉 (130人)	130
32	浅虫オレンジっ子クラブ	—	8月 29日 (水)	講義・石垣玉 (25人)	26
33	浮穴児童クラブ	—	8月 30日 (金)	講義・石垣玉 (43人)	49
34	松山市立新玉小学校	5年生 全校生	9月 20日 (木) 11月 20日 (火)	講義・石垣玉 松山城 (講義)	102 547
35	松山市立南中学校	—	9月 28日 (金)	講義・石垣玉 (32人)	35
36	愛媛県美術館	—	10月 4日 (木)	講演	82
37	走島公民館 (走島小学校)	3年生 4年生	① ② 10月 16日 (火) 10月 23日 (火)	講義・地域の土器・古代服・火おこし 講義・地域の土器・古代服・火おこし	23 120
38	東温市立垂田中学校	1～3年生	11月 3日 (土)	講義・石垣玉 (20人)	20
39	松山市立谷谷中学校	1～3年生	11月 3日 (土)	講義・石垣玉 (24人)	25
40	松山市立御西中学校	1～3年生	11月 3日 (土)	講義・石垣玉 (23人)	25
41	松前町立御田中学校	1～3年生	11月 3日 (土)	講義・石垣玉 (30人)	33
42	松山市立中学校	1～3年生	11月 3日 (土)	講義・石垣玉 (26人)	30
43	愛媛大学学生祭	—	11月 10日 (土)	土器パズル・古代服・遺物展示	283
44	愛媛県総合教育センター	—	11月 17日 (土)	講義・石垣玉 (27人)・古代服	30
45	松山文化協会	—	11月 25日 (日)	傳説松山さんぽ	25
46	静寂課後子ども教室	—	12月 11日 (火)	講義・石垣玉 (26人)	27
47	愛媛県総合学習センター	—	12月 13日 (木)	博物館講座	33
48	キッズジョブまつやま 2018	—	12月 16日 (日)	講義・遺物・拓本・土器パズル・タイズ・古代服	238
49	北条・市民スポーツフェスタ	—	12月 24日 (月)	ふんどう君・土器パズル・古代服・火おこし (50人)	800
50	人権教育研究大会	—	平成31年 1月 15日 (火)	土器・土器パズル	148
51	愛媛新聞カルチャースクール	—	1月 17日 (木)	講義	40
52	美豊小学校	—	2月 15日 (金)	ありがとう集会	140
53	愛媛大学附属中学校	—	2月 15日 (金)	公開授業	93
54	愛媛県生涯学習センターふれあいフェスティバル	—	2月 24日 (日)	陶氷 (50人)・ペーデント (50人)・土器パズル・ぬり絵	140
55	市民文化フェス	—	3月 31日 (土)	古代服・土器パズル・ふんどう君と遊ぼう	151
				館外 16件	1,254
				出前 83件	7951
				総合計 99件	9,305

普及啓発事業

表9 教育普及活動一覧（職員研修・会議）

No.	研修・会議名	実施日	開催地	参加者数（人）
1	第39回全国埋蔵文化財法人連絡会議	平成30年 6月14・15日（木・金）	兵庫県	1
2	公開施設担当者会議及び「国宝・重要文化財（美術工芸品）防災・防犯対策研究会」	6月20・21日（木・木）	東京都	1
3	平成30年度博物館・美術館などの保存担当学芸員フォローアップ研修	6月25・26日（月・火）	東京都	1
4	西国地区埋蔵文化財センター発掘へんろ展 「西国の彩り」第2回実行委員会	7月12・13日（木・金）	高知県	2
5	愛媛県・松山市埋蔵文化財センター合同研修会	7月13日（金）	所内	50
6	第11回指定文化財（美術工芸品）企画・展示セミナーの受講	9月9日（日）～9月14日（金）	京都府	1
7	西国地区埋蔵文化財センター発掘へんろ展 「西国の彩り」第3回実行委員会	9月26日（金）	香川県	2
8	全国埋蔵文化財法人連絡協議会 中四・西四・九州ブロック会議	9月27・28日（木・金）	愛媛県	2
9	愛媛県・松山市埋蔵文化財センター合同研修会	11月2日（金）	所内	50
10	平成30年度文化財担当者専門研修	11月25日（日）～12月6日（金）	奈良県	1
11	西国地区埋蔵文化財センター発掘へんろ展 「西国の彩り」第4回実行委員会	平成31年 1月9・10日（水・木）	島根県	2
12	第2回埋蔵文化財担当職員等研修会	2月6日～2月8日（水・木・金）	大阪府	1
13	西国地区埋蔵文化財センター発掘へんろ展 「西国の彩り」第5回実行委員会	3月20・21日（木・木）	徳島県	2

表10 考古館印刷物一覧（ポスター・チラシ等）

No.	出版物名	発行日	対象	版型・頁	部数（枚）
1	西国地区埋蔵文化財センター発掘へんろ展「西国の彩り」	ポスター・チラシ 平成30年4月	一般	B2 1頁 A4 2頁	500 50,000
2	考古館ロビー展「大漢古代薬」のご案内	チラシ 平成30年6月	一般	A4 2頁	10,000
3	愛媛県・松山市連携事業「古代より発掘まつり」「振ったぞな松山2018」	ポスター 平成30年6月	一般	B2 1頁	600
4	特別展「松山の至宝」 【東京国立博物館所蔵品・黒耀り展】	ポスター・チラシ 平成30年10月	一般	B2 1頁 A4 2頁	500 50,000
5	特別展「松山の至宝 【祭りの春】」	ポスター・チラシ 平成31年1月	一般	B2 1頁 A4 2頁	500 60,000

表11 出版物一覧

No.	報告書名・出版物名	発行日	対象	版型・頁	部数（枚）
1	愛媛県・松山市連携事業「古代より発掘まつり」「振ったぞな松山2018」 解説パンフレット	平成30年6月1日	一般	A4 4頁	2,000
2	特別展「松山の至宝【祭りの器】」 解説パンフレット	平成31年1月3日	一般	A4 16頁	700
3	西国地区埋蔵文化財調査会報 第30号	平成30年12月25日	一般	A4 106頁	300
4	西国地区埋蔵文化財調査会報 第194号 【西里新道跡3次調査】	11月9日	一般	A4 160頁	300
5	松山市文化財調査会報 第195号 【須佐山古道跡3次調査】『伊予北古道跡3次調査』	3月20日	一般	A4 74頁	300
6	松山市文化財調査会報 第196号 【余印申ノ平道跡1・2・4・5次調査】『余印申ノ平道跡1・2・3・6・7次調査』 『東出田八反地古道跡1・3・4・5次調査』『南吉田南代追跡1次調査』	平成31年3月21日	一般	A4 336頁	300
7	松山市文化財調査会報 第197号 【松山城三之丸跡13・15次調査】	3月29日	一般	A4 140頁	300

普及啓発事業

表 12 資料の貸出一覧

No.	種類	貸出資料名	点数	貸出・利用目的	貸出・利用期間	貸出先
1	資料	分形陶土製品ほか	25	常設展示室において展示するため	平成27年4月1日～令和2年3月31日	子規記念博物館
2	資料	松山城二之丸跡出土の金貨	1	現の上の書「ミュージアムの常設展で展示をするため	平成30年4月1日～令和5年3月31日	現の上の書「ミュージアム
3	資料	福音小学校境内遺跡出土土台	2	妙見山古墳出土の伊予型特殊器台との比較展示のため	平成30年7月6日～令和元年7月5日	今治市教育委員会
4	写真	豊佐池古墳2号石室遺跡写真	1	令和元年度6月8日から7月15日にかけて開催する令和元年度共同企画展「ひめの美術館」のリーフレットに使用するため	平成31年2月20日～令和元年7月15日	(公財)愛媛県文化財センター
5	写真	豊佐池古墳 埴輪土偶出土後の1号石室ほか	2	令和元年度共同企画展「ひめの美術館」のリーフレットに使用するため	平成31年2月20日～令和2年3月17日	広島県立歴史博物館
6	写真	松山城二之丸跡出土の金貨	2	PHOTO電力発行「ライト＆ライフ」8月号にて掲載するため	平成30年5月25日～8月31日	個人
7	写真	豊佐池古墳1号石室出土 頭面壁とハマグリ	1	即ち博物館による富士山の企画展「湖に富士がやつたら!古時代・やきもの技術革新」の取材撮影のため	7月14日～9月24日	堺市博物館
8	写真	大洞遺跡出土彩文土器	1	「東京国立博物館 相互貸借事務」に伴う東京国立博物館での展示会広報のため	8月3日～12月25日	東京国立博物館
9	写真	松山城二之丸跡出土の金貨	1	会社の調査月間に掲載するため	8月15日～9月4日	(株)いよみん地域活性化センター
10	写真	松山城二之丸跡出土の金貨	1	平成30年紀務株・放送会社「南海放送」の企画展「タツヤマガの風」に使用するため	10月3日～10月4日	南海放送株式会社
11	写真	来住庵寺・久米官衙跡遺跡の写真	7	「2018年度文化わくわくプロジェクト」(久米文化学苑アリア)に掲載するため	12月11日～12月12日	美空社株式会社
12	写真	櫛本高木道路3次調査出土陶土器	1	平成30年度「マニア展」(鹿児内の海人たち)にて写真展および、広報物(ホームページ等)への掲載するため	平成31年1月上旬～1月中旬	愛媛県歴史文化博物館
13	資料	大洞遺跡出土石器	8	研究授業の資料のため	2月7日～2月18日	愛媛大学教育学部附属中学校理科研究室
14	写真	松山城二之丸跡出土の金貨	1	松山市觀光コンベンション協会研修会資料に使用するため	2月15日	真單莊
15	写真	豊佐池古墳 埴輪土偶出土後の玄室	1	島根大学羽野川「黄泉國訪問論と古墳時代古墳の埋葬－考古学・地質学・歴史学のコラボレーション」に掲載するため	2月21日～3月10日	出雲源生の森博物館
16	写真	松山城二之丸跡出土の金貨	1	「四国おひるのクローバー」で放映するため	3月14～15日	NHK 松山放送局

表 13 資料の調査一覧

No.	調査資料名	点数	調査・利用目的	調査・利用期間
1	祝谷6号墳埴輪頭巾はか	2	古墳時代後葉に関する研究のため(科研費基礎研究C「青銅器からみた古墳時代の祭祀・産業(社会)」)の検査・複写・写真撮影	平成30年4月26～27日
2	資料 城の内3号墳出土反覆輪把手ほか	3	卒業論文執筆のため熱観・複写・写真撮影	5月24日
3	資料 駒馬蛇・谷宮址出土遺物ほか	101	卒業論文執筆のため熱観・複写・写真撮影	6月22日～24日
4	資料 大洞遺跡1・2次調査出土遺物一式	187	調査・研究のため熱観・複写・写真撮影	9月12日
5	資料 鮫原道路2次調査出土遺物ほか	85	論文執筆に伴う調査・研究のため熱観・写真撮影	9月15日～17日
6	資料 畠在池古墳2号石室出土鉢形	10	調査研究に伴う資料収集のため熱観・写真撮影	9月19日
7	資料 石井幼稚園道路出土土器ほか	468	卒業論文作成のため熱観・複写・写真撮影	10月11日～14日
8	資料 大洞遺跡出土遺物一式ほか	82	調査・研究のため熱観・複写・写真撮影	10月23日
9	資料 来住庵寺23次調査地出土瓦	1	授業で使用するため写真撮影	12月5日
10	資料 来住庵寺23次調査地出土瓦	4	瓦研究のため熱観	12月7日
11	写真 展示室内の環境保存の方法について	5	松山高課題研究のポスター製作のため写真撮影	平成31年2月7日

普及啓発事業

表14 平成30年度 考古館月別入館者数調(平成30年4月～平成31年3月)

(単位：人)

月	開館日数 (日)	常設展示室								特別展示室	展示室延 入場者数	入館者数		
		有料入館者				無料入館者								
		一般	高齢者	団体 各種割引	前売	小計	高校生 以下	身障者 介護人	その他	小計				
4	26	108	59	2	—	169	849	7	33	889	1,253	2,311		
5	26	150	88	1	—	239	431	71	12	514	1,101	1,854		
6	26	254	213	9	—	467	374	57	6	437	2,821	3,725		
7	25	104	68	182	—	354	143	22	6	171	955	1,480		
8	27	103	36	71	—	210	1,084	15	273	1,372	2,040	3,622		
9	26	112	49	113	—	274	64	15	2	81	786	1,141		
10	26	97	110	16	—	223	170	17	20	207	826	1,256		
11	26	237	89	26	—	343	506	17	33	556	884	1,783		
12	24	110	96	0	—	206	102	4	7	113	319	638		
1	24	153	131	0	—	284	60	37	1	98	372	754		
2	24	1	0	0	—	1	714	20	551	1,285	1,285	2,571		
3	29	46	30	0	—	76	755	33	207	995	1,066	2,137		
計		300	1,475	960	411	—	2,846	5,252	315	1,151	6,718	13,708		
											23,272	19,196		

普及啓発事業



写真1 発掘へんろ展「四国の彩り」



写真2 発掘へんろ展 講演会



写真3 展示会「掘ったぞな松山 2018」



写真4 展示会「いにしへのえひめ」



写真5 歴史バスツアー（親子考古学講座）



写真6 特別展「松山の至宝～東京国立博物館所蔵品～壱傳り展」



写真7 特別展「松山の至宝～東京国立博物館所蔵品～壱傳り展」講演会



写真8 古代体験イベント



写真9 特別展「松山の至宝～祈りの器2」



写真10 特別展「松山の至宝～祈りの器2」講演会



写真11 古代体験イベント



写真12 発掘情報展「持田本村遺跡2次調査」



写真13 わかりやすい考古学講座



写真14 はじめての考古学教室



写真15 古代体験教室「染物体験・藍」



写真16 古代体験教室「ガラス勾玉を作ろう」(1)



写真 17 古代体験教室「ガラス勾玉を作ろう」(2)



写真 18 古代体験まつり「かんたん染物体験」



写真 19 古代体験まつり「ねんどで土器・ハニワづくり」



写真 20 ロビーコンサート「箏」



写真 21 歴史バスツアー「岩谷遺跡」



写真 22 発掘調査現地説明会



写真 23 古代米の育成



写真 24 大連古代蓮

V 関係法規

1. 松山市立埋蔵文化財センター条例

平成元年9月30日

条例第43号

(設置)

第1条 本市の埋蔵文化財の保護、調査、研究等による地域文化の発展を図るために、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第30条及び地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第1項の規定に基づき、松山市立埋蔵文化財センター（以下「センター」という。）を設置する。

2 センターは、松山市南斎院町乙67番地6に置く。
(事業)

第2条 センターは、次の各号に掲げる事業を行う。
(1) 埋蔵文化財の発掘、調査、研究等に関すること。
(2) 出土品、資料等の保存、整理及び収藏に関すること。

(3) 埋蔵文化財に係る情報の収集、交換等に関すること。
(4) 次条に規定する松山市考古館（以下「考古館」という。）及び松山市文化財情報館（以下「文化財情報館」という。）の管理運営に関すること。
(5) その他教育委員会（以下「委員会」という。）が必要と認める事業

(考古館及び文化財情報館)

第3条 センターに考古館及び文化財情報館を設置する。

2 考古館は、次に掲げる事業を行う。
(1) 埋蔵文化財その他の考古資料の収集、管理及び展示に関すること。
(2) 考古館が収藏する資料（以下この条において「考古館資料」という。）の案内、説明等に関すること。
(3) 考古館資料に係る調査、研究等に関すること。
(4) 考古館資料に係る講演会、研究会等の開催に関すること。
(5) その他委員会が必要と認める事業

3 文化財情報館は、次の各号に掲げる事業を行う。

(1) 出土文化財の調査、研究等に関すること。
(2) 出土品、資料等の保存、活用、整理及び収藏に関すること。
(3) 埋蔵文化財に係る情報の収集、公開等に関すること。

(4) その他委員会が必要と認める事業

(考古館観覧料)

第4条 考古館を観覧しようとする者は、別表に定める観覧料を納めなければならない。

(観覧料の減免)

第5条 委員会は、特別な理由があると認めるときは、観覧料を減免することができる。

(観覧料の不還付)

第6条 既納の観覧料は、還付しない。ただし、委員会が特別の理由があると認めるときは、この限りではない。

(秩序維持)

第7条 委員会は、次の各号の一に該当する者に対して、入館を拒み、又は退館を命ぜることができる。

(1) でい醉者等で、他人に危害を加え、又は迷惑を及ぼすおそれのある者
(2) 施設、設備又は展示品、資料等を損傷するおそれのある者
(3) その他委員会が管理運営上支障があると認められる者

(損害賠償)

第8条 センターの施設、設備又は展示品、資料等を毀損し、又は滅失した者は、不可抗力による場合を除き、市にその損害を賠償しなければならない。

(職員)

第9条 センターに所長その他の必要な職員を置き、考古館に館長を置く。

(指定管理者)

第10条 委員会は、センターの設置の目的を効果的に達成するため必要があると認めるときは、地方自治法第244条の2第3項に規定する指定管理

者（以下「指定管理者」という。）にセンターの管理を行わせることができる。

（指定管理者が行う業務の範囲）

第11条 前条の規定により指定管理者にセンターの管理を行わせる場合に当該指定管理者が行う業務は、次に掲げる業務とする。

（1） 第2条並びに第3条第2項及び第3項に規定する事業の実施に関する業務

（2） センターの維持管理に関する業務

（3） 前2号に掲げるもののほか、委員会が必要と認める業務

2 前項の場合における第7条の規定の適用については、同条中「委員会」とあるのは、「指定管理者」とする。

（指定管理者が行う管理の基準）

第12条 指定管理者は、この条例及びこの条例に基づく教育委員会規則の定めるところに従い、適正にセンターの管理を行わなければならない。

（委任）

第13条 この条例に定めるもののほか必要な事項は、別に規則で定める。

（過料）

第14条 証拠その他不正の行為により、観覧料の徴収を免れた者については、その徴収を免れた金額の5倍に相当する金額（当該5倍に相当する金額が5万円を超えないときは、5万円とする。）以下の過料を科する。

付 則

この条例は、平成元年10月31日から施行する。

付 則（平成3年3月25日条例第6号）

この条例は、平成3年4月1日から施行する。

付 則（平成9年3月25日条例第7号）

この条例は、平成9年4月1日から施行する。

付 則（平成14年3月20日条例第6号）

この条例は、平成14年4月1日から施行する。

付 則（平成15年3月24日条例第1号）

この条例は、平成15年4月1日から施行する。

付 則（平成17年6月30日条例第29号）

この条例は、教育委員会規則で定める日から施行する。

（平成18年2月24日教委規則第1号により、平成18年4月1日から施行する。）

別表（第4条関係）

区分	金額
常設展	個人 100円
	団体 1人につき 80円
特別展	個人 1,000円以内で委員会の定める額
	団体 1人につき 個人につける特別展の料金の8割に相当する額

備考

1 この表において「団体」とは、20人以上の集団をいう。

2 義務教育就学前の児童、小学校の児童、中学校及び高等学校の生徒並びに委員会がこれらに相当すると認めた者は、無料とする。

2. 松山市立埋蔵文化財センター条例施行規則

平成 16 年 12 月 28 日

教委規則第 41 号

(趣旨)

第1条 この規則は、松山市立埋蔵文化財センター条例（平成元年条例第 43 号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(開館時間及び入館時間)

第2条 松山市立埋蔵文化財センター（以下「センター」という。）の開館時間及び入館時間は、次のとおりとする。ただし、教育長が特に必要があると認めるときは、開館時間及び入館時間を変更することができる。

区分	開館時間及び入館時間
センター (松山考古館を除く。)	午前 8 時 30 分から午後 5 時まで
松山市考古館 (以下「考古館」という。)	午前 9 時から午後 5 時まで (入館時間は、午前 9 時から午後 4 時 30 分まで)

(休館日)

第3条 センターの休館日は、次のとおりとする。ただし、教育長が特に必要があると認めるときは、これを変更し、又は臨時に開館日若しくは閉館日を設けることができる。

区分	休館日
センター (考古館を除く。)	(1) 月曜日及び土曜日 (2) 国の祝日に当たる日（昭和 23 年法律第 128 号、以下「法」という。）に規定する休日 (3) 12 月 29 日から翌年 1 月 3 日まで
考古館	(1) 月曜日（法に規定する休日に当たる日を除く。） (2) 法に規定する休日の翌日（日曜日に当たる日を除く。） (3) 12 月 29 日から翌年 1 月 3 日まで

(観覧券の交付)

第4条 教育長は、条例第 4 条の規定により考古館の観覧料（以下「観覧料」という。）を納付した者に対し、考古館観覧券（以下「観覧券」という。）を交付する。

2 観覧券の種類及び様式は次の各号に定めるとおりとする。

(1) 常設展観覧券

ア 一般観覧券（第 1 号様式）

イ 団体観覧券（第 2 号様式）

(2) 特別展観覧券（その都度教育長が定めるものとする。）

(3) 割引観覧券（常設展又は特別展一般観覧券に割引後の額を表示したものとする。）

3 観覧券は、考古館の入口で改札を受けなければならぬ。

(観覧料の減免)

第5条 条例第 5 条の規定により観覧料を減免する場合及びその額は、次のとおりとする。

(1) 教育課程の一環として、児童生徒の比率が観覧する場合…全額

(2) 身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者及びその介護人が観覧する場合…全額

(3) 市内に居住する 65 歳以上の者が観覧する場合…半額

(4) 前 3 号に掲げるもののほか教育長が特別な理由があると認めた場合…その都度教育長が定める額

(観覧料の減免申請)

第6条 条例第 5 条の規定により観覧料の減免を受けようとする者は、観覧料減免申請書（第 3 号様式）を教育長に提出しなければならない。ただし、前条第 2 号若しくは第 3 号の規定に該当することを証する書類等を提示した者又は教育長が観覧料減免申請書の提出を要しないと認めた者については、この限りでない。

(観覧料の還付)

第7条 条例第 6 条ただし書の規定により既納の観覧料の全部又は一部を還付する場合は、次のとおりとする。

(1) 考古館を観覧しようとする者の責に帰すことができない事由により観覧できなくなったとき。

(2) 前号に掲げるもののほか教育長が特別の理由があると認めるとき。

(資料の特別利用)

第8条 センターが所蔵する資料（以下「センター資料」という。）を利用しようとする者は、松山市立埋蔵文化財センター資料特別利用申請書（第

- 4号様式）を教育長に提出し、松山市立埋蔵文化財センター資料特別利用許可書（第5号様式）の交付を受けなければならない。
- 2 センター資料の貸出期間は、30日以内とする。ただし、教育長が相当の理由があると認めたときは、その期間を延長することができる。
- 3 教育長は、公益上又はセンター資料の管理上必要があると認めたときは、貸出期間中であってもセンター資料の返還を求めることができる。
- （寄贈及び寄託）
- 第9条 センターは、資料の寄贈及び寄託を受けることができる。
- 2 センターに資料を寄贈又は寄託しようとする者は、資料（寄贈・寄託）申請書（第6号様式）により教育長に申請し、その許可を受けるものとする。
- 3 教育長は、センターに資料を寄贈又は寄託した者に対し、資料（受領・受託）書（第7号様式）を交付するものとする。
- 4 寄託資料の寄託期間は、1年、3年又は5年とする。
- 5 寄託資料は、センター資料に準じて取り扱うものとする。ただし、当該資料を他に貸し出す場合は、あらかじめ寄託者の承諾を得るものとする。
- （指定管理者に関する読み替え）
- 第10条 条例第10条の規定により指定管理者にセンターの管理を行わせる場合において、第4条第1項及び第2項第2号並びに第8条の規定の適用については、これらの規定中「教育長」とあるのは、「指定管理者」とする。
- （管理の対価）
- 第11条 前条に規定する場合において、指定管理者に支払われる管理の対価は、当該管理に係る事務処理のために必要な費用を超えてはならない。
- 2 前項の管理の対価が当該管理に係る事務処理のために必要な費用を超えるに至った場合には、教育長は、指定管理者に対し、その超える金額を還付させるものとする。
- （委任）
- 第12条 この規則に定めるものほか必要な事項は、教育長が別に定める。
- 付 則
- （施行期日）
- 1 この規則は、平成17年1月1日から施行する。（松山市考古館管理運営規則の廃止）
- 2 松山市考古館管理運営規則（平成元年教育委員会規則第12号）は、廃止する。
- 付 則（平成18年3月31日教委規則第10号）
- この規則は、平成18年4月1日から施行する。
- 付 則（平成28年3月31日教委規則第7号）
- この規則は、平成28年4月1日から施行する。

松山市埋蔵文化財調査年報 31

令和元年12月27日 発行

編集
発行 松山市教育委員会
〒790-0003 愛媛県松山市三番町六丁目6-1
TEL (089) 948-6605

公益財團法人 松山市文化・スポーツ振興財團
埋蔵文化財センター
〒791-8032 愛媛県松山市南斎院町乙67番地6
TEL (089) 923-6363
FAX (089) 925-0260

印刷 不二印刷株式会社
〒790-0054 愛媛県松山市空港通二丁目13-30
TEL (089) 973-1266